

平成 27 年度（2015 年度）  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書  
（訂正版）

平成 30 年 7 月



平成 27 年度 (2015 年度)  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

< 目 次 >

< I ・調査方法等 >	
1. 調査概要	1
2. 表記区分	1
3. 注意事項	2
< II ・回収状況 >	
回収状況	5
< III ・調査結果及びその概要 >	
1. 学校全体の学生数	7
2. 障害学生数	8
(1) 学校種別・課程別	
(2) 学校種別・設置者別	
(3) 障害種別・学校種別	
(4) 障害種別・学科（専攻）別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）	
3. 障害学生在籍学校数	16
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別	
4. 支援障害学生数	19
(1) 学校種別・課程別	
(2) 学校種別・設置者別	
(3) 障害種別・学校種別	
(4) 障害種別・学科（専攻）別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）	
5. 支援障害学生在籍学校数	28
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別	
6. 支援の実施状況	31
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別	
ア 授業支援（総表）	
イ 授業以外の支援（総表）	
ウ 授業支援（大学）	
エ 授業以外の支援（大学）	
オ 授業支援（短期大学）	
カ 授業以外の支援（短期大学）	
キ 授業支援（高等専門学校）	
ク 授業以外の支援（高等専門学校）	

(3) 主な授業支援	
ア 視覚障害	
イ 聴覚・言語障害	
ウ 肢体不自由	
エ 病弱・虚弱	
オ 発達障害	
カ 精神障害	
7. 障害学生支援に関する体制等	43
(1) 専門委員会等の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(2) 障害学生支援担当部署の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(3) 障害学生支援に関する規程等の整備状況 (障害学生数別・学校種別)	
(4) 障害学生支援担当者の配置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(5) 障害学生支援担当者の職種 (障害学生数別・学校種別)	
(6) 施設・設備の整備状況 (学校種別・内容別)	
8. 障害学生支援に関わる研修・啓発活動実施状況	51
(1) 学校種別・障害学生在籍者数別	
(2) 学校種別・内容別	
9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等	55
(1) 入学者選抜における配慮に関する体制	
(2) 入学者選抜において実施可能な配慮	
(3) 障害のある入学者数等 (障害種別・学校種別)	
(4) 受験上の配慮を行なった受験者数 (障害種別・学校種別)	
(5) 入学者選抜において実施した配慮の内容 (障害種別)	
10. 障害学生の卒業後の進路	64
進路状況 (学校種別・障害種別)	
11. 発達障害学生支援状況 (一部再掲)	66
(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 (学校種別)	
(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 (学科 (専攻) 別)	
(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 (学校種別)	
(4) 発達障害のある学生への支援 (支援内容別)	
(5) 発達障害を理由とする受験上の配慮 (学校種別)	
(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況 (学校種別)	
<IV・参考資料>	
調査の手引	73
調査票 (大学・大学院用)	87

< I・調査方法等 >



## 1. 調査概要

- (1) 目的：障害のある学生（以下「障害学生」という）の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「学校」という）における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象：大学（大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ）、短期大学（大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。以下同じ）、高等専門学校（専攻科を含む。以下同じ）
- (3) 調査方法：悉皆調査
- 各学校が独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトより調査票をダウンロードし、回答を記入後、メール添付にて提出する。
- (4) 調査期日：平成 27 年 5 月 1 日現在

## 2. 表記区分

### (1) 学校種別

学校種別	区 分
大 学	大学(大学院、大学院大学及び専攻科を含む)
短期大学	短期大学(大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む)

### (2) 課程別

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	本科(通学)	本科生
	専攻科	専攻科生

※調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含まない。

### (3) 障害種別

障害種別	区 分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	内部障害等、他の慢性疾患
重複	重複
発達障害 (診断書有)	S L D (限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、A S D (自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)、発達障害の重複
精神障害	統合失調症等、気分障害、神経症性障害等、摂食障害・睡眠障害等、他の精神障害
その他の障害	上記に該当しない障害
発達障害 (診断書無・配慮有)	S L D (限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、A S D (自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)

## 3. 注意事項

### (1) 本調査における用語の定義

- ①「障害学生」とは、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生(重複する場合は実数)
- ②「支援障害学生」とは、学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている(今年度中の支援予定を含む)障害学生

支援例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障、学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

### ③障害種別の内訳区分

#### 【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度

弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度

#### 【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能、又は著しく困難な程度

難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話声を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害(構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂)



**【肢体不自由】**

上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害

下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害

上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

**【病弱・虚弱】**

内部障害等……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

他の慢性疾患……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等はここに計上する。

※上記は、「学校教育法施行令 障害の程度」及び「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾患」に該当する者を指す。これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

**【重複】**

以下の通り、障害が重複している者

○2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

※発達障害又は精神障害と他の障害の重複については、ここには計上しない。

(別途調査：14,15 ページ、26,27 ページ参照)

**【発達障害（診断書有）】**

発達障害に関する医師の診断書がある者

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

**【精神障害】**

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（ICD-10 F20-F29 に該当する疾患）

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分（感情）障害等（ICD-10 F30-F39 に該当する疾患）

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害（強迫神経症）、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48 に該当する疾患）

摂食障害・睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10 F50-F59 に該当する疾患）

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、性別違和（性同一性障害）、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

**【その他の障害】**

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

(2) 発達障害学生数について

発達障害については、医師の診断書がない場合は「障害学生数」には含めていない。しかしながら、学校における支援の実態等に鑑み、以下の定義により、発達障害（診断書無・配慮有）の学生数、支援内容について回答を得ている。

**【発達障害（診断書無・配慮有）】**

発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

< Ⅱ・回收状況 >



## 回収状況

本年度の回収率は100%。

なお、本調査の回収率は、調査を開始した平成17年度が90.5%、平成18年度が93.8%、平成19年度からは、平成24年度（※）を除き回収率100%を達成している。

※閉校となる私立大学1校が未回答のため99.9%

区 分		対象校数 (校)		回答校数 (校)		回収率 (%)	
大学	国立	86	(86)	86	(86)	100.0	(100.0)
	公立	86	(85)	86	(85)	100.0	(100.0)
	私立	610	(609)	610	(609)	100.0	(100.0)
	小計	782	(780)	782	(780)	100.0	(100.0)
短期大学	国立	—	(—)	—	(—)	—	(—)
	公立	18	(18)	18	(18)	100.0	(100.0)
	私立	325	(330)	325	(330)	100.0	(100.0)
	小計	343	(348)	343	(348)	100.0	(100.0)
高等専門 学校	国立	51	(51)	51	(51)	100.0	(100.0)
	公立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	私立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	小計	57	(57)	57	(57)	100.0	(100.0)
計		1,182	(1,185)	1,182	(1,185)	100.0	(100.0)

### 【留意点】

①表中の（ ）内は、平成26年度の調査結果の数値である。

②表中の比率（%）については、四捨五入の都合で内訳の和と合計の値が合わない場合がある。

※上記の【留意点】については、次の<Ⅲ・調査結果及びその概要>においても同様である。



< Ⅲ・調査結果及びその概要 >





## 1. 学校全体の学生数

学校からの回答における平成27年5月1日時点の学生数

表1 学校全体の学生数

区 分		学部 (通学) (人)	学部 (通信) (人)	大学院 (通学) (人)	大学院 (通信) (人)	専攻科 (人)	計 (人)
大学	国立	445,720 (447,306)	—	148,341 (149,337)	—	280 (336)	594,341 (596,979)
	公立	128,683 (128,021)	—	15,917 (16,059)	—	189 (132)	144,789 (144,212)
	私立	1,982,607 (1,977,142)	169,125 (169,543)	81,947 (82,730)	3,995 (3,838)	1,012 (1,145)	2,238,686 (2,234,398)
	小計	2,557,010 (2,552,469)	169,125 (169,543)	246,205 (248,126)	3,995 (3,838)	1,481 (1,613)	2,977,816 (2,975,589)
短期大学	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	6,776 (7,123)	—	—	—	110 (182)	6,886 (7,305)
	私立	121,169 (123,655)	20,337 (23,189)	—	—	2,101 (2,395)	143,607 (149,239)
	小計	127,945 (130,778)	20,337 (23,189)	—	—	2,211 (2,577)	150,493 (156,544)
高等 専門学校	国立	48,855 (48,648)	—	—	—	2,852 (3,010)	51,707 (51,658)
	公立	3,513 (3,636)	—	—	—	203 (199)	3,716 (3,835)
	私立	2,188 (2,069)	—	—	—	29 (49)	2,217 (2,118)
	小計	54,556 (54,353)	—	—	—	3,084 (3,258)	57,640 (57,611)
計		2,739,511 (2,737,600)	189,462 (192,732)	246,205 (248,126)	3,995 (3,838)	6,776 (7,448)	3,185,949 (3,189,744)

## 2. 障害学生数

### (1) 学校種別・課程別

< 概要 >

- 「大学、短期大学及び高等専門学校」の障害学生数は21,703人で、前年度（14,127人）より7,576人の増。
- 全学生（3,185,949人）に占める障害学生の在籍率は0.68%で、前年度（0.44%）より0.24ポイントの増。
- 学校種別で見ると次のとおり。
  - ・「大学」に在籍している障害学生は19,578人で、前年度（13,045人）より6,533人の増。
  - ・「短期大学」は1,240人で前年度（535人）より705人の増。「高等専門学校」は885人で前年度（547人）より338人の増。
- 課程別で見ると次のとおり。
  - ・在籍者が最も多いのは「大学の学部（通学）」の16,427人で前年度（10,546人）より5,881人の増。次いで「大学の学部（通信）」の1,860人で前年度（1,740人）より120人の増。以下は「大学院（通学）」の1,244人で前年度（705人）より539人の増、「短期大学の学科（通学）」の1,198人で前年度（506人）より692人の増。「高等専門学校の本科（通学）」の841人で前年度（527人）より314人の増。
  - ・障害学生在籍率が最も高いのは「高等専門学校の本科（通学）」の1.54%で前年度（0.97%）より0.57ポイントの増。

表2 障害学生数 [学校種別・課程別]

区 分		障害学生数 (人)	学生数 (人)	障害学生 在籍率(※) (%)
大学	学部(通学)	16,427 (10,546)	2,557,010 (2,552,469)	0.64 (0.41)
	学部(通信)	1,860 (1,740)	169,125 (169,543)	1.10 (1.03)
	大学院(通学)	1,244 (705)	246,205 (248,126)	0.51 (0.28)
	大学院(通信)	37 (42)	3,995 (3,838)	0.93 (1.09)
	専攻科	10 (12)	1,481 (1,613)	0.68 (0.74)
	小計	19,578 (13,045)	2,977,816 (2,975,589)	0.66 (0.44)
短期大学	学科(通学)	1,198 (506)	127,945 (130,778)	0.94 (0.39)
	学科(通信)	27 (23)	20,337 (23,189)	0.13 (0.10)
	専攻科	15 (6)	2,211 (2,577)	0.68 (0.23)
	小計	1,240 (535)	150,493 (156,544)	0.82 (0.34)
高等 専門学校	本科(通学)	841 (527)	54,556 (54,353)	1.54 (0.97)
	専攻科	44 (20)	3,084 (3,258)	1.43 (0.61)
	小計	885 (547)	57,640 (57,611)	1.54 (0.95)
計		21,703 (14,127)	3,185,949 (3,189,744)	0.68 (0.44)

※ 障害学生在籍率：障害学生数÷学生数×100(%)

## (2) 学校種別・設置者別

### < 概要 >

○学校種別・設置者別で見ると次のとおり。

- ・障害学生数が最も多いのは「私立大学」の14,818人で、前年度（10,315人）より4,503人の増。次いで「国立大学」の3,520人で前年度（2,303人）より1,217人の増。以下は「公立大学」の1,240人で前年度（427人）より813人の増、「私立短期大学」の1,216人で前年度（511人）より705人の増。「国立高等専門学校」の806人で前年度（489人）より317人の増。以上の区分においては学生数の多い順に障害学生数も多い。
- ・障害学生在籍率が最も高いのは「私立高等専門学校」の1.76%で前年度（1.37%）より0.39ポイントの増。以下「国立高等専門学校」1.56%（同0.95%）、「公立高等専門学校」1.08%（同0.76%）で、すべての区分の高等専門学校で1%を超えている。
- ・障害学生在籍率が最も低いのは「公立短期大学」の0.35%（同0.33%）。

表3 障害学生数 [学校種別・設置者別]

区 分		障害学生数 (人)		学生数 (人)		障害学生 在籍率(※) (%)	
大学	国立	3,520	(2,303)	594,341	(596,979)	0.59	(0.39)
	公立	1,240	(427)	144,789	(144,212)	0.86	(0.30)
	私立	14,818	(10,315)	2,238,686	(2,234,398)	0.66	(0.46)
	小計	19,578	(13,045)	2,977,816	(2,975,589)	0.66	(0.44)
短期大学	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	24	(24)	6,886	(7,305)	0.35	(0.33)
	私立	1,216	(511)	143,607	(149,239)	0.85	(0.34)
	小計	1,240	(535)	150,493	(156,544)	0.82	(0.34)
高等 専門学校	国立	806	(489)	51,707	(51,658)	1.56	(0.95)
	公立	40	(29)	3,716	(3,835)	1.08	(0.76)
	私立	39	(29)	2,217	(2,118)	1.76	(1.37)
	小計	885	(547)	57,640	(57,611)	1.54	(0.95)
計		21,703	(14,127)	3,185,949	(3,189,744)	0.68	(0.44)

※ 障害学生在籍率：障害学生数÷学生数×100(%)

### (3) 障害種別・学校種別

#### < 概要 >

○障害種別で見ると次のとおり。

- ・今回調査より、障害種別の区分に「精神障害」を設け、「病弱・虚弱」には「内部障害等」と「他の慢性疾患」の下位区分を設けた。「その他の障害」の前年度の障害学生数には「その他」として計上されていた精神疾患・精神障害の学生数が含まれる。
- ・最も多いのは「病弱・虚弱」の6,457人。次いで「精神障害」の5,888人。
- ・「精神障害」の内訳は「神経症性障害等」が1,996人で最も多く、次いで「気分障害」の1,796人。

表4 障害学生数〔障害種別・学校種別〕

区 分		大学 (人)	短期大学 (人)	高等 専門学校 (人)	計 (人)	構成比 (%)
視覚 障害	盲	143 (136)	2 (1)	0 (0)	145 (137)	0.7 (1.0)
	弱視	579 (551)	9 (8)	24 (14)	612 (573)	2.8 (4.1)
	小計	722 (687)	11 (9)	24 (14)	757 (710)	3.5 (5.0)
聴覚・ 言語 障害	聾	567 (596)	5 (6)	3 (2)	575 (604)	2.6 (4.3)
	難聴	999 (932)	57 (44)	40 (33)	1,096 (1,009)	5.0 (7.1)
	言語障害のみ	56 (38)	4 (1)	2 (2)	62 (41)	0.3 (0.3)
	小計	1,622 (1,566)	66 (51)	45 (37)	1,733 (1,654)	8.0 (11.7)
肢体 不自由	上肢機能障害	327 (313)	15 (11)	8 (8)	350 (332)	1.6 (2.4)
	下肢機能障害	894 (869)	36 (41)	10 (10)	940 (920)	4.3 (6.5)
	上下肢機能障害	787 (779)	27 (27)	5 (6)	819 (812)	3.8 (5.7)
	他の機能障害	413 (452)	14 (14)	8 (4)	435 (470)	2.0 (3.3)
	小計	2,421 (2,413)	92 (93)	31 (28)	2,544 (2,534)	11.7 (17.9)
病弱・ 虚弱	内部障害等	3,520 —	356 —	108 —	3,984 —	18.4 —
	他の慢性疾患	2,033 —	298 —	142 —	2,473 —	11.4 —
	小計	5,553 (2,809)	654 (165)	250 (63)	6,457 (3,037)	29.8 (21.5)
重複	341 (319)	11 (7)	22 (0)	374 (326)	1.7 (2.3)	
発達障害 (診断書 有)	S L D	152 (96)	14 (9)	9 (9)	175 (114)	0.8 (0.8)
	A D H D	456 (278)	18 (14)	85 (71)	559 (363)	2.6 (2.6)
	A S D	2,017 (1,674)	66 (61)	215 (221)	2,298 (1,956)	10.6 (13.8)
	発達障害の重複	331 (234)	17 (13)	56 (42)	404 (289)	1.9 (2.0)
	小計	2,956 (2,282)	115 (97)	365 (343)	3,436 (2,722)	15.8 (19.3)
精神障害	統合失調症等	754 —	30 —	5 —	789 —	3.6 —
	気分障害	1,717 —	57 —	22 —	1,796 —	8.3 —
	神経症性障害等	1,872 —	91 —	33 —	1,996 —	9.2 —
	摂食障害・睡眠障害等	485 —	35 —	22 —	542 —	2.5 —
	他の精神障害	694 —	54 —	17 —	765 —	3.5 —
小計	5,522 —	267 —	99 —	5,888 —	27.1 —	
その他の障害	441 (2,969)	24 (113)	49 (62)	514 (3,144)	2.4 (22.3)	
計	19,578 (13,045)	1,240 (535)	885 (547)	21,703 (14,127)	100.0 (100.0)	

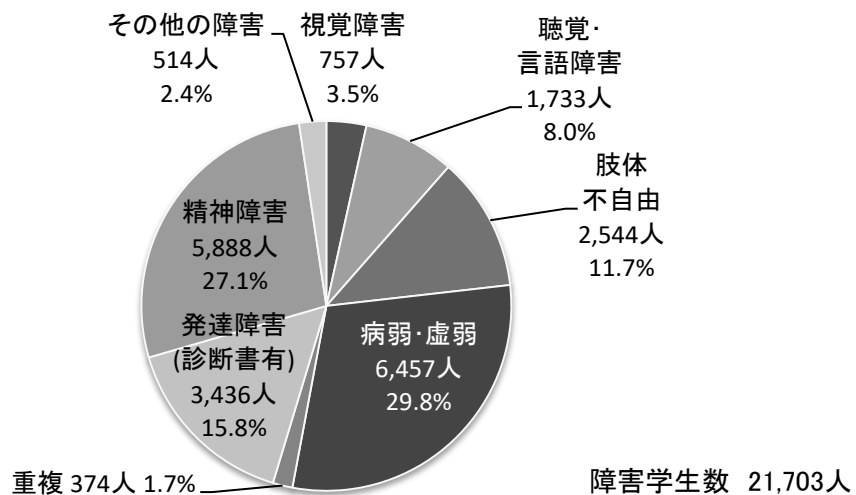


図1 障害学生数(障害種別)

(4) 障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

< 概要 >

○大学に在籍している障害学生(19,578人)を学科(専攻)別に見ると、構成比が10%を超えているのは次のとおり。

- ・多い順に、「社会科学」4,861人(構成比24.8%)、「人文科学」4,113人(同21.0%)、「工学」3,010人(同15.4%)。

表5 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (大学)

区分		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
大学	視覚障害	盲	18	26	4	14	0	14	0	0	4	11	52	143	
		弱視	76	116	22	71	8	6	105	0	8	46	12	109	579
		小計	94	142	26	85	8	6	119	0	8	50	23	161	722
	言語聴覚・言語障害	聾	67	111	10	232	3	2	41	0	5	55	25	16	567
		難聴	164	286	31	122	28	27	100	0	26	115	30	70	999
		言語障害のみ	10	12	4	12	2	2	2	0	0	4	2	6	56
		小計	241	409	45	366	33	31	143	0	31	174	57	92	1,622
	不自由	上肢機能障害	64	100	7	40	7	9	23	1	2	22	14	38	327
		下肢機能障害	189	270	24	97	9	19	84	0	5	65	33	99	894
		上下肢機能障害	173	297	27	63	6	7	58	0	7	32	13	104	787
		他の機能障害	97	129	6	31	4	2	21	0	3	14	15	91	413
		小計	523	796	64	231	26	37	186	1	17	133	75	332	2,421
	虚弱・重複	内部障害等	618	831	129	518	156	111	426	0	130	314	133	154	3,520
		他の慢性疾患	336	476	61	325	43	42	395	0	65	133	72	85	2,033
		小計	954	1,307	190	843	199	153	821	0	195	447	205	239	5,553
	重複	77	81	5	37	2	0	75	0	6	13	9	36	341	
	(発達障害)	S L D	17	25	5	35	8	0	5	0	1	2	10	44	152
		A D H D	112	105	16	72	16	5	17	0	3	27	31	52	456
		A S D	490	487	141	460	80	18	67	0	23	60	72	119	2,017
		発達障害の重複	71	87	17	61	7	1	30	0	3	7	14	33	331
小計		690	704	179	628	111	24	119	0	30	96	127	248	2,956	
精神障害	統合失調症等	180	198	27	102	21	7	51	0	16	61	36	55	754	
	気分障害	418	378	68	243	69	75	159	0	34	74	128	71	1,717	
	神経症性障害等	543	475	46	254	46	29	111	0	43	90	94	141	1,872	
	摂食障害・睡眠障害等	120	88	14	60	24	12	61	0	20	32	23	31	485	
	他の精神障害	175	186	27	76	21	11	46	0	14	31	56	51	694	
小計	1,436	1,325	182	735	181	134	428	0	127	288	337	349	5,522		
その他の障害	98	97	10	85	9	10	24	0	7	28	38	35	441		
計		4,113	4,861	701	3,010	569	395	1,915	1	421	1,229	871	1,492	19,578	
構成比 (%)		21.0	24.8	3.6	15.4	2.9	2.0	9.8	0.0	2.2	6.3	4.4	7.6	100.0	

※ 学科(専攻)の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(4) 障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

< 概要 >

○短期大学に在籍している障害学生(1,240人)を学科(専攻)別に見ると、構成比が10%を超えているのは次のとおり。

- ・多い順に、「教育」327人(構成比26.4%)、「家政」255人(同20.6%)、「人文」189人(同15.2%)。

表6 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

区 分		人 文	社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
短期大学	視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
		弱視	1	2	1	0	0	0	1	1	1	2	9
		小計	1	2	1	0	0	0	2	1	2	2	11
	言語聴覚障害	聾	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5
		難聴	6	8	1	0	0	1	17	17	1	6	57
		言語障害のみ	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	4
		小計	8	10	1	0	0	2	19	18	2	6	66
	不自由	上肢機能障害	0	2	1	3	0	1	1	6	0	1	15
		下肢機能障害	3	8	0	2	0	2	6	7	1	7	36
		上下肢機能障害	13	3	0	2	0	0	3	2	3	1	27
		他の機能障害	2	1	0	1	0	1	6	1	2	0	14
		小計	18	14	1	8	0	4	16	16	6	9	92
	虚弱・重複	内部障害等	48	29	11	8	1	54	77	99	8	21	356
		他の慢性疾患	22	23	3	1	0	18	71	122	3	35	298
		小計	70	52	14	9	1	72	148	221	11	56	654
	(発達障害有)	S L D	4	1	1	0	1	0	5	1	1	0	14
		A D H D	3	0	1	3	0	1	5	2	2	1	18
		A S D	15	7	1	6	0	4	10	3	7	13	66
		発達障害の重複	3	2	1	1	0	0	5	1	3	1	17
		小計	25	10	4	10	1	5	25	7	13	15	115
	精神障害	統合失調症等	8	1	2	0	0	2	9	4	1	3	30
		気分障害	13	5	2	1	0	8	6	14	2	6	57
		神経症性障害等	18	11	1	0	0	12	13	21	9	6	91
		摂食障害・睡眠障害等	11	3	1	0	0	1	6	9	1	3	35
		他の精神障害	7	6	2	2	0	6	7	9	14	1	54
	小計	57	26	8	3	0	29	41	57	27	19	267	
	その他の障害	8	2	0	1	0	1	3	6	1	2	24	
計		189	120	29	31	2	115	255	327	63	109	1,240	
構成比 (%)		15.2	9.7	2.3	2.5	0.2	9.3	20.6	26.4	5.1	8.8	100.0	

※ 学科(専攻)の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(4) 障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

< 概要 >

○高等専門学校に在籍している障害学生（885人）を学科（専攻）別に見ると、構成比が98.8%を占めているのが「工業」874人。

表7 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

区 分		社 会	工 業	商 船	芸 術	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
高等専門学校	視覚障害	盲	0	0	0	0	0
		弱視	0	24	0	0	24
		小計	0	24	0	0	24
	言語覚 障害	聾	0	3	0	0	3
		難聴	0	39	1	0	40
		言語障害のみ	0	2	0	0	2
		小計	0	44	1	0	45
	不肢自 由	上肢機能障害	0	8	0	0	8
		下肢機能障害	0	10	0	0	10
		上下肢機能障害	0	5	0	0	5
		他の機能障害	0	8	0	0	8
		小計	0	31	0	0	31
	病弱・ 虚弱	内部障害等	0	108	0	0	108
		他の慢性疾患	0	141	1	0	142
		小計	0	249	1	0	250
	重複	0	22	0	0	22	
	(発達 障害 書有)	S L D	0	9	0	0	9
		A D H D	0	83	2	0	85
		A S D	1	210	4	0	215
		発達障害の重複	0	56	0	0	56
		小計	1	358	6	0	365
	精神 障害	統合失調症等	0	5	0	0	5
		気分障害	0	22	0	0	22
		神経症性障害等	1	32	0	0	33
		摂食障害・睡眠障害等	1	21	0	0	22
		他の精神障害	0	17	0	0	17
小計		2	97	0	0	99	
その他の障害	0	49	0	0	49		
計		3	874	8	0	885	
構成比 (%)		0.3	98.8	0.9	0.0	100.0	

※ 学科（専攻）の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）

< 概要 >

- 発達障害と他の障害が重複している障害学生の数を障害種別で見ると、精神障害との重複が最も多く88人（構成比53.0%）。次いで病弱・虚弱との重複が36人（同21.7%）となっている。
  - 精神障害と他の障害が重複している障害学生の数を障害種別で見ると、発達障害との重複が最も多く131人（構成比58.5%）。次いで病弱・虚弱との重複が42人（同18.8%）となっている。
- なお、発達障害と精神障害の重複については、いずれか主となる障害の側に計上されている。

表8 発達障害と他の障害が重複している障害学生数[障害種別]

区分	大学					短期大学					高等専門学校					計	構成比
	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計		
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	弱視	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	1.8
	小計	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	1.8
言語障害・ 聴覚障害	聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	難聴	0	2	5	1	8	0	0	0	0	0	0	2	0	2	10	6.0
	言語障害のみ	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.2
	小計	0	2	6	2	10	0	0	0	0	0	0	0	2	2	12	7.2
不 自 由	上肢機能障害	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	1.8
	下肢機能障害	0	0	2	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0	1	4	2.4
	上下肢機能障害	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.8
	他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0.6
	小計	2	2	3	0	7	0	1	0	1	0	1	2	0	3	11	6.6
病 弱 ・ 虚 弱	内部障害等	0	1	7	3	11	0	0	0	0	0	1	1	0	2	13	7.8
	他の慢性疾患	2	5	10	2	19	0	0	0	0	0	0	3	1	4	23	13.9
	小計	2	6	17	5	30	0	0	0	0	0	1	4	1	6	36	21.7
重複	0	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	3	3	2	8	11	6.6
精 神 障 害	統合失調症等	1	1	11	3	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	9.6
	気分障害	1	6	17	1	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	15.1
	神経症性障害等	2	3	18	3	26	0	1	0	1	0	0	3	0	3	30	18.1
	摂食障害・睡眠障害等	0	1	6	0	7	0	0	0	0	0	1	0	0	1	8	4.8
	他の精神障害	0	1	3	4	8	0	1	0	1	0	0	0	0	0	9	5.4
	小計	4	12	55	11	82	0	2	0	2	0	1	3	0	4	88	53.0
その他の障害	0	0	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3.0	
計	9	24	86	20	139	0	3	0	3	0	6	15	3	24	166	100.0	





### 3. 障害学生在籍学校数

#### (1) 障害種別・学校種別

##### < 概要 >

- 障害学生が在籍している学校は880校で、前年度（833校）より47校の増。
- 全学校（1,182校）に占める障害学生在籍校（880校）の割合は74.5%で、前年度（70.3%）より4.2ポイントの増。
- 障害種別の在籍校数が多い順に並べると次のとおり。  
「病弱・虚弱」574校（前年度399校）、「発達障害（診断書有）」568校（同495校）、「精神障害」564校、「肢体不自由」543校（同547校）、「聴覚・言語障害」449校（同422校）、「視覚障害」243校（同248校）、「その他の障害」186校（同430校）、「重複」143校（同140校）。

表10 障害学生在籍学校数〔障害種別・学校種別〕

区 分		大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	盲	53 (52)	2 (1)	0 (0)	55 (53)
	弱視	207 (207)	9 (8)	11 (11)	227 (226)
	視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	221 (228)	11 (9)	11 (11)	243 (248)
聴覚・ 言語障害	聾	111 (113)	5 (6)	3 (2)	119 (121)
	難聴	331 (313)	40 (33)	19 (18)	390 (364)
	言語障害のみ	39 (24)	3 (1)	1 (1)	43 (26)
	聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	381 (363)	47 (39)	21 (20)	449 (422)
肢体 不自由	上肢機能障害	180 (172)	14 (11)	7 (7)	201 (190)
	下肢機能障害	348 (325)	30 (36)	9 (9)	387 (370)
	上下肢機能障害	275 (277)	21 (23)	5 (6)	301 (306)
	他の機能障害	146 (162)	14 (13)	2 (4)	162 (179)
	肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	465 (462)	60 (64)	18 (21)	543 (547)
病弱・虚弱	内部障害等	394 (—)	82 (—)	21 (—)	497 (—)
	他の慢性疾患	275 (—)	67 (—)	19 (—)	361 (—)
	病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	445 (328)	103 (54)	26 (17)	574 (399)
重複	重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	132 (133)	9 (7)	2 (0)	143 (140)
発達障害 (診断書有)	SLD	75 (59)	11 (6)	8 (8)	94 (73)
	ADHD	205 (149)	16 (12)	30 (27)	251 (188)
	ASD	383 (345)	43 (45)	40 (42)	466 (432)
	発達障害の重複	152 (119)	15 (11)	27 (21)	194 (151)
	発達障害(診断書有)学生が 1人以上在籍する学校数	456 (393)	68 (57)	44 (45)	568 (495)
精神障害	統合失調症等	244 (—)	23 (—)	4 (—)	271 (—)
	気分障害	293 (—)	39 (—)	10 (—)	342 (—)
	神経症性障害等	304 (—)	46 (—)	15 (—)	365 (—)
	摂食障害・睡眠障害等	183 (—)	23 (—)	12 (—)	218 (—)
	他の精神障害	229 (—)	29 (—)	10 (—)	268 (—)
	精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	443 (—)	95 (—)	26 (—)	564 (—)
その他の障害	その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	161 (355)	15 (53)	10 (22)	186 (430)
障害学生在籍学校数		650 (619)	177 (160)	53 (54)	880 (833)
比率 (%) (※)		83.1 (79.4)	51.6 (46.0)	93.0 (94.7)	74.5 (70.3)
全学校数		782 (780)	343 (348)	57 (57)	1,182 (1,185)

※ 比率：障害学生在籍学校数÷全学校数×100(%)

(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別

< 概要 >

○障害学生在籍者数別で見ると次のとおり。

多い順に、「0人」302校（前年度352校）、「21人以上」288校（同173校）、「2～5人」222校（同222校）、「11～20人」145校（同144校）、「6～10人」119校（同142校）、「1人」106校（同152校）。

○障害学生が「1人以上在籍」する学校を全学生数の規模別で見ると次のとおり。

多い順に、「1,000～1,999人」202校（前年度186校）、「1～499人」178校（同148校）、「2,000～4,999人」169校（同173校）、「500～999人」163校（同157校）、「5,000～9,999人」101校（同102校）、「10,000人以上」67校（同67校）。

表11 障害学生在籍学校数〔学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別〕

区分	学校種別	障害学生在籍者数							計② (校)	1人以上 在籍 ① (校)	1人以上 在籍率 (※2) (%)
		21人以上 (校)	11～ 20人 (校)	6～ 10人 (校)	2～5人 (校)	1人 (校)	0人 (校)	26年 度在 籍校 (※ 1) (校)			
10,000 人 以上	大学	61 (50)	4 (15)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	(1)	68 (67)	67 (67)	98.5 (100.0)
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	61 (50)	4 (15)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	(1)	68 (67)	67 (67)	98.5 (100.0)
5,000 ～ 9,999 人	大学	65 (48)	22 (23)	10 (20)	3 (9)	0 (0)	0 (0)	(0)	100 (100)	100 (100)	100.0 (100.0)
	短期大学	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	(0)	1 (2)	1 (2)	100.0 (100.0)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	65 (48)	23 (24)	10 (20)	3 (10)	0 (0)	0 (0)	(0)	101 (102)	101 (102)	100.0 (100.0)
2,000 ～ 4,999 人	大学	74 (40)	37 (40)	24 (34)	30 (44)	3 (14)	5 (7)	(3)	173 (179)	168 (172)	97.1 (96.1)
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	2 (0)	(2)	3 (1)	1 (1)	33.3 (100.0)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	74 (40)	37 (40)	24 (34)	31 (44)	3 (15)	7 (7)	(5)	176 (180)	169 (173)	96.0 (96.1)
1,000 ～ 1,999 人	大学	42 (19)	32 (25)	25 (31)	47 (46)	17 (25)	20 (30)	(4)	183 (176)	163 (146)	89.1 (83.0)
	短期大学	1 (0)	3 (1)	4 (4)	1 (0)	1 (4)	1 (5)	(0)	11 (14)	10 (9)	90.9 (64.3)
	高等専門学校	8 (4)	8 (13)	4 (3)	5 (8)	4 (3)	1 (1)	(0)	30 (32)	29 (31)	96.7 (96.9)
	小計	51 (23)	43 (39)	33 (38)	53 (54)	22 (32)	22 (36)	(4)	224 (222)	202 (186)	90.2 (83.8)
500 ～ 999 人	大学	18 (6)	11 (10)	14 (17)	39 (37)	17 (18)	30 (42)	(4)	129 (130)	99 (88)	76.7 (67.7)
	短期大学	2 (1)	5 (3)	5 (2)	20 (18)	8 (22)	35 (36)	(8)	75 (82)	40 (46)	53.3 (56.1)
	高等専門学校	2 (1)	8 (6)	5 (7)	5 (8)	4 (1)	3 (2)	(2)	27 (25)	24 (23)	88.9 (92.0)
	小計	22 (8)	24 (19)	24 (26)	64 (63)	29 (41)	68 (80)	(14)	231 (237)	163 (157)	70.6 (66.2)
1 ～ 499人	大学	7 (3)	5 (3)	6 (12)	17 (12)	18 (16)	76 (82)	(7)	129 (128)	53 (46)	41.1 (35.9)
	短期大学	8 (1)	9 (4)	20 (10)	54 (39)	34 (48)	128 (147)	(20)	253 (249)	125 (102)	49.4 (41.0)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	15 (4)	14 (7)	26 (22)	71 (51)	52 (64)	204 (229)	(27)	382 (377)	178 (148)	46.6 (39.3)
学校 種別 計	大学	267 (166)	111 (116)	81 (116)	136 (148)	55 (73)	132 (161)	(19)	782 (780)	650 (619)	83.1 (79.4)
	短期大学	11 (2)	18 (9)	29 (16)	76 (58)	43 (75)	166 (188)	(30)	343 (348)	177 (160)	51.6 (46.0)
	高等専門学校	10 (5)	16 (19)	9 (10)	10 (16)	8 (4)	4 (3)	(2)	57 (57)	53 (54)	93.0 (94.7)
計	288 (173)	145 (144)	119 (142)	222 (222)	106 (152)	302 (352)	(51)	1,182 (1,185)	880 (833)	74.5 (70.3)	
構成比 (%)	24.4 (14.6)	12.3 (12.2)	10.1 (12.0)	18.8 (18.7)	9.0 (12.8)	25.5 (29.7)		100.0 (100.0)			

※1 「26年度在籍校」：平成27年度障害学生数0人の学校のうち、26年度に1人以上の障害学生が在籍していた学校数

※2 1人以上在籍率：①1人以上在籍校数÷②計（項目毎の全体の学校数）×100（%）

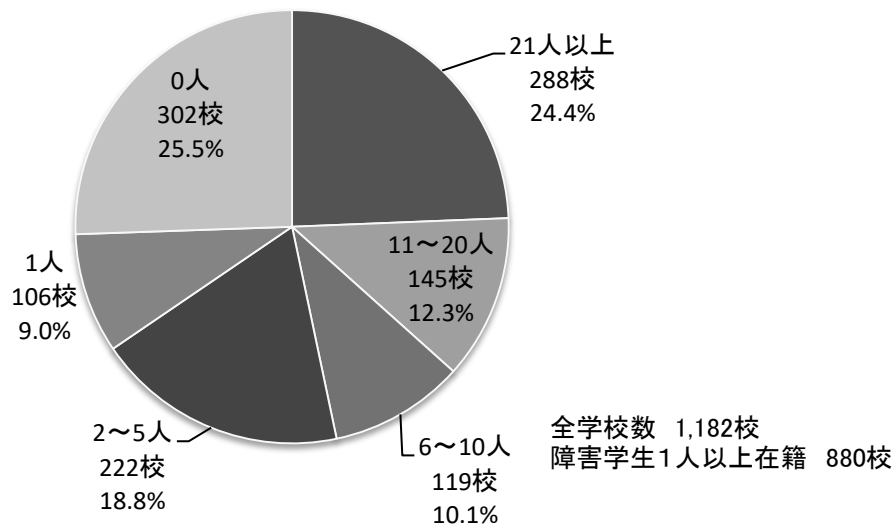


図2 障害学生在籍学校数（障害学生在籍者数別）

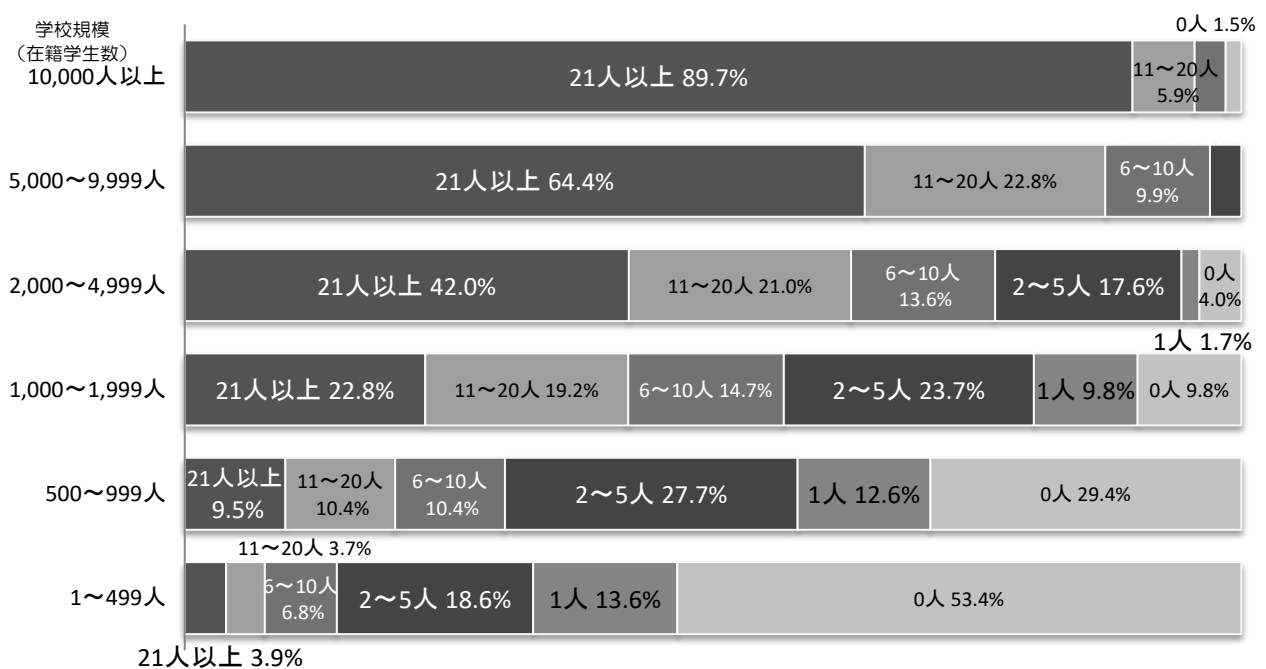


図3 障害学生在籍学校構成比（在籍学生数別・障害学生在籍者数別）

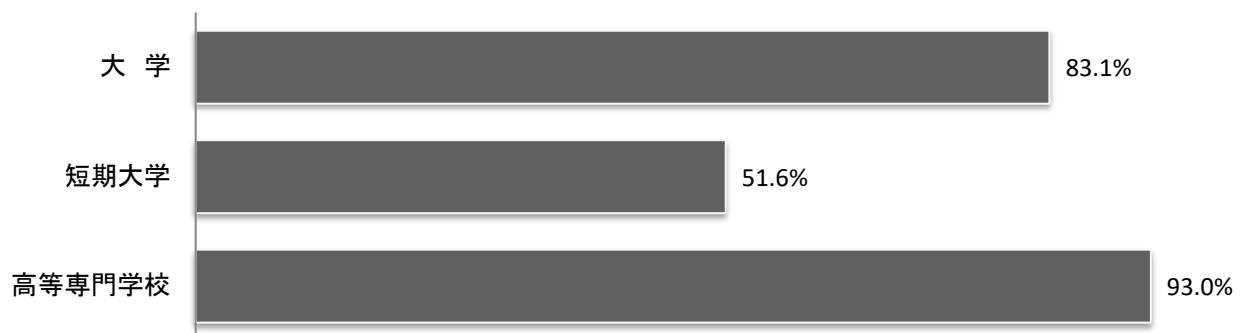


図4 障害学生1人以上在籍率（学校種別）

## 4. 支援障害学生数

### (1) 学校種別・課程別

#### < 概要 >

- 障害学生（21,703人）のうち支援障害学生（※1）の総数は11,476人で、前年度（7,482人）より3,994人の増。
- 支援障害学生在籍率（※2）は0.36%で前年度（0.23%）より0.13ポイントの増、障害学生支援率（※3）は52.9%で前年度（53.0%）から0.1ポイントの減。
- 学校種別で見ると次のとおり。
  - ・「大学」に在籍している支援障害学生は10,516人で前年度（6,943人）より3,573人の増。
  - ・「短期大学」は530人で前年度（266人）より264人の増。「高等専門学校」は430人で前年度（273人）より157人の増。
- 課程別で見ると次のとおり。
 

在籍者が最も多いのは「大学の学部（通学）」の8,740人で前年度（5,813人）より2,927人の増。次いで「大学の学部（通信）」の972人で前年度（718人）より254人の増。以下は「大学院（通学）」の785人で前年度（382人）より403人の増。「短期大学の学科（通学）」の514人で前年度（254人）より260人の増。「高等専門学校の本科（通学）」の410人で前年度（262人）より148人の増。

表12 支援障害学生数 [学校種別・課程別]

区 分		学生数 (人)	障害学生数 (人)	支援障害 学生数 (人)	支援障害学生 在籍率(※2) (%)	障害学生 支援率(※3) (%)
大学	学部(通学)	2,557,010 (2,552,469)	16,427 (10,546)	8,740 (5,813)	0.34 (0.23)	53.2 (55.1)
	学部(通信)	169,125 (169,543)	1,860 (1,740)	972 (718)	0.57 (0.42)	52.3 (41.3)
	大学院(通学)	246,205 (248,126)	1,244 (705)	785 (382)	0.32 (0.15)	63.1 (54.2)
	大学院(通信)	3,995 (3,838)	37 (42)	14 (20)	0.35 (0.52)	37.8 (47.6)
	専攻科	1,481 (1,613)	10 (12)	5 (10)	0.34 (0.62)	50.0 (83.3)
	小計	2,977,816 (2,975,589)	19,578 (13,045)	10,516 (6,943)	0.35 (0.23)	53.7 (53.2)
短期大学	学科(通学)	127,945 (130,778)	1,198 (506)	514 (254)	0.40 (0.19)	42.9 (50.2)
	学科(通信)	20,337 (23,189)	27 (23)	11 (9)	0.05 (0.04)	40.7 (39.1)
	専攻科	2,211 (2,577)	15 (6)	5 (3)	0.23 (0.12)	33.3 (50.0)
	小計	150,493 (156,544)	1,240 (535)	530 (266)	0.35 (0.17)	42.7 (49.7)
高等 専門学校	本科(通学)	54,556 (54,353)	841 (527)	410 (262)	0.75 (0.48)	48.8 (49.7)
	専攻科	3,084 (3,258)	44 (20)	20 (11)	0.65 (0.34)	45.5 (55.0)
	小計	57,640 (57,611)	885 (547)	430 (273)	0.75 (0.47)	48.6 (49.9)
計		3,185,949 (3,189,744)	21,703 (14,127)	11,476 (7,482)	0.36 (0.23)	52.9 (53.0)

※1 支援障害学生：学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（平成27年度中の予定を含む）障害学生。

※2 支援障害学生在籍率：支援障害学生数÷学生数×100(%)

※3 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

## (2) 学校種別・設置者別

### < 概要 >

○学校種別・設置者別で見ると次のとおり。

- ・支援障害学生数が最も多いのは「私立大学」の7,621人で、前年度（5,226人）より2,395人の増。次いで「国立大学」の2,369人で前年度（1,466人）より903人の増。以下は「公立大学」の526人で前年度（251人）より275人の増。「私立短期大学」の520人で前年度（256人）より264人の増。「国立高等専門学校」の386人で前年度（243人）より143人の増。以上の区分においては学生数および障害学生数の多い順に支援障害学生数も多い。
- ・支援障害学生在籍率（※2）は「大学」「短期大学」がともに0.35%（前年度は大学0.23%、短期大学0.17%）、「高等専門学校」は0.75%（同0.47%）となっている。
- ・障害学生支援率については、「公立高等専門学校」82.5%（同86.2%）、「国立大学」67.3%（同63.7%）、「私立大学」51.4%（同50.7%）の順に高い。

表13 支援障害学生数 [学校種別・設置者別]

区 分		学生数 (人)	障害学生数 (人)	支援障害 学生数 (人)	支援障害学生 在籍率(※2) (%)	障害学生 支援率(※3) (%)
大学	国立	594,341 (596,979)	3,520 (2,303)	2,369 (1,466)	0.40 (0.25)	67.3 (63.7)
	公立	144,789 (144,212)	1,240 (427)	526 (251)	0.36 (0.17)	42.4 (58.8)
	私立	2,238,686 (2,234,398)	14,818 (10,315)	7,621 (5,226)	0.34 (0.23)	51.4 (50.7)
	小計	2,977,816 (2,975,589)	19,578 (13,045)	10,516 (6,943)	0.35 (0.23)	53.7 (53.2)
短期大学	国立	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	公立	6,886 (7,305)	24 (24)	10 (10)	0.15 (0.14)	41.7 (41.7)
	私立	143,607 (149,239)	1,216 (511)	520 (256)	0.36 (0.17)	42.8 (50.1)
	小計	150,493 (156,544)	1,240 (535)	530 (266)	0.35 (0.17)	42.7 (49.7)
高等 専門学校	国立	51,707 (51,658)	806 (489)	386 (243)	0.75 (0.47)	47.9 (49.7)
	公立	3,716 (3,835)	40 (29)	33 (25)	0.89 (0.65)	82.5 (86.2)
	私立	2,217 (2,118)	39 (29)	11 (5)	0.50 (0.24)	28.2 (17.2)
	小計	57,640 (57,611)	885 (547)	430 (273)	0.75 (0.47)	48.6 (49.9)
計		3,185,949 (3,189,744)	21,703 (14,127)	11,476 (7,482)	0.36 (0.23)	52.9 (53.0)

※1 支援障害学生：学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（平成27年度中の予定を含む）障害学生。

※2 支援障害学生在籍率：支援障害学生数÷学生数×100(%)

※3 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

(3) 障害種別・学校種別

< 概要 >

○障害種別で見ると次のとおり。

- ・多い順に、「精神障害」3,573人、「発達障害（診断書有）」2,562人（前年度1,856人）、「病弱・虚弱」1,720人（同938人）、「肢体不自由」1,473人（同1,319人）、「聴覚・言語障害」1,129人（同1,093人）、「視覚障害」556人（同539人）、「重複」257人（同227人）。

○障害学生支援率（※1）を多い順位に並べると次のとおり。

- ・「発達障害（診断書有）」74.6%（前年度68.2%）、「視覚障害」73.4%（同75.9%）、「重複」68.7%（同69.6%）、「聴覚・言語障害」65.1%（同66.1%）、「精神障害」60.7%、「肢体不自由」57.9%（同52.1%）、「その他の障害」40.1%（同48.0%）、「病弱・虚弱」26.6%（同30.9%）。

表14 支援障害学生数〔障害種別・学校種別〕

区分	大学			短期大学			高等専門学校			計				
	数 障 害 学 生 (人)	学 支 援 数 障 害 学 生 (人)	(※ 1) 支 援 率 学 生 (%)	数 障 害 学 生 (人)	学 支 援 数 障 害 学 生 (人)	(※ 1) 支 援 率 学 生 (%)	数 障 害 学 生 (人)	学 支 援 数 障 害 学 生 (人)	(※ 1) 支 援 率 学 生 (%)	数 障 害 学 生 (人)	学 支 援 数 障 害 学 生 (人)	(※ 2) 構 成 比 (%)	(※ 1) 支 援 率 学 生 (%)	
視覚障害	盲	143 (136)	136 (128)	95.1 (94.1)	2 (1)	1 (1)	50.0 (100.0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	145 (137)	137 (129)	1.2 (1.7)	94.5 (94.2)
	弱視	579 (551)	405 (393)	69.9 (71.3)	9 (8)	4 (6)	44.4 (75.0)	24 (14)	10 (11)	41.7 (78.6)	612 (573)	419 (410)	3.7 (5.5)	68.5 (71.6)
	小計	722 (687)	541 (521)	74.9 (75.8)	11 (9)	5 (7)	45.5 (77.8)	24 (14)	10 (11)	41.7 (78.6)	757 (710)	556 (539)	4.8 (7.2)	73.4 (75.9)
言語障害	聾	567 (596)	521 (537)	91.9 (90.1)	5 (6)	5 (6)	100.0 (100.0)	3 (2)	2 (1)	66.7 (50.0)	575 (604)	528 (544)	4.6 (7.3)	91.8 (90.1)
	難聴	999 (932)	534 (499)	53.5 (53.5)	57 (44)	21 (18)	36.8 (40.9)	40 (33)	16 (17)	40.0 (51.5)	1,096 (1,009)	571 (534)	5.0 (7.1)	52.1 (52.9)
	言語障害のみ	56 (38)	27 (14)	48.2 (36.8)	4 (1)	3 (1)	75.0 (100.0)	2 (2)	0 (0)	0.0 (0.0)	62 (41)	30 (15)	0.3 (0.2)	48.4 (36.6)
	小計	1,622 (1,566)	1,082 (1,050)	66.7 (67.0)	66 (51)	29 (25)	43.9 (49.0)	45 (37)	18 (18)	40.0 (48.6)	1,733 (1,654)	1,129 (1,093)	9.8 (14.6)	65.1 (66.1)
肢体不自由	上肢機能障害	327 (313)	129 (115)	39.4 (36.7)	15 (11)	5 (2)	33.3 (18.2)	8 (8)	2 (4)	25.0 (50.0)	350 (332)	136 (121)	1.2 (1.6)	38.9 (36.4)
	下肢機能障害	894 (869)	471 (399)	52.7 (45.9)	36 (41)	20 (26)	55.6 (63.4)	10 (10)	8 (5)	80.0 (50.0)	940 (920)	499 (430)	4.3 (5.7)	53.1 (46.7)
	上下肢機能障害	787 (779)	532 (492)	67.6 (63.2)	27 (27)	18 (16)	66.7 (59.3)	5 (6)	3 (4)	60.0 (66.7)	819 (812)	553 (512)	4.8 (6.8)	67.5 (63.1)
	他の機能障害	413 (452)	267 (248)	64.6 (54.9)	14 (14)	12 (7)	85.7 (50.0)	8 (4)	6 (1)	75.0 (25.0)	435 (470)	285 (256)	2.5 (3.4)	65.5 (54.5)
	小計	2,421 (2,413)	1,399 (1,254)	57.8 (52.0)	92 (93)	55 (51)	59.8 (54.8)	31 (28)	19 (14)	61.3 (50.0)	2,544 (2,534)	1,473 (1,319)	12.8 (17.6)	57.9 (52.1)
	病弱・虚弱	内部障害等	3,520 (-)	926 (-)	26.3 (-)	356 (-)	91 (-)	25.6 (-)	108 (-)	51 (-)	47.2 (-)	3,984 (-)	1,068 (-)	9.3 (-)
他の慢性疾患		2,033 (-)	548 (-)	27.0 (-)	298 (-)	64 (-)	21.5 (-)	142 (-)	40 (-)	28.2 (-)	2,473 (-)	652 (-)	5.7 (-)	26.4 (-)
小計		5,553 (2,809)	1,474 (854)	26.5 (30.4)	654 (165)	155 (54)	23.7 (32.7)	250 (63)	91 (30)	36.4 (47.6)	6,457 (3,037)	1,720 (938)	15.0 (12.5)	26.6 (30.9)
重複	341 (319)	232 (222)	68.0 (69.6)	11 (7)	7 (5)	63.6 (71.4)	22 (0)	18 (0)	81.8 (0.0)	374 (326)	257 (227)	2.2 (3.0)	68.7 (69.6)	
(診断書有)	SLD	152 (96)	114 (62)	75.0 (64.6)	14 (9)	10 (5)	71.4 (55.6)	9 (9)	7 (5)	77.8 (55.6)	175 (114)	131 (72)	1.1 (1.0)	74.9 (63.2)
	ADHD	456 (278)	335 (179)	73.5 (64.4)	18 (14)	17 (6)	94.4 (42.9)	85 (71)	37 (33)	43.5 (46.5)	559 (363)	389 (218)	3.4 (2.9)	69.6 (60.1)
	ASD	2,017 (1,674)	1,566 (1,219)	77.6 (72.8)	66 (61)	56 (38)	84.8 (62.3)	215 (221)	105 (105)	48.8 (47.5)	2,298 (1,956)	1,727 (1,362)	15.0 (18.2)	75.2 (69.6)
	発達障害の重複	331 (234)	261 (167)	78.9 (71.4)	17 (13)	11 (8)	64.7 (61.5)	56 (42)	43 (29)	76.8 (69.0)	404 (289)	315 (204)	2.7 (2.7)	78.0 (70.6)
	小計	2,956 (2,282)	2,276 (1,627)	77.0 (71.3)	115 (97)	94 (57)	81.7 (58.8)	365 (343)	192 (172)	52.6 (50.1)	3,436 (2,722)	2,562 (1,856)	22.3 (24.8)	74.6 (68.2)
精神障害	統合失調症等	754 (-)	429 (-)	56.9 (-)	30 (-)	19 (-)	63.3 (-)	5 (-)	3 (-)	60.0 (-)	789 (-)	451 (-)	3.9 (-)	57.2 (-)
	気分障害	1,717 (-)	991 (-)	57.7 (-)	57 (-)	33 (-)	57.9 (-)	22 (-)	13 (-)	59.1 (-)	1,796 (-)	1,037 (-)	9.0 (-)	57.7 (-)
	神経症性障害等	1,872 (-)	1,234 (-)	65.9 (-)	91 (-)	59 (-)	64.8 (-)	33 (-)	29 (-)	87.9 (-)	1,996 (-)	1,322 (-)	11.5 (-)	66.2 (-)
	摂食障害・睡眠障害等	485 (-)	274 (-)	56.5 (-)	35 (-)	25 (-)	71.4 (-)	22 (-)	12 (-)	54.5 (-)	542 (-)	311 (-)	2.7 (-)	57.4 (-)
	他の精神障害	694 (-)	403 (-)	58.1 (-)	54 (-)	38 (-)	70.4 (-)	17 (-)	11 (-)	64.7 (-)	765 (-)	452 (-)	3.9 (-)	59.1 (-)
	小計	5,522 (-)	3,331 (-)	60.3 (-)	267 (-)	174 (-)	65.2 (-)	99 (-)	68 (-)	68.7 (-)	5,888 (-)	3,573 (-)	31.1 (-)	60.7 (-)
その他の障害	441 (2,969)	181 (1,415)	41.0 (47.7)	24 (113)	11 (67)	45.8 (59.3)	49 (62)	14 (28)	28.6 (45.2)	514 (3,144)	206 (1,510)	1.8 (20.2)	40.1 (48.0)	
計	19,578 (13,045)	10,516 (6,943)	53.7 (53.2)	1,240 (535)	530 (266)	42.7 (49.7)	885 (547)	430 (273)	48.6 (49.9)	21,703 (14,127)	11,476 (7,482)	100.0 (100.0)	52.9 (53.0)	

※1 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

※2 構成比：支援障害学生数÷支援障害学生数の計×100(%)

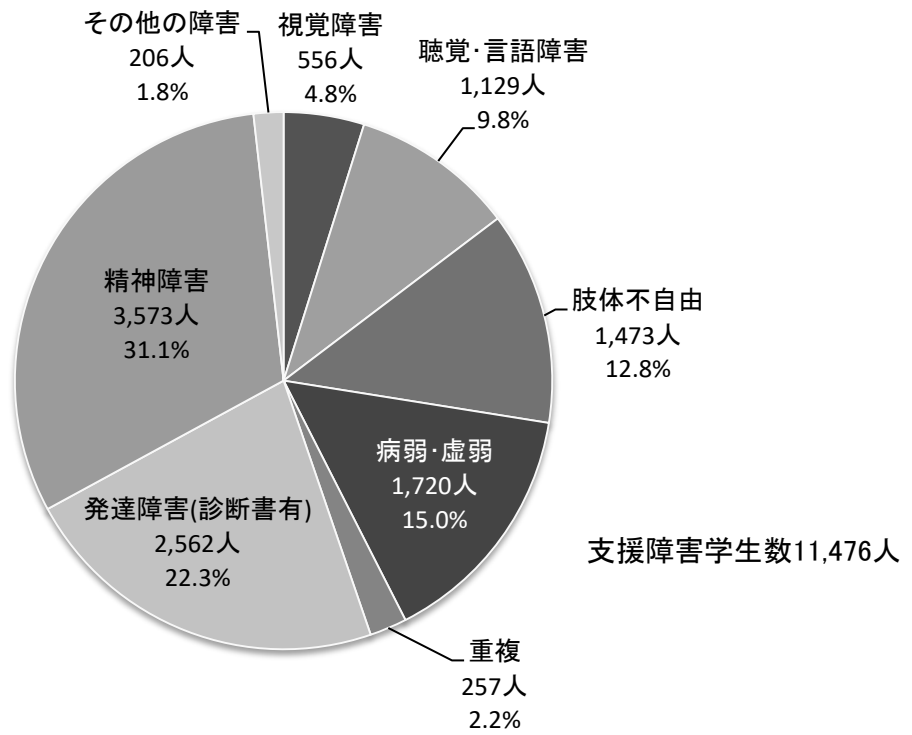


図5 支援障害学生数（障害種別）



(4) 障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

< 概要 >

○大学に在籍している支援障害学生（10,516人）を学科（専攻）別に見ると、構成比が10%を超えているのは次のとおり。

多い順に、「社会科学」2,518人（構成比23.9%）、「人文科学」2,414人（同23.0%）、「工学」1,797人（同17.1%）、「その他」1,125人（同10.7%）。

表15 支援障害学生数〔障害種別・学科(専攻)別〕(大学)

区分		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)	保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
大学	視覚障害	盲	17	23	4	14	0	0	14	0	0	4	9	51	136
		弱視	53	69	12	41	2	4	89	0	7	26	5	97	405
		小計	70	92	16	55	2	4	103	0	7	30	14	148	541
	言語・聴覚障害	聾	57	101	9	228	3	2	31	0	5	49	20	16	521
		難聴	91	159	14	54	14	13	50	0	16	59	18	46	534
		言語障害のみ	4	5	3	7	2	1	2	0	0	0	1	2	27
		小計	152	265	26	289	19	16	83	0	21	108	39	64	1,082
	不自由	上肢機能障害	22	32	2	13	1	6	10	1	2	8	4	28	129
		下肢機能障害	88	138	14	47	4	11	48	0	2	24	15	80	471
		上下肢機能障害	119	193	15	43	6	6	37	0	6	17	6	84	532
		他の機能障害	58	73	4	14	0	1	12	0	1	9	10	85	267
		小計	287	436	35	117	11	24	107	1	11	58	35	277	1,399
	虚弱・病弱	内部障害等	206	205	26	137	43	14	89	0	41	59	36	70	926
		他の慢性疾患	156	115	9	128	6	4	23	0	16	27	39	25	548
		小計	362	320	35	265	49	18	112	0	57	86	75	95	1,474
	重複	52	58	5	21	1	0	53	0	3	4	5	30	232	
	(診断書有害)	S L D	10	19	2	28	7	0	2	0	1	1	4	40	114
		A D H D	80	77	12	52	9	4	12	0	2	17	24	46	335
		A S D	385	369	121	370	51	13	40	0	15	46	49	107	1,566
		発達障害の重複	56	73	16	47	5	1	14	0	1	6	9	33	261
		小計	531	538	151	497	72	18	68	0	19	70	86	226	2,276
	精神障害	統合失調症等	117	102	20	70	12	5	22	0	15	9	14	43	429
		気分障害	247	213	41	185	31	33	80	0	25	22	66	48	991
		神経症性障害等	379	292	36	197	28	10	59	0	33	34	48	118	1,234
		摂食障害・睡眠障害等	70	48	13	33	12	6	26	0	16	18	11	21	274
		他の精神障害	95	106	24	43	20	6	20	0	10	12	25	42	403
	小計	908	761	134	528	103	60	207	0	99	95	164	272	3,331	
その他の障害	52	48	1	25	6	1	7	0	6	7	15	13	181		
計	2,414	2,518	403	1,797	263	141	740	1	223	458	433	1,125	10,516		
構成比 (%)	23.0	23.9	3.8	17.1	2.5	1.3	7.0	0.0	2.1	4.4	4.1	10.7	100.0		

※ 学科（専攻）の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(4) 障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

< 概要 >

○短期大学に在籍している支援障害学生（530人）を学科（専攻）別に見ると、構成比が10%を超えているは次のとおり。

多い順に、「人文」120人（構成比22.6%）、「教育」96人（同18.1%）、「家政」88人（同16.6%）。

表16 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

区 分		人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
短期大学	視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		弱視	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	4
		小計	0	1	1	0	0	0	1	0	2	0	5
	言聴 語覚 障・ 害	聾	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5
		難聴	2	2	1	0	0	1	7	5	0	3	21
		言語障害のみ	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
		小計	4	4	1	0	0	1	9	6	1	3	29
	不肢 自 体 由	上肢機能障害	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	5
		下肢機能障害	3	6	0	1	0	1	2	3	1	3	20
		上下肢機能障害	9	3	0	1	0	0	2	0	3	0	18
		他の機能障害	2	1	0	1	0	1	5	0	2	0	12
		小計	14	10	1	5	0	2	10	4	6	3	55
	病 弱・ 虚 弱	内部障害等	32	10	8	1	0	5	14	17	0	4	91
		他の慢性疾患	7	4	2	1	0	3	7	31	1	8	64
		小計	39	14	10	2	0	8	21	48	1	12	155
	重複	1	2	0	0	0	2	1	0	1	0	7	
	(発 達 障 害 有 )	S L D	1	1	1	0	1	0	4	1	1	0	10
		A D H D	3	0	1	2	0	1	5	2	2	1	17
		A S D	15	3	1	6	0	3	9	2	6	11	56
		発達障害の重複	3	1	0	1	0	0	4	0	2	0	11
		小計	22	5	3	9	1	4	22	5	11	12	94
	精 神 障 害	統合失調症等	4	1	2	0	0	2	5	3	0	2	19
		気分障害	8	2	2	0	0	7	2	7	2	3	33
		神経症性障害等	9	6	1	0	0	11	8	11	8	5	59
		摂食障害・睡眠障害等	9	3	1	0	0	1	2	6	1	2	25
		他の精神障害	4	4	2	1	0	5	6	3	13	0	38
		小計	34	16	8	1	0	26	23	30	24	12	174
その他の障害	6	0	0	0	0	0	1	3	1	0	11		
計		120	52	24	17	1	43	88	96	47	42	530	
構成比 (%)		22.6	9.8	4.5	3.2	0.2	8.1	16.6	18.1	8.9	7.9	100.0	

※学科（専攻）の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(4) 障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

< 概要 >

○高等専門学校に在籍している支援障害学生（430人）を学科（専攻）別に見ると、構成比98.4%を占めているのが「工業」の423人。

表17 支援障害学生数〔障害種別・学科(専攻)別〕（高等専門学校）

区分		社会	工業	商船	芸術	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
高等専門学校	視覚障害	盲	0	0	0	0	0
		弱視	0	10	0	0	10
		小計	0	10	0	0	10
	言語障害・聴覚障害	聾	0	2	0	0	2
		難聴	0	15	1	0	16
		言語障害のみ	0	0	0	0	0
		小計	0	17	1	0	18
	不自由	上肢機能障害	0	2	0	0	2
		下肢機能障害	0	8	0	0	8
		上下肢機能障害	0	3	0	0	3
		他の機能障害	0	6	0	0	6
		小計	0	19	0	0	19
	虚弱・病弱	内部障害等	0	51	0	0	51
		他の慢性疾患	0	40	0	0	40
		小計	0	91	0	0	91
	重複	0	18	0	0	18	
	(発達障害書有)	S L D	0	7	0	0	7
		A D H D	0	35	2	0	37
		A S D	1	103	1	0	105
		発達障害の重複	0	43	0	0	43
		小計	1	188	3	0	192
	精神障害	統合失調症等	0	3	0	0	3
		気分障害	0	13	0	0	13
		神経症性障害等	1	28	0	0	29
		摂食障害・睡眠障害等	1	11	0	0	12
		他の精神障害	0	11	0	0	11
		小計	2	66	0	0	68
その他の障害	0	14	0	0	14		
計		3	423	4	0	430	
構成比 (%)		0.7	98.4	0.9	0.0	100.0	

※ 学科（専攻）の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）

< 概要 >

- 発達障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別でみると、精神障害との重複が最も多く64人（構成比54.2%）、次いで病弱・虚弱との重複が26人（同22.0%）となっている。
  - 精神障害と他の障害が重複している障害学生の数を障害種別でみると、発達障害との重複が最も多く109人（構成比64.1%）、次いで病弱・虚弱との重複が21人（同12.4%）となっている。
- なお、発達障害と精神障害の重複については、いずれか主となる障害の側に計上されている。

表18 発達障害と他の障害が重複している支援障害学生数[障害種別]

区分	大学					短期大学					高等専門学校					計	構成比
	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計		
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	弱視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
言語・聴覚障害	聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	難聴	0	2	4	0	6	0	0	0	0	0	0	2	0	2	8	6.8
	言語障害のみ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.8
	小計	0	2	4	1	7	0	0	0	0	0	0	0	2	2	9	7.6
不自由	上肢機能障害	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.8
	下肢機能障害	0	0	2	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0	1	4	3.4
	上下肢機能障害	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2.5
	他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0.8
	小計	2	1	3	0	6	0	1	0	1	0	1	1	0	2	9	7.6
病弱・虚弱	内部障害等	0	0	5	3	8	0	0	0	0	0	1	1	0	2	10	8.5
	他の慢性疾患	2	1	8	1	12	0	0	0	0	0	0	3	1	4	16	13.6
	小計	2	1	13	4	20	0	0	0	0	0	1	4	1	6	26	22.0
重複	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	3	1	2	6	8	6.8
精神障害	統合失調症等	1	1	9	3	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	11.9
	気分障害	0	4	12	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	13.6
	神経症性障害等	1	1	16	3	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	17.8
	摂食障害・睡眠障害等	0	1	3	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5	4.2
	他の精神障害	0	1	3	3	7	0	1	0	1	0	0	0	0	0	8	6.8
	小計	2	8	43	9	62	0	1	0	1	0	1	0	0	1	64	54.2
その他の障害	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.7	
計	6	12	66	15	99	0	2	0	2	0	6	8	3	17	118	100.0	

表19 精神障害と他の障害が重複している支援障害学生数[障害種別]

区分	大学						短期大学						高等専門学校						計	構成比
	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計		
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			
視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	弱視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
言語障害	聾	2	1	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2.4
	難聴	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.2
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	3	1	1	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3.5
肢体不自由	上肢機能障害	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.6
	下肢機能障害	0	1	2	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2.4
	上下肢機能障害	0	0	2	0	1	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	2.4
	他の機能障害	0	0	0	0	3	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	2.4
	小計	0	1	5	1	4	11	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	13	7.6
病弱・虚弱	内部障害等	0	3	5	0	2	10	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	2	13	7.6
	他の慢性疾患	0	3	3	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4.7
	小計	0	6	8	0	4	18	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	2	21	12.4
重複	1	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	3	2	3	0	8	11	6.5	
(発達障害有)	S L D	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	4	2.4
	A D H D	1	6	3	2	3	15	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	17	10.0
	A S D	8	27	27	2	8	72	0	1	0	1	0	2	0	1	1	3	5	79	46.5
	発達障害の重複	1	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	6	9	5.3
	小計	10	33	32	4	13	92	0	2	0	1	0	3	0	2	4	6	14	109	64.1
その他の障害	0	2	3	0	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	5.9	
計	14	44	49	5	28	140	0	2	1	2	1	6	1	5	7	9	2	24	100.0	

## 5. 支援障害学生在籍学校数

### (1) 障害種別・学校種別

#### < 概要 >

- 支援障害学生が在籍している学校は759校で、前年度（700校）より59校の増。
- 全学校（1,182校）に占める支援障害学生在籍校（759校）の割合は64.2%で、前年度（59.1%）より5.1ポイントの増。
- 障害種別の支援障害学生在籍校数を多い順に並べると次のとおり。  
「発達障害（診断書有）」474校（前年度397校）、「精神障害」439校、「肢体不自由」415校（同389校）、「病弱・虚弱」367校（同227校）、「聴覚・言語障害」325校（同305校）、「視覚障害」182校（同189校）、「その他の障害」112校（同298校）、「重複」106校（同93校）。

表20 支援障害学生在籍学校数〔障害種別・学校種別〕

区 分		大学 (校)	短期大学 (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	盲	52 (50)	1 (1)	0 (0)	53 (51)
	弱視	152 (151)	4 (6)	8 (8)	164 (165)
	支援視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	169 (174)	5 (7)	8 (8)	182 (189)
聴覚・ 言語障害	聾	103 (105)	5 (6)	2 (1)	110 (112)
	難聴	223 (205)	20 (17)	13 (12)	256 (234)
	言語障害のみ	20 (8)	3 (1)	0 (0)	23 (9)
	支援聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	283 (269)	28 (24)	14 (12)	325 (305)
肢体不自由	上肢機能障害	84 (67)	5 (2)	2 (3)	91 (72)
	下肢機能障害	230 (200)	18 (24)	8 (5)	256 (229)
	上下肢機能障害	219 (206)	13 (15)	3 (4)	235 (225)
	他の機能障害	101 (90)	12 (7)	2 (1)	115 (98)
	支援肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	364 (334)	37 (42)	14 (13)	415 (389)
病弱・虚弱	内部障害等	245 (—)	36 (—)	16 (—)	297 (—)
	他の慢性疾患	150 (—)	30 (—)	12 (—)	192 (—)
	支援病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	298 (187)	49 (28)	20 (12)	367 (227)
重複	支援重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	98 (88)	6 (5)	2 (0)	106 (93)
発達障害 (診断書有)	SLD	50 (38)	9 (3)	6 (5)	65 (46)
	ADHD	159 (97)	15 (6)	19 (18)	193 (121)
	ASD	326 (283)	36 (28)	34 (31)	396 (342)
	発達障害の重複	126 (94)	10 (7)	24 (16)	160 (117)
	支援発達障害(診断書有)学生が 1人以上在籍する学校数	381 (326)	54 (35)	39 (36)	474 (397)
精神障害	統合失調症等	169 (—)	16 (—)	2 (—)	187 (—)
	気分障害	212 (—)	22 (—)	8 (—)	242 (—)
	神経症性障害等	240 (—)	30 (—)	14 (—)	284 (—)
	摂食障害・睡眠障害等	122 (—)	15 (—)	6 (—)	143 (—)
	他の精神障害	158 (—)	17 (—)	7 (—)	182 (—)
	支援精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	349 (—)	68 (—)	22 (—)	439 (—)
その他の障 害	支援その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	99 (243)	8 (39)	5 (16)	112 (298)
支援障害学生在籍学校数		584 (545)	127 (110)	48 (45)	759 (700)
全学校数		782 (780)	343 (348)	57 (57)	1,182 (1,185)
在籍率 (%) (※1)		74.7 (69.9)	37.0 (31.6)	84.2 (78.9)	64.2 (59.1)
障害学生在籍学校数		650 (619)	177 (160)	53 (54)	880 (833)
在籍率 (%) (※2)		89.8 (88.0)	71.8 (68.8)	90.6 (83.3)	86.3 (84.0)

※1 全学校数欄の在籍率：支援障害学生在籍学校数÷全学校数×100(%)

※2 障害学生在籍学校数欄の在籍率：支援障害学生在籍学校数÷障害学生在籍学校数×100(%)

(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別

< 概要 >

○支援障害学生在籍者数別で見ると次のとおり。

多い順に、「0人」423校（前年度485校）、「2～5人」248校（同239校）、「21人以上」143校（同81校）、「1人」130校（同172校）、「6～10人」122校（同122校）、「11～20人」116校（同86校）。

○支援障害学生が「1人以上在籍」する学校を全学生数の規模別で見ると次のとおり。

多い順に、「1,000～1,999人」180校（前年度158校）、「2,000～4,999人」157校（同151校）、「1～499人」130校（同111校）、「500～999人」126校（同118校）、「5,000～9,999人」99校（同95校）、「10,000人以上」67校（同67校）。

表21 支援障害学生在籍学校数〔学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別〕

区分	学校種別	支援障害学生在籍者数別							計	1人以上 在籍	1人以上 在籍率
		21人 以上	11～ 20人	6～ 10人	2～5人	1人	0人	26年度 在籍校 (※)			
		(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)
10,000人 以上	大学	44 (29)	10 (21)	7 (11)	5 (4)	1 (2)	1 (0)	(1)	68 (67)	67 (67)	98.5 (100.0)
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	44 (29)	10 (21)	7 (11)	5 (4)	1 (2)	1 (0)	(1)	68 (67)	67 (67)	98.5 (100.0)
5,000 ～ 9,999人	大学	32 (18)	34 (25)	20 (28)	10 (19)	3 (5)	1 (5)	(0)	100 (100)	99 (95)	99.0 (95.0)
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	(0)	1 (2)	0 (0)	0.0 (0.0)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	32 (18)	34 (25)	20 (28)	10 (19)	3 (5)	2 (7)	(0)	101 (102)	99 (95)	98.0 (93.1)
2,000 ～ 4,999人	大学	37 (20)	27 (14)	35 (31)	45 (60)	12 (26)	17 (28)	(8)	173 (179)	156 (151)	90.2 (84.4)
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	(0)	3 (1)	1 (0)	33.3 (0.0)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	37 (20)	27 (14)	35 (31)	46 (60)	12 (26)	19 (29)	(8)	176 (180)	157 (151)	89.2 (83.9)
1,000 ～ 1,999人	大学	18 (8)	18 (15)	22 (24)	60 (46)	26 (30)	39 (53)	(13)	183 (176)	144 (123)	78.7 (69.9)
	短期大学	1 (0)	1 (0)	3 (2)	2 (1)	2 (5)	2 (6)	(0)	11 (14)	9 (8)	81.8 (57.1)
	高等専門学校	4 (3)	5 (1)	5 (6)	9 (13)	4 (4)	3 (5)	(0)	30 (32)	27 (27)	90.0 (84.4)
	小計	23 (11)	24 (16)	30 (32)	71 (60)	32 (39)	44 (64)	(13)	224 (222)	180 (158)	80.4 (71.2)
500 ～ 999人	大学	2 (2)	9 (4)	11 (5)	35 (35)	20 (27)	52 (57)	(14)	129 (130)	77 (73)	59.7 (56.2)
	短期大学	0 (0)	2 (1)	0 (1)	17 (11)	9 (14)	47 (55)	(8)	75 (82)	28 (27)	37.3 (32.9)
	高等専門学校	0 (0)	2 (1)	4 (5)	12 (7)	3 (5)	6 (7)	(2)	27 (25)	21 (18)	77.8 (72.0)
	小計	2 (2)	13 (6)	15 (11)	64 (53)	32 (46)	105 (119)	(24)	231 (237)	126 (118)	54.5 (49.8)
1 ～ 499人	大学	3 (1)	4 (3)	4 (3)	13 (16)	17 (13)	88 (92)	(6)	129 (128)	41 (36)	31.8 (28.1)
	短期大学	2 (0)	4 (1)	11 (6)	39 (27)	33 (41)	164 (174)	(23)	253 (249)	89 (75)	35.2 (30.1)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	5 (1)	8 (4)	15 (9)	52 (43)	50 (54)	252 (266)	(29)	382 (377)	130 (111)	34.0 (29.4)
学校 種別 計	大学	136 (78)	102 (82)	99 (102)	168 (180)	79 (103)	198 (235)	(42)	782 (780)	584 (545)	74.7 (69.9)
	短期大学	3 (0)	7 (2)	14 (9)	59 (39)	44 (60)	216 (238)	(31)	343 (348)	127 (110)	37.0 (31.6)
	高等専門学校	4 (3)	7 (2)	9 (11)	21 (20)	7 (9)	9 (12)	(2)	57 (57)	48 (45)	84.2 (78.9)
計	143 (81)	116 (86)	122 (122)	248 (239)	130 (172)	423 (485)	(75)	1,182 (1,185)	759 (700)	64.2 (59.1)	
構成比 (%)	12.1 (6.8)	9.8 (7.3)	10.3 (10.3)	21.0 (20.2)	11.0 (14.5)	35.8 (40.9)		100.0 (100.0)			

※ 「26年度在籍校」：平成27年度支援障害学生数0人の学校のうち、26年度に1人以上の支援障害学生が在籍していた学校数。

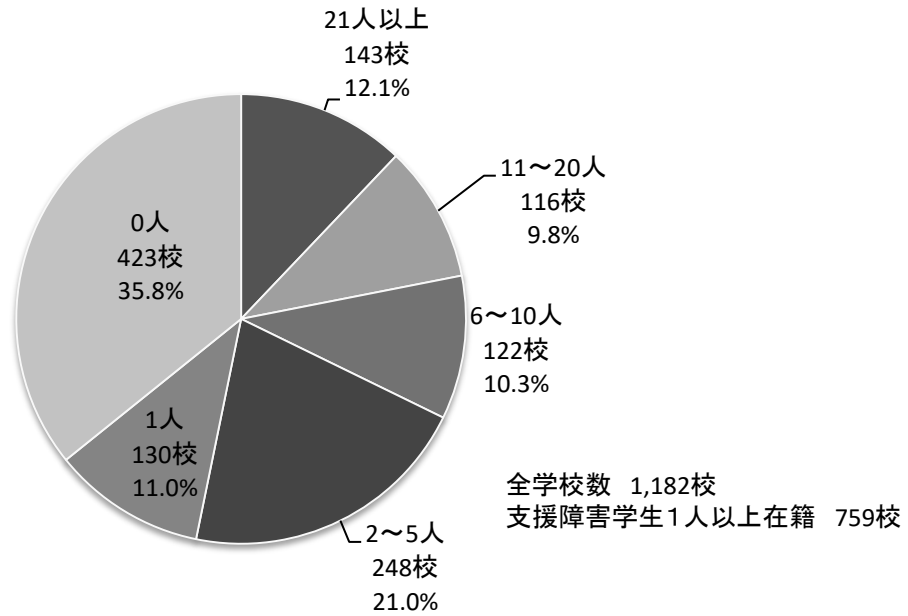


図6 支援障害学生在籍学校数（障害学生在籍者数別）

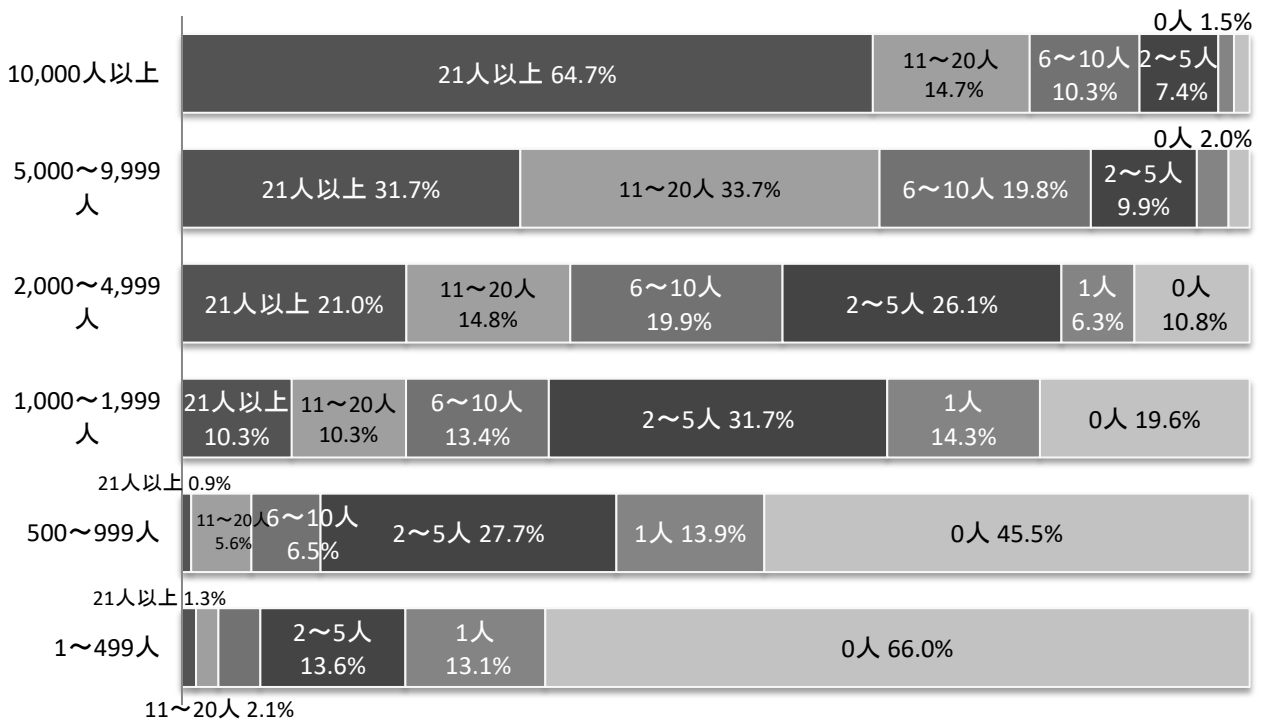


図7 支援障害学生在籍学校構成比（在籍学生数別・支援障害学生在籍者数別）

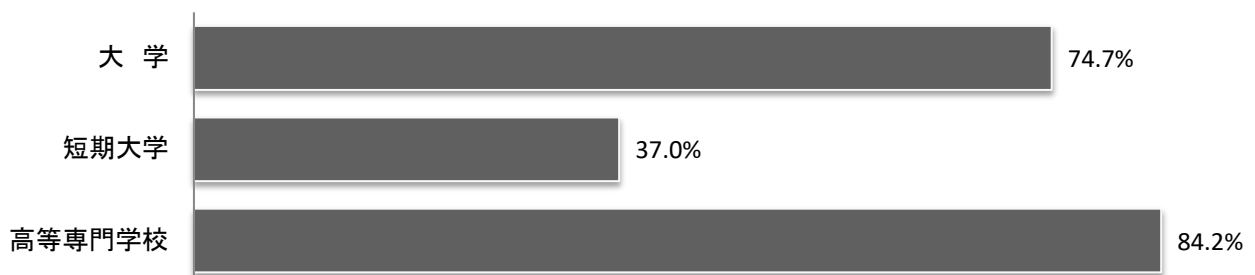


図8 支援障害学生1人以上在籍率(学校種別)



## 6. 支援の実施状況

### (1) 障害種別・学校種別

#### < 概要 >

- 障害学生への授業に関する支援を実施している学校は687校で、前年度（639校）より48校の増。
- 授業支援実施状況を障害種別に、多い順に並べると次のとおり。  
「発達障害」384校、「肢体不自由」364校、「精神障害」319校、「聴覚・言語障害」303校、「病弱・虚弱」267校、「視覚障害」177校、「重複」93校、「その他の障害」87校。
- 障害学生への授業以外の支援を実施している学校は622校で、前年度（567校）より55校の増。
- 授業以外の支援実施状況を障害種別に、多い順に並べると次のとおり。  
「発達障害」383校、「精神障害」350校、「肢体不自由」309校、「病弱・虚弱」258校、「聴覚・言語障害」143校、「視覚障害」95校、「重複」71校、「その他の障害」66校。

表22 授業支援実施状況 [障害種別・学校種別]

区 分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	164 (164)	5 (7)	8 (8)	177 (179)
聴覚・言語障害	266 (255)	26 (22)	11 (12)	303 (289)
肢体不自由	321 (311)	30 (33)	13 (12)	364 (356)
病弱・虚弱	219 (144)	33 (16)	15 (7)	267 (167)
重複	87 (72)	4 (4)	2 (0)	93 (76)
発達障害	316 (255)	37 (17)	31 (28)	384 (300)
精神障害	257 (-)	47 (-)	15 (-)	319 (-)
その他の障害	77 (191)	5 (22)	5 (9)	87 (222)
障害種別区分なし	536 (511)	106 (87)	45 (41)	687 (639)

表23 授業以外の支援実施状況 [障害種別・学校種別]

区 分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	92 (102)	2 (5)	1 (4)	95 (111)
聴覚・言語障害	128 (139)	11 (13)	4 (4)	143 (156)
肢体不自由	274 (237)	27 (29)	8 (10)	309 (276)
病弱・虚弱	212 (136)	34 (22)	12 (7)	258 (165)
重複	66 (72)	4 (4)	1 (0)	71 (76)
発達障害	307 (302)	44 (32)	32 (34)	383 (368)
精神障害	285 (-)	48 (-)	17 (-)	350 (-)
その他の障害	59 (195)	6 (38)	1 (13)	66 (246)
障害種別区分なし	486 (440)	98 (84)	38 (43)	622 (567)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ア 授業支援 (総表)

< 概要 >

- 障害学生への授業支援について、最も多くの学校で実施されているのが「17. 教室内座席配慮」418校。次いで「22. 配慮依頼文書の配付」390校、「23. 出席に関する配慮」256校。
- 障害種別にみると「17. 教室内座席配慮」は「肢体不自由」224校、「聴覚・言語障害」162校に対する実施が多く、「22. 配慮依頼文書の配付」については「発達障害」220校、「聴覚・言語障害」175校、「肢体不自由」166校、「精神障害」171校に対する実施が多い。

表24 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)		
1 点訳・墨訳	47	26.6	—	—	—	—	—	—	5	5.4	—	—	—	—	—	—	48	7.0
2 教材のテキストデータ化	66	37.3	10	3.3	13	3.6	2	0.7	8	8.6	4	1.0	0	0.0	1	1.1	84	12.2
3 教材の拡大	92	52.0	0	0.0	20	5.5	4	1.5	9	9.7	9	2.3	3	0.9	0	0.0	117	17.0
4 ガイドヘルプ	29	16.4	1	0.3	24	6.6	0	0.0	10	10.8	2	0.5	1	0.3	1	1.1	54	7.9
5 リーディングサービス	26	14.7	4	1.3	1	0.3	0	0.0	3	3.2	1	0.3	0	0.0	0	0.0	31	4.5
6 手話通訳	0	0.0	55	18.2	—	—	—	—	3	3.2	—	—	—	—	—	—	56	8.2
7 ノートテイク	12	6.8	141	46.5	31	8.5	1	0.4	19	20.4	16	4.2	4	1.3	0	0.0	174	25.3
8 パソコンテイク	5	2.8	105	34.7	7	1.9	1	0.4	9	9.7	1	0.3	1	0.3	1	1.1	114	16.6
9 ビデオ教材字幕付け	4	2.3	65	21.5	2	0.5	0	0.0	6	6.5	0	0.0	1	0.3	0	0.0	69	10.0
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	22	12.4	25	8.3	25	6.9	9	3.4	10	10.8	42	10.9	15	4.7	3	3.4	96	14.0
11 試験時間延長・別室受験	81	45.8	12	4.0	108	29.7	23	8.6	32	34.4	69	18.0	52	16.3	8	9.2	221	32.2
12 解答方法配慮	63	35.6	14	4.6	63	17.3	13	4.9	16	17.2	27	7.0	8	2.5	3	3.4	136	19.8
13 パソコンの持込使用許可	49	27.7	18	5.9	47	12.9	9	3.4	14	15.1	27	7.0	8	2.5	2	2.3	120	17.5
14 注意事項等文書伝達	24	13.6	98	32.3	29	8.0	19	7.1	16	17.2	80	20.8	30	9.4	4	4.6	193	28.1
15 使用教室配慮	27	15.3	14	4.6	161	44.2	25	9.4	32	34.4	24	6.3	25	7.8	6	6.9	209	30.4
16 実技・実習配慮	58	32.8	60	19.8	171	47.0	87	32.6	27	29.0	74	19.3	60	18.8	11	12.6	307	44.7
17 教室内座席配慮	103	58.2	162	53.5	224	61.5	54	20.2	52	55.9	80	20.8	83	26.0	25	28.7	418	60.8
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	114	37.6	—	—	—	—	4	4.3	—	—	—	—	—	—	116	16.9
19 専用機・イス・スペース確保	19	10.7	13	4.3	175	48.1	10	3.7	31	33.3	11	2.9	5	1.6	2	2.3	208	30.3
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	43	24.3	16	5.3	4	1.1	0	0.0	4	4.3	6	1.6	0	0.0	0	0.0	63	9.2
21 講義に関する配慮	52	29.4	40	13.2	64	17.6	15	5.6	14	15.1	84	21.9	28	8.8	7	8.0	189	27.5
22 配慮依頼文書の配付	108	61.0	175	57.8	166	45.6	139	52.1	54	58.1	220	57.3	171	53.6	56	64.4	390	56.8
23 出席に関する配慮	5	2.8	4	1.3	71	19.5	88	33.0	18	19.4	103	26.8	134	42.0	27	31.0	256	37.3
24 学習指導	15	8.5	13	4.3	17	4.7	20	7.5	11	11.8	120	31.3	62	19.4	4	4.6	182	26.5
25 授業内容の代替、提出期限延長等	21	11.9	19	6.3	32	8.8	21	7.9	11	11.8	84	21.9	63	19.7	8	9.2	167	24.3
26 履修支援	32	18.1	29	9.6	35	9.6	24	9.0	16	17.2	138	35.9	70	21.9	8	9.2	212	30.9
27 学外実習・フィールドワーク配慮	23	13.0	34	11.2	65	17.9	40	15.0	14	15.1	45	11.7	35	11.0	7	8.0	174	25.3
28 その他	33	18.6	34	11.2	53	14.6	35	13.1	17	18.3	58	15.1	57	17.9	14	16.1	176	25.6
実施校数	177	100.0	303	100.0	364	100.0	267	100.0	93	100.0	384	100.0	319	100.0	87	100.0	687	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 イ 授業以外の支援 (総表)

< 概要 >

- 障害学生への授業以外の支援について、最も多くの学校で実施されているのが「8. 専門家によるカウンセリング」387校、次いで「11. 休憩室・治療室の確保等」253校、「6. 対人関係配慮」237校。
- 障害種別にみると「8. 専門家によるカウンセリング」は「発達障害」278校、「精神障害」265校に対する実施が多く、「11. 休憩室・治療室の確保」については「精神障害」118校、「発達障害」99校、に加え「病弱・虚弱」98校、「肢体不自由」80校への実施が多い。

表25 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)			
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)					
1	学生生活支援	居場所の確保		23	24.2	29	20.3	56	18.1	28	10.9	17	23.9	136	35.5	98	28.0	8	12.1	227	36.5
2		通学支援		11	11.6	2	1.4	171	55.3	31	12.0	27	38.0	7	1.8	12	3.4	1	1.5	208	33.4
3		個別支援情報の収集		22	23.2	30	21.0	43	13.9	28	10.9	12	16.9	86	22.5	44	12.6	5	7.6	162	26.0
4		情報取得支援		30	31.6	19	13.3	23	7.4	9	3.5	8	11.3	57	14.9	24	6.9	0	0.0	111	17.8
5	社会的スキル指導	自己管理指導		12	12.6	14	9.8	14	4.5	24	9.3	8	11.3	151	39.4	89	25.4	5	7.6	197	31.7
6		対人関係配慮		12	12.6	20	14.0	15	4.9	25	9.7	10	14.1	170	44.4	116	33.1	10	15.2	237	38.1
7		日常生活支援		4	4.2	4	2.8	18	5.8	25	9.7	4	5.6	61	15.9	47	13.4	5	7.6	103	16.6
8	保健管理・生活支援	専門家によるカウンセリング		16	16.8	28	19.6	49	15.9	68	26.4	18	25.4	278	72.6	265	75.7	31	47.0	387	62.2
9		医療機関との連携		4	4.2	7	4.9	18	5.8	59	22.9	6	8.5	128	33.4	143	40.9	6	9.1	232	37.3
10		医療機器、薬剤の保管等		1	1.1	0	0.0	9	2.9	47	18.2	8	11.3	12	3.1	15	4.3	1	1.5	81	13.0
11		休憩室・治療室の確保等		10	10.5	18	12.6	80	25.9	98	38.0	22	31.0	99	25.8	118	33.7	20	30.3	253	40.7
12		生活介助		—	—	—	—	49	15.9	4	1.6	11	15.5	—	—	—	—	0	0.0	62	10.0
13		介助者の入構、入室許可		14	14.7	6	4.2	77	24.9	9	3.5	15	21.1	11	2.9	4	1.1	0	0.0	105	16.9
14	進路・就職指導	キャリア教育		34	35.8	45	31.5	53	17.2	38	14.7	17	23.9	110	28.7	58	16.6	8	12.1	181	29.1
15		障害学生向け求人情報の提供		49	51.6	67	46.9	100	32.4	52	20.2	21	29.6	94	24.5	36	10.3	9	13.6	203	32.6
16		就職支援情報の提供、支援機関の紹介		41	43.2	64	44.8	92	29.8	50	19.4	18	25.4	129	33.7	55	15.7	12	18.2	222	35.7
17		インターンシップ先の開拓		11	11.6	13	9.1	23	7.4	10	3.9	8	11.3	39	10.2	17	4.9	1	1.5	65	10.5
18	就職先の開拓、就職活動支援		38	40.0	44	30.8	70	22.7	36	14.0	22	31.0	86	22.5	41	11.7	13	19.7	170	27.3	
19	その他		15	15.8	19	13.3	50	16.2	38	14.7	11	15.5	57	14.9	56	16.0	12	18.2	151	24.3	
実施校数			95	100.0	143	100.0	309	100.0	258	100.0	71	100.0	383	100.0	350	100.0	66	100.0	622	100.0	

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ウ 授業支援 (大学)

< 概要 >

○大学における障害学生への授業支援で、最も実施校数が多いのは「17. 教室内座席配慮」356校。次いで「22. 配慮依頼文書の配付」334校、「16. 実技・実習配慮」251校、「23. 出席に関する配慮」214校、「11. 試験時間延長・別室受験」201校の順。

表26 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別](大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)		
1 点訳・墨訳	46	28.0	—	—	—	—	—	—	5	5.7	—	—	—	—	—	—	47	8.8
2 教材のテキストデータ化	65	39.6	10	3.8	13	4.0	2	0.9	8	9.2	4	1.3	0	0.0	1	1.3	83	15.5
3 教材の拡大	85	51.8	0	0.0	17	5.3	4	1.8	9	10.3	8	2.5	3	1.2	0	0.0	106	19.8
4 ガイドヘルプ	29	17.7	1	0.4	23	7.2	0	0.0	10	11.5	2	0.6	0	0.0	1	1.3	52	9.7
5 リーディングサービス	26	15.9	3	1.1	0	0.0	0	0.0	3	3.4	1	0.3	0	0.0	0	0.0	29	5.4
6 手話通訳	0	0.0	53	19.9	—	—	—	—	3	3.4	—	—	—	—	—	—	54	10.1
7 ノートテイク	12	7.3	135	50.8	31	9.7	1	0.5	19	21.8	14	4.4	4	1.6	0	0.0	166	31.0
8 パソコンテイク	5	3.0	101	38.0	7	2.2	1	0.5	9	10.3	1	0.3	1	0.4	1	1.3	110	20.5
9 ビデオ教材字幕付け	4	2.4	63	23.7	2	0.6	0	0.0	6	6.9	0	0.0	1	0.4	0	0.0	67	12.5
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	22	13.4	23	8.6	24	7.5	8	3.7	10	11.5	38	12.0	14	5.4	3	3.9	91	17.0
11 試験時間延長・別室受験	78	47.6	12	4.5	103	32.1	21	9.6	32	36.8	63	19.9	46	17.9	6	7.8	201	37.5
12 解答方法配慮	62	37.8	13	4.9	61	19.0	12	5.5	16	18.4	25	7.9	8	3.1	2	2.6	128	23.9
13 パソコンの持込使用許可	47	28.7	18	6.8	47	14.6	8	3.7	14	16.1	26	8.2	8	3.1	2	2.6	116	21.6
14 注意事項等文書伝達	24	14.6	92	34.6	26	8.1	14	6.4	15	17.2	72	22.8	22	8.6	4	5.2	171	31.9
15 使用教室配慮	26	15.9	14	5.3	146	45.5	23	10.5	31	35.6	22	7.0	22	8.6	5	6.5	189	35.3
16 実技・実習配慮	58	35.4	54	20.3	147	45.8	71	32.4	24	27.6	59	18.7	45	17.5	6	7.8	251	46.8
17 教室内座席配慮	94	57.3	142	53.4	209	65.1	46	21.0	49	56.3	67	21.2	72	28.0	23	29.9	356	66.4
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	105	39.5	—	—	—	—	4	4.6	—	—	—	—	—	—	107	20.0
19 専用机・イス・スペース確保	19	11.6	13	4.9	161	50.2	10	4.6	31	35.6	8	2.5	5	1.9	2	2.6	192	35.8
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	43	26.2	14	5.3	4	1.2	0	0.0	4	4.6	6	1.9	0	0.0	0	0.0	61	11.4
21 講義に関する配慮	49	29.9	36	13.5	64	19.9	14	6.4	13	14.9	79	25.0	27	10.5	7	9.1	176	32.8
22 配慮依頼文書の配付	105	64.0	162	60.9	152	47.4	126	57.5	50	57.5	193	61.1	148	57.6	53	68.8	334	62.3
23 出席に関する配慮	5	3.0	4	1.5	68	21.2	75	34.2	16	18.4	89	28.2	108	42.0	23	29.9	214	39.9
24 学習指導	14	8.5	10	3.8	15	4.7	18	8.2	10	11.5	95	30.1	52	20.2	3	3.9	145	27.1
25 授業内容の代替、提出期限延長等	20	12.2	18	6.8	29	9.0	20	9.1	11	12.6	71	22.5	55	21.4	8	10.4	143	26.7
26 履修支援	30	18.3	28	10.5	33	10.3	23	10.5	16	18.4	125	39.6	62	24.1	8	10.4	187	34.9
27 学外実習・フィールドワーク配慮	23	14.0	29	10.9	58	18.1	29	13.2	13	14.9	35	11.1	29	11.3	5	6.5	143	26.7
28 その他	31	18.9	28	10.5	50	15.6	29	13.2	15	17.2	48	15.2	51	19.8	13	16.9	150	28.0
実施校数	164	100.0	266	100.0	321	100.0	219	100.0	87	100.0	316	100.0	257	100.0	77	100.0	536	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 エ 授業以外の支援 (大学)

< 概要 >

○大学における障害学生への授業以外の支援で、最も実施校数が多いのは「8. 専門家によるカウンセリング」314校。次いで「11. 休憩室・治療室の確保等」207校、「9. 医療機関との連携」200校、「2. 通学支援」196校、「16. 就職支援情報の提供、支援機関の紹介」196校、「6. 対人関係配慮」195校の順。

表27 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)		
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)				
1	学生生活支援	居場所の確保	22	23.9	27	21.1	49	17.9	26	12.3	15	22.7	114	37.1	84	29.5	7	11.9	186	38.3
2		通学支援	11	12.0	2	1.6	163	59.5	29	13.7	26	39.4	7	2.3	11	3.9	1	1.7	196	40.3
3		個別支援情報の収集	22	23.9	27	21.1	37	13.5	20	9.4	10	15.2	61	19.9	33	11.6	4	6.8	124	25.5
4		情報取得支援	29	31.5	19	14.8	22	8.0	9	4.2	8	12.1	48	15.6	22	7.7	0	0.0	98	20.2
5	社会的スキル指導	自己管理指導	12	13.0	14	10.9	14	5.1	22	10.4	8	12.1	127	41.4	80	28.1	5	8.5	164	33.7
6		対人関係配慮	12	13.0	19	14.8	15	5.5	22	10.4	7	10.6	142	46.3	99	34.7	10	16.9	195	40.1
7		日常生活支援	4	4.3	4	3.1	17	6.2	19	9.0	2	3.0	51	16.6	41	14.4	3	5.1	87	17.9
8	保健管理・生活支援	専門家によるカウンセリング	15	16.3	24	18.8	45	16.4	60	28.3	16	24.2	237	77.2	221	77.5	28	47.5	314	64.6
9		医療機関との連携	4	4.3	7	5.5	16	5.8	47	22.2	4	6.1	114	37.1	124	43.5	6	10.2	200	41.2
10		医療機器、薬剤の保管等	1	1.1	0	0.0	9	3.3	37	17.5	8	12.1	10	3.3	12	4.2	1	1.7	68	14.0
11		休憩室・治療室の確保等	10	10.9	15	11.7	68	24.8	80	37.7	20	30.3	86	28.0	98	34.4	16	27.1	207	42.6
12	進路・就職指導	生活介助	—	—	—	—	45	16.4	4	1.9	10	15.2	—	—	—	—	0	0.0	57	11.7
13		介助者の入構、入室許可	13	14.1	6	4.7	71	25.9	9	4.2	15	22.7	11	3.6	4	1.4	0	0.0	98	20.2
14		キャリア教育	33	35.9	40	31.3	51	18.6	34	16.0	15	22.7	99	32.2	52	18.2	8	13.6	159	32.7
15	就職指導	障害学生向け求人情報の提供	47	51.1	61	47.7	94	34.3	49	23.1	21	31.8	81	26.4	34	11.9	8	13.6	178	36.6
16		就職支援情報の提供、支援機関の紹介	41	44.6	58	45.3	85	31.0	46	21.7	17	25.8	115	37.5	50	17.5	11	18.6	196	40.3
17		インターンシップ先の開拓	11	12.0	11	8.6	22	8.0	10	4.7	8	12.1	34	11.1	15	5.3	1	1.7	57	11.7
18	就職先の開拓、就職活動支援	38	41.3	39	30.5	65	23.7	33	15.6	20	30.3	74	24.1	34	11.9	12	20.3	145	29.8	
19	その他	14	15.2	16	12.5	44	16.1	30	14.2	10	15.2	43	14.0	43	15.1	9	15.3	115	23.7	
実施校数			92	100.0	128	100.0	274	100.0	212	100.0	66	100.0	307	100.0	285	100.0	59	100.0	486	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 才 授業支援（短期大学）

< 概要 >

○短期大学における障害学生への授業支援で、最も実施校数が多いのは「22. 配慮依頼文書の配付」45校。次いで「17. 教室内座席配慮」42校、「16. 実技・実習配慮」40校、「23. 出席に関する配慮」36校、「26. 履修支援」25校の順。

表28 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別](短期大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)		
1 点訳・墨訳	1	20.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	1	0.9
2 教材のテキストデータ化	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.9
3 教材の拡大	3	60.0	0	0.0	3	10.0	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	0	0.0	7	6.6
4 ガイドヘルプ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.1	0	0.0	1	0.9
5 リーディングサービス	0	0.0	1	3.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.9
6 手話通訳	0	0.0	2	7.7	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	2	1.9
7 ノートテイク	0	0.0	6	23.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	0	0.0	7	6.6
8 パソコンテイク	0	0.0	4	15.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	3.8
9 ビデオ教材字幕付け	0	0.0	2	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.9
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	0	0.0	2	7.7	1	3.3	1	3.0	0	0.0	1	2.7	1	2.1	0	0.0	2	1.9
11 試験時間延長・別室受験	3	60.0	0	0.0	5	16.7	1	3.0	0	0.0	3	8.1	4	8.5	0	0.0	14	13.2
12 解答方法配慮	1	20.0	0	0.0	1	3.3	1	3.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	0	0.0	4	3.8
13 パソコンの持込使用許可	1	20.0	0	0.0	0	0.0	1	3.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	0	0.0	3	2.8
14 注意事項等文書伝達	0	0.0	6	23.1	3	10.0	3	9.1	1	25.0	3	8.1	5	10.6	0	0.0	17	16.0
15 使用教室配慮	1	20.0	0	0.0	10	33.3	2	6.1	1	25.0	1	2.7	3	6.4	1	20.0	14	13.2
16 実技・実習配慮	0	0.0	5	19.2	14	46.7	11	33.3	2	50.0	9	24.3	11	23.4	3	60.0	40	37.7
17 教室内座席配慮	4	80.0	15	57.7	9	30.0	5	15.2	1	25.0	4	10.8	11	23.4	1	20.0	42	39.6
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	5	19.2	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	5	4.7
19 専用机・イス・スペース確保	0	0.0	0	0.0	8	26.7	0	0.0	0	0.0	2	5.4	0	0.0	0	0.0	10	9.4
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	0	0.0	2	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.9
21 講義に関する配慮	1	20.0	4	15.4	0	0.0	1	3.0	0	0.0	3	8.1	1	2.1	0	0.0	9	8.5
22 配慮依頼文書の配付	3	60.0	13	50.0	11	36.7	11	33.3	2	50.0	18	48.6	19	40.4	2	40.0	45	42.5
23 出席に関する配慮	0	0.0	0	0.0	3	10.0	10	30.3	1	25.0	10	27.0	22	46.8	3	60.0	36	34.0
24 学習指導	1	20.0	3	11.5	1	3.3	1	3.0	0	0.0	11	29.7	7	14.9	1	20.0	21	19.8
25 授業内容の代替、提出期限延長等	1	20.0	1	3.8	1	3.3	1	3.0	0	0.0	6	16.2	4	8.5	0	0.0	14	13.2
26 履修支援	2	40.0	1	3.8	2	6.7	1	3.0	0	0.0	13	35.1	8	17.0	0	0.0	25	23.6
27 学外実習・フィールドワーク配慮	0	0.0	5	19.2	3	10.0	6	18.2	0	0.0	6	16.2	4	8.5	1	20.0	19	17.9
28 その他	1	20.0	3	11.5	2	6.7	3	9.1	1	25.0	4	10.8	4	8.5	0	0.0	16	15.1
実施校数	5	100.0	26	100.0	30	100.0	33	100.0	4	100.0	37	100.0	47	100.0	5	100.0	106	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 カ 授業以外の支援（短期大学）

< 概要 >

○短期大学における障害学生への授業以外の支援で、最も実施校数が多いのは「8. 専門家によるカウンセリング」45校。次いで「11. 休憩室・治療室の確保等」35校、「3. 個別支援情報の収集」26校、「6. 対人関係配慮」24校の順。

表29 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](短期大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)			
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)					
1	学生生活支援	居場所の確保		0	0.0	2	18.2	3	11.1	1	2.9	1	25.0	9	20.5	10	20.8	0	0.0	23	23.5
2		通学支援		0	0.0	0	0.0	6	22.2	2	5.9	1	25.0	0	0.0	1	2.1	0	0.0	10	10.2
3		個別支援情報の収集		0	0.0	3	27.3	3	11.1	6	17.6	1	25.0	14	31.8	8	16.7	0	0.0	26	26.5
4		情報取得支援		1	50.0	0	0.0	1	3.7	0	0.0	0	0.0	6	13.6	2	4.2	0	0.0	10	10.2
5	社会的スキル指導	自己管理指導		0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	5.9	0	0.0	10	22.7	9	18.8	0	0.0	19	19.4
6		対人関係配慮		0	0.0	1	9.1	0	0.0	2	5.9	2	50.0	11	25.0	13	27.1	0	0.0	24	24.5
7		日常生活支援		0	0.0	0	0.0	1	3.7	3	8.8	1	25.0	5	11.4	5	10.4	1	16.7	10	10.2
8	保健管理・生活支援	専門家によるカウンセリング		1	50.0	2	18.2	1	3.7	6	17.6	1	25.0	19	43.2	30	62.5	2	33.3	45	45.9
9		医療機関との連携		0	0.0	0	0.0	1	3.7	7	20.6	1	25.0	6	13.6	9	18.8	0	0.0	18	18.4
10		医療機器、薬剤の保管等		0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	17.6	0	0.0	1	2.3	1	2.1	0	0.0	7	7.1
11		休憩室・治療室の確保等		0	0.0	3	27.3	9	33.3	13	38.2	1	25.0	6	13.6	17	35.4	3	50.0	35	35.7
12		生活介助		—	—	—	—	2	7.4	0	0.0	1	25.0	—	—	—	—	0	0.0	3	3.1
13	介助者の入構、入室許可		1	50.0	0	0.0	3	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	4.1	
14	進路・就職指導	キャリア教育		0	0.0	4	36.4	2	7.4	4	11.8	2	50.0	5	11.4	4	8.3	0	0.0	14	14.3
15		障害学生向け求人情報の提供		2	100.0	5	45.5	6	22.2	3	8.8	0	0.0	10	22.7	2	4.2	1	16.7	22	22.4
16		就職支援情報の提供、支援機関の紹介		0	0.0	5	45.5	7	25.9	4	11.8	1	25.0	10	22.7	5	10.4	1	16.7	22	22.4
17		インターンシップ先の開拓		0	0.0	1	9.1	1	3.7	0	0.0	0	0.0	2	4.5	1	2.1	0	0.0	5	5.1
18	就職先の開拓、就職活動支援		0	0.0	4	36.4	5	18.5	3	8.8	1	25.0	8	18.2	6	12.5	1	16.7	20	20.4	
19	その他		1	50.0	1	9.1	4	14.8	4	11.8	1	25.0	9	20.5	9	18.8	2	33.3	23	23.5	
実施校数			2	100.0	11	100.0	27	100.0	34	100.0	4	100.0	44	100.0	48	100.0	6	100.0	98	100.0	

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 キ 授業支援 (高等専門学校)

< 概要 >

○高等専門学校における障害学生への授業支援で、最も実施校数が多いのは「17. 教室内座席配慮」20校。次いで「16. 実技・実習配慮」16校、「24. 学習指導」16校、「27. 学外実習・フィールドワーク配慮」12校、「22. 配慮依頼文書の配付」11校の順。

表30 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別](高等専門学校)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)		
1 点訳・墨訳	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0
2 教材のテキストデータ化	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3 教材の拡大	4	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	8.9
4 ガイドヘルプ	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.2
5 リーディングサービス	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.2
6 手話通訳	0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0
7 ノートテイク	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0	0	0.0	1	2.2
8 パソコンテイク	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9 ビデオ教材字幕付け	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	9.7	0	0.0	0	0.0	3	6.7
11 試験時間延長・別室受験	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	3	9.7	2	13.3	2	40.0	6	13.3
12 解答方法配慮	0	0.0	1	9.1	1	7.7	0	0.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0	1	20.0	4	8.9
13 パソコンの持込使用許可	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.2
14 注意事項等文書伝達	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	13.3	0	0.0	5	16.1	3	20.0	0	0.0	5	11.1
15 使用教室配慮	0	0.0	0	0.0	5	38.5	0	0.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0	0	0.0	6	13.3
16 実技・実習配慮	0	0.0	1	9.1	10	76.9	5	33.3	1	50.0	6	19.4	4	26.7	2	40.0	16	35.6
17 教室内座席配慮	5	62.5	5	45.5	6	46.2	3	20.0	2	100.0	9	29.0	0	0.0	1	20.0	20	44.4
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	4	36.4	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	4	8.9
19 専用机・イス・スペース確保	0	0.0	0	0.0	6	46.2	0	0.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0	0	0.0	6	13.3
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21 講義に関する配慮	2	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	2	6.5	0	0.0	0	0.0	4	8.9
22 配慮依頼文書の配付	0	0.0	0	0.0	3	23.1	2	13.3	2	100.0	9	29.0	4	26.7	1	20.0	11	24.4
23 出席に関する配慮	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	20.0	1	50.0	4	12.9	4	26.7	1	20.0	6	13.3
24 学習指導	0	0.0	0	0.0	1	7.7	1	6.7	1	50.0	14	45.2	3	20.0	0	0.0	16	35.6
25 授業内容の代替、提出期限延長等	0	0.0	0	0.0	2	15.4	0	0.0	0	0.0	7	22.6	4	26.7	0	0.0	10	22.2
26 履修支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
27 学外実習・フィールドワーク配慮	0	0.0	0	0.0	4	30.8	5	33.3	1	50.0	4	12.9	2	13.3	1	20.0	12	26.7
28 その他	1	12.5	3	27.3	1	7.7	3	20.0	1	50.0	6	19.4	2	13.3	1	20.0	10	22.2
実施校数	8	100.0	11	100.0	13	100.0	15	100.0	2	100.0	31	100.0	15	100.0	5	100.0	45	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)



(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ク 授業以外の支援（高等専門学校）

< 概要 >

○高等専門学校における障害学生への授業以外の支援で、最も実施校数が多いのは「8. 専門家によるカウンセリング」28校。次いで「1. 居場所の確保」18校、「6. 対人関係配慮」18校、「5. 自己管理指導」14校、「9. 医療機関との連携」14校の順。

表31 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)		
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)				
1	居場所の確保	1	100.0	0	0.0	4	50.0	1	8.3	1	100.0	13	40.6	4	23.5	1	100.0	18	47.4	
2	学生生活支援	通学支援	0	0.0	0	0.0	2	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	5.3
3		個別支援情報の収集	0	0.0	0	0.0	3	37.5	2	16.7	1	100.0	11	34.4	3	17.6	1	100.0	12	31.6
4		情報取得支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	9.4	0	0.0	0	0.0	3	7.9
5	社会的スキル指導	自己管理指導	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	14	43.8	0	0.0	0	0.0	14	36.8
6		対人関係配慮	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3	1	100.0	17	53.1	4	23.5	0	0.0	18	47.4
7		日常生活支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	25.0	1	100.0	5	15.6	1	5.9	1	100.0	6	15.8
8	保健管理・生活支援	専門家によるカウンセリング	0	0.0	2	50.0	3	37.5	2	16.7	1	100.0	22	68.8	14	82.4	1	100.0	28	73.7
9		医療機関との連携	0	0.0	0	0.0	1	12.5	5	41.7	1	100.0	8	25.0	10	58.8	0	0.0	14	36.8
10		医療機器、薬剤の保管等	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	33.3	0	0.0	1	3.1	2	11.8	0	0.0	6	15.8
11		休憩室・治療室の確保等	0	0.0	0	0.0	3	37.5	5	41.7	1	100.0	7	21.9	3	17.6	1	100.0	11	28.9
12		生活介助	—	—	—	—	2	25.0	0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	0	0.0	2	5.3
13		介助者の入構、入室許可	0	0.0	0	0.0	3	37.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	7.9
14	進路・就職指導	キャリア教育	1	100.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	18.8	2	11.8	0	0.0	8	21.1
15		障害学生向け求人情報の提供	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	9.4	0	0.0	0	0.0	3	7.9
16		就職支援情報の提供、支援機関の紹介	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	12.5	0	0.0	0	0.0	4	10.5
17		インターンシップ先の開拓	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	9.4	1	5.9	0	0.0	3	7.9
18	就職先の開拓、就職活動支援	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	4	12.5	1	5.9	0	0.0	5	13.2	
19	その他	0	0.0	2	50.0	2	25.0	4	33.3	0	0.0	5	15.6	4	23.5	1	100.0	13	34.2	
実施校数		1	100.0	4	100.0	8	100.0	12	100.0	1	100.0	32	100.0	17	100.0	1	100.0	38	100.0	

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

### (3) 主な授業支援 ア 視覚障害

表32 視覚障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	108	61.0
教室内座席配慮	103	58.2
教材の拡大	92	52.0
試験時間延長・別室受験	81	45.8
教材のテキストデータ化	66	37.3
解答方法配慮	63	35.6
実技・実習配慮	58	32.8
講義に関する配慮	52	29.4
パソコンの持込使用許可	49	27.7
点訳・墨訳	47	26.6

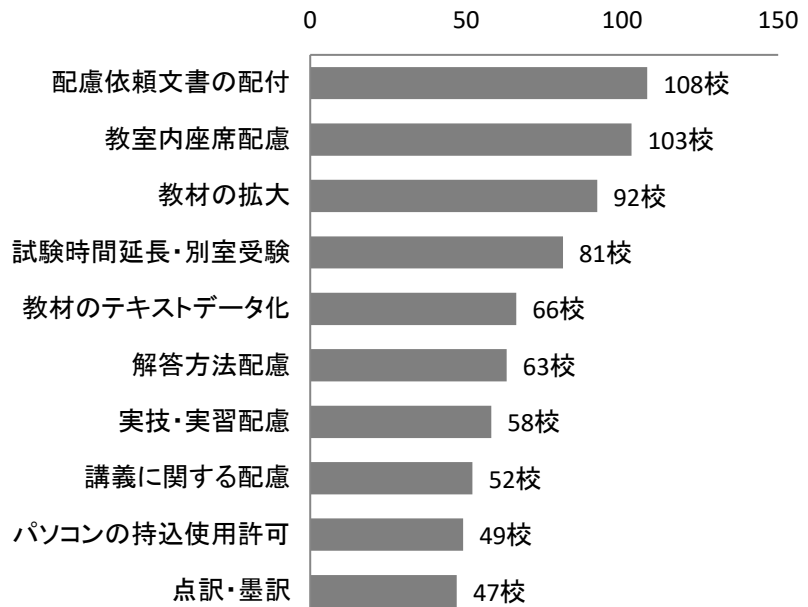


図9 視覚障害 主な授業支援内容

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

### (3) 主な授業支援 イ 聴覚・言語障害

表33 聴覚・言語障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	175	57.8
教室内座席配慮	162	53.5
ノートテイク	141	46.5
FM補聴器・マイク使用	114	37.6
パソコンテイク	105	34.7
注意事項等文書伝達	98	32.3
ビデオ教材字幕付け	65	21.5
実技・実習配慮	60	19.8
手話通訳	55	18.2
講義に関する配慮	40	13.2

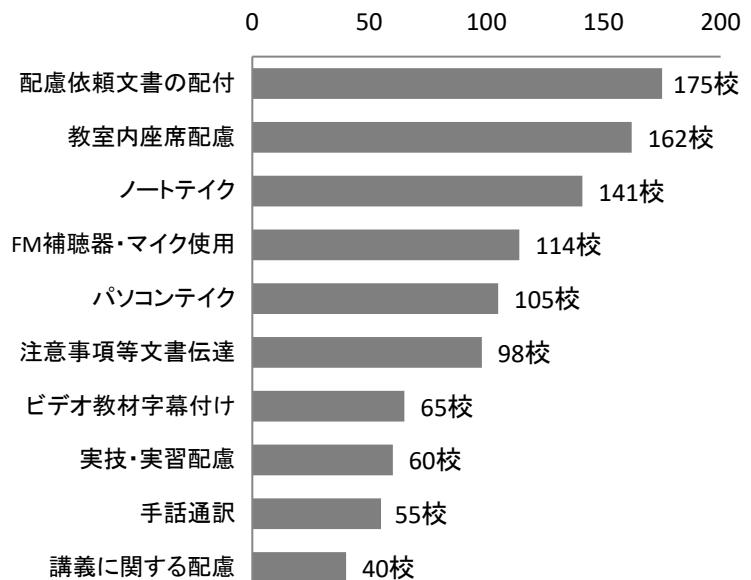


図10 聴覚・言語障害 主な授業支援内容

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

### (3) 主な授業支援 ウ 肢体不自由

表34 肢体不自由 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
教室内座席配慮	224	61.5
専用機・イス・スペース確保	175	48.1
実技・実習配慮	171	47.0
配慮依頼文書の配付	166	45.6
使用教室配慮	161	44.2
試験時間延長・別室受験	108	29.7
出席に関する配慮	71	19.5
学外実習・フィールドワーク配慮	65	17.9
講義に関する配慮	64	17.6
解答方法配慮	63	17.3

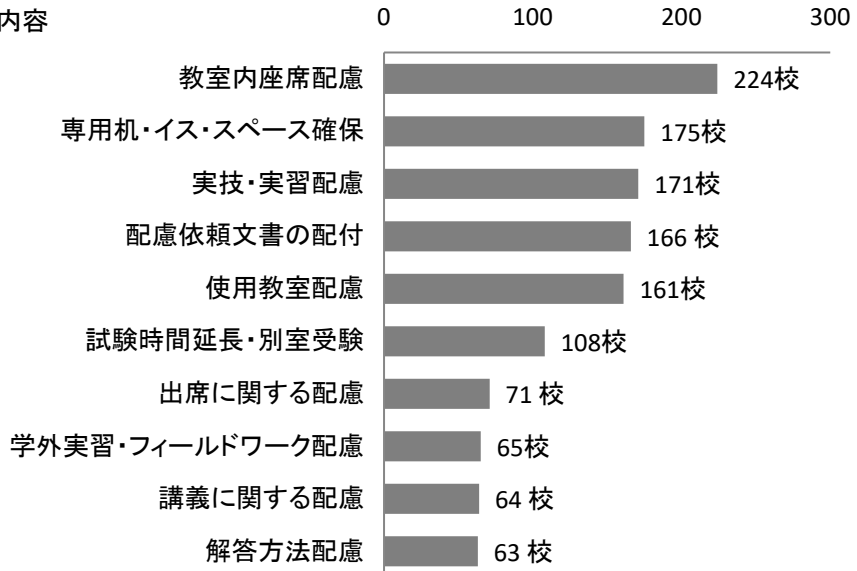


図11 肢体不自由 主な授業支援内容

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

### (3) 主な授業支援 エ 病弱・虚弱

表35 病弱・虚弱 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	139	52.1
出席に関する配慮	88	33.0
実技・実習配慮	87	32.6
教室内座席配慮	54	20.2
学外実習・フィールドワーク配慮	40	15.0
その他	35	14.6
使用教室配慮	25	9.4
履修支援	24	9.0
試験時間延長・別室受験	23	8.6
授業内容の代替、提出期限延長等	21	7.9

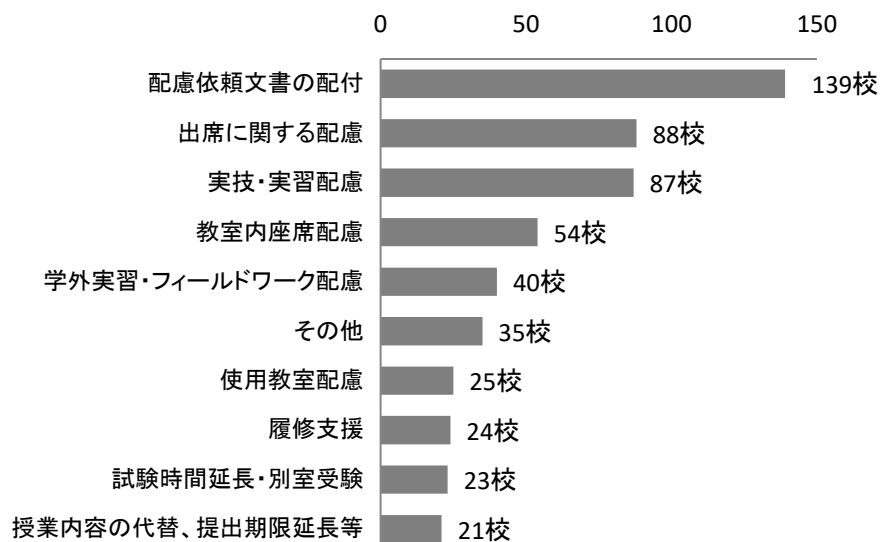


図12 病弱・虚弱 主な授業支援内容

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

### (3) 主な授業支援 才 発達障害

表36 発達障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	220	57.3
履修支援	138	35.9
学習指導	120	31.3
出席に関する配慮	103	26.8
講義に関する配慮	84	21.9
授業内容の代替、提出期限延長等	84	21.9
注意事項等文書伝達	80	20.8
教室内座席配慮	80	20.8
実技・実習配慮	74	19.3
試験時間延長・別室受験	69	18.0



図13 発達障害 主な授業支援内容

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

### (3) 主な授業支援 カ 精神障害

表37 精神障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	171	53.6
出席に関する配慮	134	42.0
教室内座席配慮	83	26.0
履修支援	70	21.9
授業内容の代替、提出期限延長等	63	19.7
学習指導	62	19.4
実技・実習配慮	60	18.8
その他	57	17.9
試験時間延長・別室受験	52	16.3
学外実習・フィールドワーク配慮	35	11.0

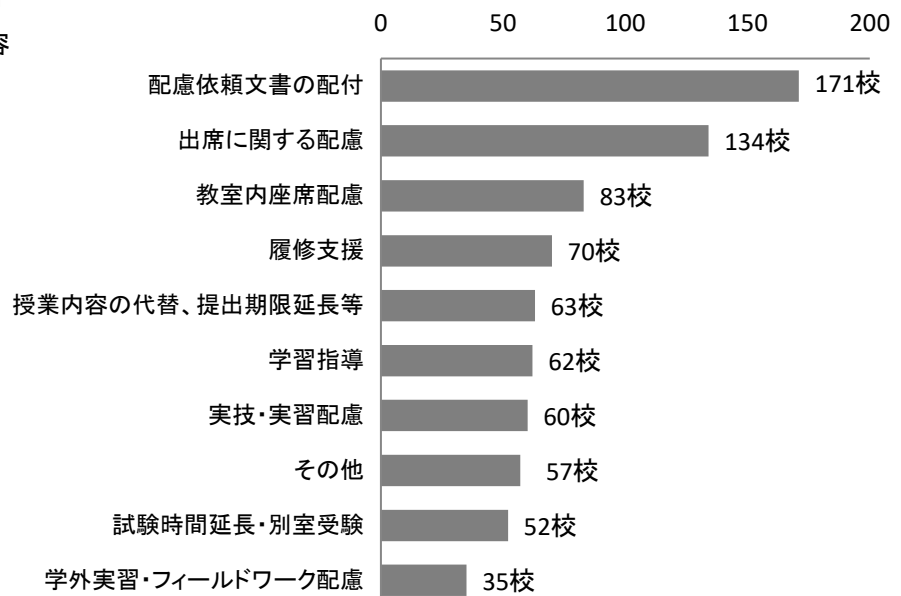


図14 精神障害 主な授業支援内容

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

## 7. 障害学生支援に関する体制等

### (1) 専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)

#### < 概要 >

○障害学生支援に関する専門委員会等の設置状況を見ると次のとおり。

- ・「専門委員会を設置」251校(前年度237校)と「他の委員会が対応」684校(同652校)を合わせた935校(同889校)で組織的な対応をしており、全学校(1,182校)の79.1%(同75.0%)、前年度より4.1ポイントの増。

- ・比率をみると、「専門委員会を設置」が21.2%で前年度(20.0%)より1.2ポイントの増、「他の委員会が対応」が57.9%で前年度(55.0%)より2.9ポイントの増。

○今回調査において「合理的配慮の内容の決定が困難な場合に第三者的視点に立ち調整を行なう組織がある」の項目を設けたが、あると回答があったのは10校(大学6校、短期大学2校、高等専門学校2校)であった。

表38 障害学生修学支援に関する専門委員会等〔障害学生数別・学校種別〕

区分		障害学生在籍校													
		専門委員会を設置				他の委員会が対応				計			対応する委員会はない		
		(校)	比率 (%)	支援障 害学生 在籍校 (※) (校)	(校)	比率 (%)	支援障 害学生 在籍校 (※) (校)	(校)	比率 (%)	支援障 害学生 在籍校 (※) (校)	(校)	比率 (%)	支援障 害学生 在籍校 (※) (校)		
大学	2 1 人 以 上	267	105	39.3	104	120	44.9	112	225	84.3	216	41	15.4	40	
短期大学		11	2	18.2	2	6	54.5	4	8	72.7	6	3	27.3	2	
高等専門学校		10	3	30.0	3	6	60.0	6	9	90.0	9	1	10.0	1	
小計		288 (173)	110 (69)	38.2 (39.9)	109 (-)	132 (80)	45.8 (46.2)	122 (-)	242 (149)	84.0 (86.1)	231 (-)	45 (24)	15.6 (13.9)	43 (-)	
大学	1 1 5 2 0 人	111	30	27.0	30	60	54.1	55	90	81.1	85	20	18.0	19	
短期大学		18	2	11.1	2	10	55.6	8	12	66.7	10	6	33.3	5	
高等専門学校		16	9	56.3	9	5	31.3	5	14	87.5	14	2	12.5	1	
小計		145 (144)	41 (48)	28.3 (33.3)	41 (-)	75 (61)	51.7 (42.4)	68 (-)	116 (109)	80.0 (75.7)	109 (-)	28 (35)	19.3 (24.3)	25 (-)	
大学	6 5 1 0 人	81	21	25.9	20	51	63.0	49	72	88.9	69	9	11.1	8	
短期大学		29	5	17.2	5	22	75.9	20	27	93.1	25	2	6.9	2	
高等専門学校		9	2	22.2	2	6	66.7	5	8	88.9	7	1	11.1	1	
小計		119 (142)	28 (43)	23.5 (30.3)	27 (-)	79 (75)	66.4 (52.8)	74 (-)	107 (118)	89.9 (83.1)	101 (-)	12 (24)	10.1 (16.9)	11 (-)	
大学	2 5 人	136	23	16.9	22	89	65.4	66	112	82.4	88	22	16.2	19	
短期大学		76	13	17.1	12	45	59.2	27	58	76.3	39	17	22.4	13	
高等専門学校		10	4	40.0	4	3	30.0	3	7	70.0	7	3	30.0	3	
小計		222 (222)	40 (34)	18.0 (15.3)	38 (-)	137 (146)	61.7 (65.8)	96 (-)	177 (180)	79.7 (81.1)	134 (-)	42 (42)	18.9 (18.9)	35 (-)	
大学	1 人	55	3	5.5	2	42	76.4	29	45	81.8	31	10	18.2	7	
短期大学		43	3	7.0	1	33	76.7	19	36	83.7	20	6	14.0	3	
高等専門学校		8	2	25.0	1	5	62.5	4	7	87.5	5	1	12.5	0	
小計		106 (152)	8 (18)	7.5 (11.8)	4 (-)	80 (96)	75.5 (63.2)	52 (-)	88 (114)	83.0 (75.0)	56 (-)	17 (38)	16.0 (25.0)	10 (-)	
大学	0 人	132	5	3.8	0	86	65.2	0	91	68.9	0	38	28.8	0	
短期大学		166	16	9.6	0	95	57.2	0	111	66.9	0	55	33.1	0	
高等専門学校		4	3	75.0	0	0	0.0	0	3	75.0	0	1	25.0	0	
小計		302 (352)	24 (25)	7.9 (7.1)	0 (-)	181 (194)	59.9 (55.1)	0 (-)	205 (219)	67.9 (62.2)	0 (-)	94 (133)	31.1 (37.8)	0 (-)	
大学		782	187	23.9	178	448	57.3	311	635	81.2	489	140	17.9	93	
短期大学		343	41	12.0	22	211	61.5	78	252	73.5	100	89	25.9	25	
高等専門学校		57	23	40.4	19	25	43.9	23	48	84.2	42	9	15.8	6	
計		1,182 (1,185)	251 (237)	21.2 (20.0)	219 (-)	684 (652)	57.9 (55.0)	412 (-)	935 (889)	79.1 (75.0)	631 (-)	238 (296)	20.1 (25.0)	124 (-)	

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 未回答校あり

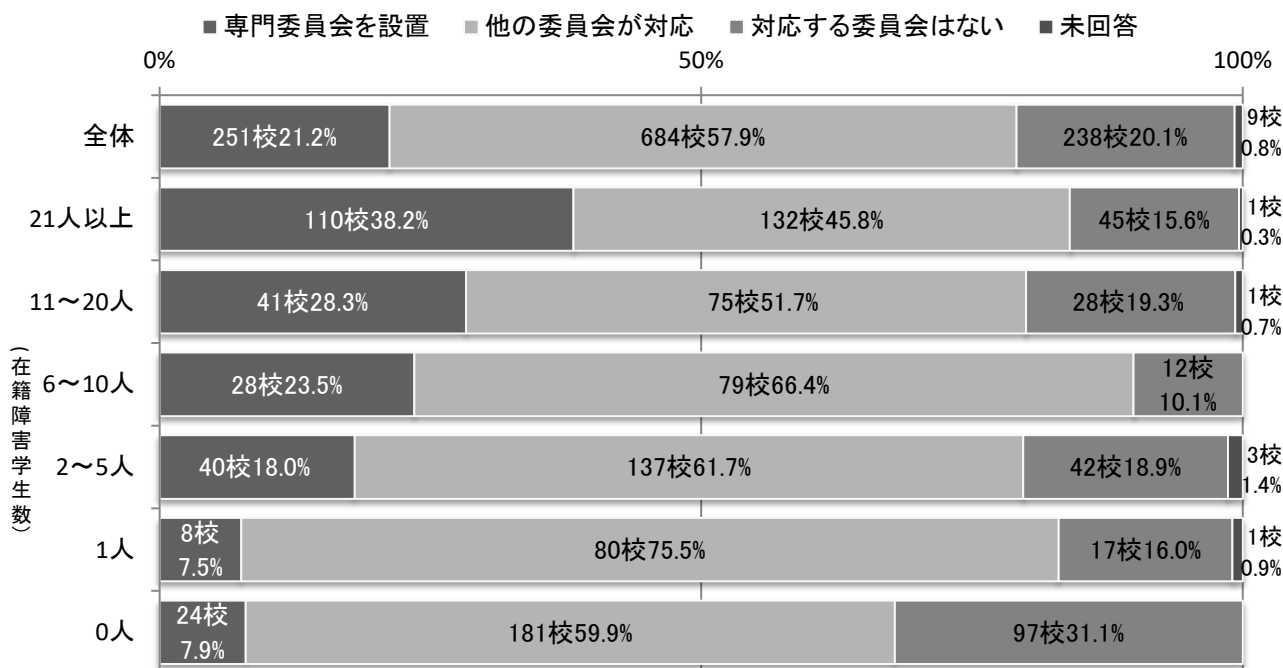


図15 委員会設置率(在籍障害学生数別)

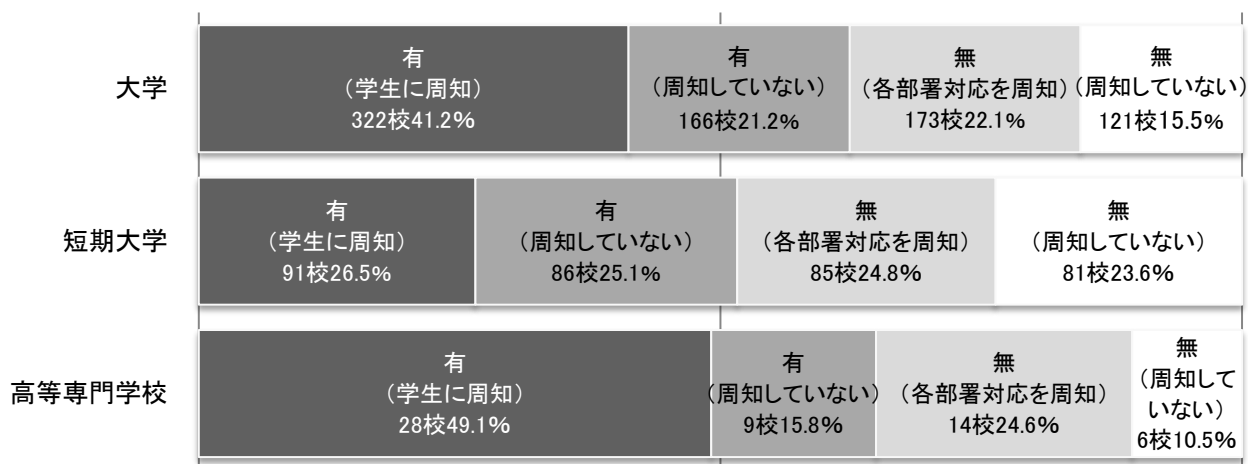


図16 障害学生の相談受付窓口の設置・周知状況

※未回答校あり

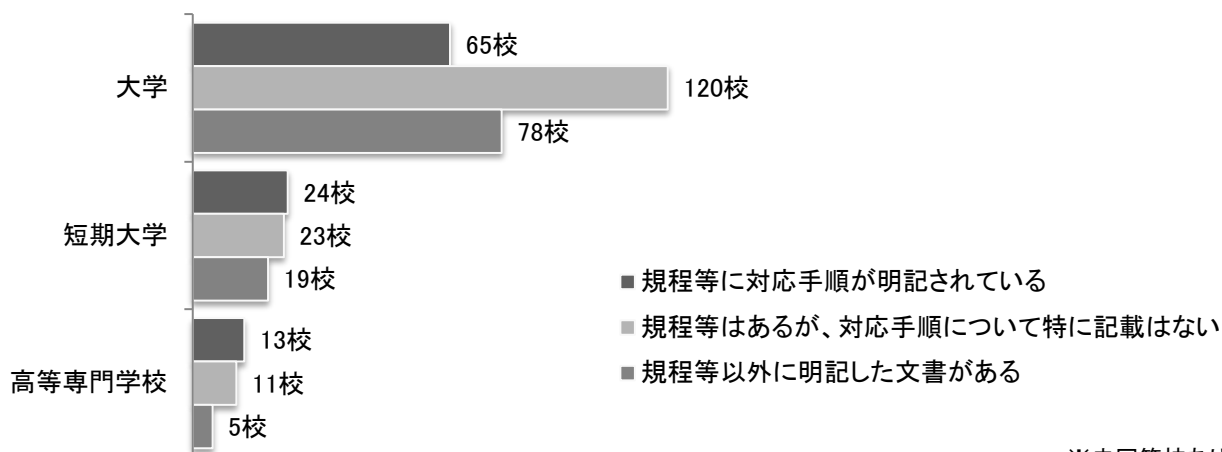


図17 「支援の申し出への対応手順」の記載状況

※未回答校あり  
※複数回答あり

(2)障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害学生支援担当部署の設置状況を見ると次のとおり。

- ・「専門部署・機関を設置」138校（前年度120校）と「他の部署・機関が対応」948校（同928校）を合わせた1,086校（同1,048校）で組織的な対応をしており、全学校1,182校の91.9%（同88.4%）、前回調査より3.5ポイントの増。
- ・比率をみると、「専門部署・機関を設置」が11.7%で前年度（10.1%）より1.6ポイントの増。「他の部署・機関が対応」が80.2%で前年度（78.3%）より1.9ポイントの増。

表39 障害学生修学支援担当部署〔障害学生数別・学校種別〕

区分	障害学生在籍校													
	専門部署・機関を設置				他の部署・機関が対応				計			対応する部署・機関はない		
	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)		
大学	267	75	28.1	74	190	71.2	181	265	99.3	255	2	0.7	2	
短期大学	11	1	9.1	1	10	90.9	7	11	100.0	8	0	0.0	0	
高等専門学校	10	3	30.0	3	7	70.0	7	10	100.0	10	0	0.0	0	
小計	288 (173)	79 (51)	27.4 (29.5)	78 (-)	207 (121)	71.9 (69.9)	195 (-)	286 (172)	99.3 (99.4)	273 (-)	2 (1)	0.7 (0.6)	2 (-)	
大学	111	21	18.9	21	87	78.4	81	108	97.3	102	3	2.7	3	
短期大学	18	1	5.6	1	16	88.9	13	17	94.4	14	1	5.6	1	
高等専門学校	16	3	18.8	3	13	81.3	12	16	100.0	15	0	0.0	0	
小計	145 (144)	25 (27)	17.2 (18.8)	25 (-)	116 (111)	80.0 (77.1)	106 (-)	141 (138)	97.2 (95.8)	131 (-)	4 (6)	2.8 (4.2)	4 (-)	
大学	81	10	12.3	10	70	86.4	66	80	98.8	76	1	1.2	1	
短期大学	29	2	6.9	2	27	93.1	25	29	100.0	27	0	0.0	0	
高等専門学校	9	1	11.1	1	8	88.9	7	9	100.0	8	0	0.0	0	
小計	119 (142)	13 (16)	10.9 (11.3)	13 (-)	105 (123)	88.2 (86.6)	98 (-)	118 (139)	99.2 (97.9)	111 (-)	1 (3)	0.8 (2.1)	1 (-)	
大学	136	8	5.9	8	122	89.7	96	130	95.6	104	4	2.9	3	
短期大学	76	5	6.6	4	67	88.2	46	72	94.7	50	3	3.9	2	
高等専門学校	10	1	10.0	1	8	80.0	8	9	90.0	9	1	10.0	1	
小計	222 (222)	14 (12)	6.3 (5.4)	13 (-)	197 (200)	88.7 (90.1)	150 (-)	211 (212)	95.0 (95.5)	163 (-)	8 (10)	3.6 (4.5)	6 (-)	
大学	55	1	1.8	1	50	90.9	35	51	92.7	36	4	7.3	2	
短期大学	43	2	4.7	1	38	88.4	22	40	93.0	23	3	7.0	1	
高等専門学校	8	0	0.0	0	6	75.0	3	6	75.0	3	2	25.0	2	
小計	106 (152)	3 (4)	2.8 (2.6)	2 (-)	94 (133)	88.7 (87.5)	60 (-)	97 (137)	91.5 (90.1)	62 (-)	9 (15)	8.5 (9.9)	5 (-)	
大学	132	1	0.8	0	100	75.8	0	101	76.5	0	30	22.7	0	
短期大学	166	2	1.2	0	126	75.9	0	128	77.1	0	38	22.9	0	
高等専門学校	4	1	25.0	0	3	75.0	0	4	100.0	0	0	0.0	0	
小計	302 (352)	4 (10)	1.3 (2.8)	0 (-)	229 (240)	75.8 (68.2)	0 (-)	233 (250)	77.2 (71.0)	0 (-)	68 (102)	22.5 (29.0)	0 (-)	
大学	782	116	14.8	114	619	79.2	459	735	94.0	573	44	5.6	11	
短期大学	343	13	3.8	9	284	82.8	113	297	86.6	122	45	13.1	4	
高等専門学校	57	9	15.8	8	45	78.9	37	54	94.7	45	3	5.3	3	
計	1,182 (1,185)	138 (120)	11.7 (10.1)	131 (-)	948 (928)	80.2 (78.3)	609 (-)	1,086 (1,048)	91.9 (88.4)	740 (-)	92 (137)	7.8 (11.6)	18 (-)	

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 未回答校あり

(3)障害学生支援に関する規程等の整備状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害学生支援に関する規程等の整備状況を見ると次のとおり。

- ・「規程等がある」256校（前年度219校）で整備しており、全学校（1,182校）の21.7%（同18.5%）、前年度より3.2ポイントの増。

表40 障害学生修学支援に関する規程等〔障害学生数別・学校種別〕

区分	障害学生在籍校						
	(校)	規程等がある			規程等はない		
		(校)	(%)	支援障害学生在籍校(※)	(校)	(%)	支援障害学生在籍校(※)
大学	21人以上	267	39.7	105	161	60.3	152
短期大学		11	9.1	1	10	90.9	7
高等専門学校		10	50.0	5	5	50.0	5
小計		288 (173)	38.9 (38.7)	111 (-)	176 (102)	61.1 (59.0)	164 (-)
大学	11~20人	111	31.5	33	76	68.5	72
短期大学		18	16.7	3	15	83.3	12
高等専門学校		16	43.8	7	9	56.3	8
小計		145 (144)	31.0 (32.6)	43 (-)	100 (97)	69.0 (67.4)	92 (-)
大学	6~10人	81	22.2	18	63	77.8	59
短期大学		29	17.2	5	24	82.8	22
高等専門学校		9	33.3	3	6	66.7	5
小計		119 (142)	21.8 (23.9)	26 (-)	93 (103)	78.2 (72.5)	86 (-)
大学	2~5人	136	12.5	16	119	87.5	91
短期大学		76	21.1	12	60	78.9	41
高等専門学校		10	70.0	7	3	30.0	3
小計		222 (222)	18.0 (13.5)	35 (-)	182 (185)	82.0 (83.3)	135 (-)
大学	1人	55	7.3	2	51	92.7	36
短期大学		43	18.6	2	35	81.4	22
高等専門学校		8	12.5	0	7	87.5	5
小計		106 (152)	12.3 (12.5)	4 (-)	93 (132)	87.7 (86.8)	63 (-)
大学	0人	132	3.8	0	127	96.2	0
短期大学		166	8.4	0	152	91.6	0
高等専門学校		4	25.0	0	3	75.0	0
小計		302 (352)	6.6 (6.3)	0 (-)	282 (324)	93.4 (92.0)	0 (-)
大学		782	23.7	174	597	76.3	410
短期大学		343	13.7	23	296	86.3	104
高等専門学校		57	42.1	22	33	57.9	26
計		1,182 (1,185)	21.7 (18.5)	219 (-)	926 (943)	78.3 (79.6)	540 (-)

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数



(4)障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害学生支援担当者の配置状況を見ると次のとおり。

- ・「専任配置」147校（前年度125校）と「兼任配置」926校（同890校）を合わせた1,073校（同1,015校）で配置しており、全学校（1,182校）の90.8%（同85.7%）、前年度より5.1ポイントの増。

表41 障害学生修学支援担当者〔障害学生数別・学校種別〕

区分		障害学生在籍校							外部 (校)	
		専任配置			兼任配置		計			
		(校)	支援障害学生 在籍校 (※) (校)	支援障害学生 在籍校 (※) (校)	(校)	支援障害学生 在籍校 (※) (校)	(校)	比率 (%)		支援障害学生 在籍校 (※) (校)
大学	2 1 人 以上	267	78	78	184	175	262	98.1	253	142
短期大学		11	1	1	8	6	9	81.8	7	2
高等専門学校		10	2	2	8	8	10	100.0	10	7
小計		288 (173)	81 (52)	81 (-)	200 (117)	189 (-)	281 (169)	97.6 (97.7)	270 (-)	151 (95)
大学	1 1 人 2 0	111	23	23	85	79	108	97.3	102	65
短期大学		18	1	1	16	14	17	94.4	15	9
高等専門学校		16	1	1	15	14	16	100.0	15	15
小計		145 (144)	25 (28)	25 (-)	116 (109)	107 (-)	141 (137)	97.2 (95.1)	132 (-)	89 (75)
大学	6 人 1 0	81	9	9	70	66	79	97.5	75	43
短期大学		29	1	1	27	26	28	96.6	27	16
高等専門学校		9	1	1	8	7	9	100.0	8	7
小計		119 (142)	11 (15)	11 (-)	105 (122)	99 (-)	116 (137)	97.5 (96.5)	110 (-)	66 (72)
大学	2 人 5	136	9	9	118	93	127	93.4	102	50
短期大学		76	9	6	62	43	71	93.4	49	36
高等専門学校		10	0	0	10	10	10	100.0	10	8
小計		222 (222)	18 (12)	15 (-)	190 (193)	146 (-)	208 (205)	93.7 (92.3)	161 (-)	94 (98)
大学	1 人	55	4	3	44	30	48	87.3	33	19
短期大学		43	0	0	40	23	40	93.0	23	22
高等専門学校		8	1	1	7	4	8	100.0	5	4
小計		106 (152)	5 (6)	4 (-)	91 (121)	57 (-)	96 (127)	90.6 (83.6)	61 (-)	45 (62)
大学	0 人	132	3	0	101	0	104	78.8	0	28
短期大学		166	4	0	119	0	123	74.1	0	39
高等専門学校		4	0	0	4	0	4	100.0	0	4
小計		302 (352)	7 (12)	0 (-)	224 (228)	0 (-)	231 (240)	76.5 (68.2)	0 (-)	71 (91)
大学		782	126	122	602	443	728	93.1	565	347
短期大学		343	16	9	272	112	288	84.0	121	124
高等専門学校		57	5	5	52	43	57	100.0	48	45
計		1,182 (1,185)	147 (125)	136 (-)	926 (890)	598 (-)	1,073 (1,015)	90.8 (85.7)	734 (-)	516 (493)

※ 複数回答あり

※ 専任担当者と兼任担当者の両方が配置されている学校については、専任配置校とした。

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

(5)障害学生支援担当者の職種

< 概要 >

○障害学生支援担当者別の配置校数を職種別に多い順に並べると次のとおり。

- ・専任スタッフでは、最も多いのが「職員」81校で、次いで「コーディネーター」51校、「教員」47校、「カウンセラー」28校、「支援技術を持つ教職員」10校、「医師」7校の順。(次頁へ続く)

表42 障害学生修学支援担当者〔職種別・障害学生在籍数別〕

区分	障害学生在籍校																					
	専任スタッフが いる										兼任スタッフが いる						外部に委託して いる					
	専任 スタッフ が いる	コ ー デ ィ ネ ー タ ー	カ ウ ン セ ラ ー	医 師	支 援 技 術 を 持 つ 教 職 員	職 員	教 員	そ の 他	兼 任 ス タ フ が い る	コ ー デ ィ ネ ー タ ー	カ ウ ン セ ラ ー	医 師	支 援 技 術 を 持 つ 教 職 員	職 員	教 員	そ の 他	外 部 に 委 託 し て い る	医 師 ・ カ ウ ン セ ラ ー 等	専 門 技 能 者	そ の 他		
(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)		
21人以上	大学	267	78	37	14	4	8	47	27	12	252	40	132	63	11	216	131	20	142	117	30	12
	短期大学	11	1	1	0	0	0	0	0	0	9	1	4	3	0	8	5	1	2	2	0	0
	高等専門学校	10	2	0	0	0	0	2	1	0	10	3	3	1	0	9	7	0	7	7	0	0
	小計	288	81	38	14	4	8	49	28	12	271	44	139	67	11	233	143	21	151	126	30	12
11～20人	大学	111	23	7	4	0	0	15	7	3	108	11	49	27	3	99	58	8	65	57	11	1
	短期大学	18	1	0	1	0	1	1	0	0	17	0	8	1	1	13	11	1	9	9	0	1
	高等専門学校	16	1	1	0	0	0	1	0	0	16	5	0	0	0	15	13	0	15	15	2	1
	小計	145	25	8	5	0	1	17	7	3	141	16	57	28	4	127	82	9	89	81	13	3
6～10人	大学	81	9	3	1	0	0	2	3	1	76	6	27	11	4	68	43	2	43	39	3	4
	短期大学	29	1	0	0	0	0	1	0	0	28	4	11	2	0	27	17	3	16	15	1	0
	高等専門学校	9	1	0	1	0	0	0	0	0	8	3	0	0	0	7	7	0	7	7	0	0
	小計	119	11	3	2	0	0	3	3	1	112	13	38	13	4	102	67	5	66	61	4	4
2～5人	大学	136	9	0	2	1	1	3	3	0	126	5	51	24	3	118	59	7	50	43	5	3
	短期大学	76	9	2	2	2	0	4	1	2	69	6	27	5	1	58	34	3	36	33	3	2
	高等専門学校	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	1	0	0	8	8	0	8	8	0	0
	小計	222	18	2	4	3	1	7	4	2	205	11	79	29	4	184	101	10	94	84	8	5
1人	大学	55	4	0	1	0	0	2	0	1	47	0	6	0	1	44	22	0	19	17	1	1
	短期大学	43	0	0	0	0	0	0	0	0	40	3	10	1	1	31	20	6	22	19	3	1
	高等専門学校	8	1	0	0	0	0	1	1	0	7	1	1	0	0	6	6	1	4	4	0	0
	小計	106	5	0	1	0	0	3	1	1	94	4	17	1	2	81	48	7	45	40	4	2
0人	大学	132	3	0	1	0	0	0	2	0	102	1	20	14	1	95	51	3	28	28	0	0
	短期大学	166	4	0	1	0	0	2	2	1	121	8	41	15	2	101	67	7	39	37	3	0
	高等専門学校	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	1	3	4	0	4	4	0	1
	小計	302	7	0	2	0	0	2	4	1	227	10	61	29	4	199	122	10	71	69	3	1
大学	782	126	47	23	5	9	69	42	17	711	63	285	139	23	640	364	40	347	301	50	21	
短期大学	343	16	3	4	2	1	8	3	3	284	22	101	27	5	238	154	21	124	115	10	4	
高等専門学校	57	5	1	1	0	0	4	2	0	55	13	5	1	1	48	45	1	45	45	2	2	
計	1,182	147	51	28	7	10	81	47	20	1,050	98	391	167	29	926	563	62	516	461	62	27	

※ 複数回答あり

(前頁から続く)

- ・兼任スタッフでは、最も多いのが「職員」926校で、次いで「教員」563校、「カウンセラー」391校、「医師」167校、「コーディネーター」98校、「支援技術を持つ教職員」29校の順。
- ・外部に委託では、最も多いのが「医師・カウンセラー等」461校で、次いで「専門技能者」62校の順。

表43 支援障害学生在籍校における障害学生修学支援担当者〔職種別・障害学生在籍数別〕

区分		障害学生在籍数																				
		支援障害学生在籍校																		外部に委託している		
		専任スタッフが いる						兼任スタッフが いる						その他								
(校)	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他					
21人以上	大学	257	78	37	14	4	8	47	27	12	243	40	128	60	10	208	129	19	138	113	29	12
	短期大学	8	1	1	0	0	0	0	0	0	7	1	4	3	0	6	4	1	1	1	0	0
	高等専門学校	10	2	0	0	0	0	2	1	0	10	3	3	1	0	9	7	0	7	7	0	0
	小計	275	81	38	14	4	8	49	28	12	260	44	135	64	10	223	140	20	146	121	29	12
11～20人	大学	105	23	7	4	0	0	15	7	3	102	11	46	26	3	93	56	8	62	54	11	1
	短期大学	15	1	0	1	0	1	1	0	0	15	0	7	1	1	12	9	1	8	8	0	1
	高等専門学校	15	1	1	0	0	0	1	0	0	15	4	0	0	0	15	13	0	14	14	2	1
	小計	135	25	8	5	0	1	17	7	3	132	15	53	27	4	120	78	9	84	76	13	3
6～10人	大学	77	9	3	1	0	0	2	3	1	72	5	26	10	3	64	40	2	42	38	3	4
	短期大学	27	1	0	0	0	0	1	0	0	27	4	11	2	0	26	16	3	14	13	1	0
	高等専門学校	8	1	0	1	0	0	0	0	0	7	3	0	0	0	6	6	0	6	6	0	0
	小計	112	11	3	2	0	0	3	3	1	106	12	37	12	3	96	62	5	62	57	4	4
2～5人	大学	107	9	0	2	1	1	3	3	0	101	4	38	19	2	95	50	6	43	36	5	3
	短期大学	53	6	2	2	1	0	2	1	1	48	4	19	4	1	42	23	2	28	25	3	2
	高等専門学校	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	1	0	0	8	8	0	8	8	0	0
	小計	170	15	2	4	2	1	5	4	1	159	8	58	23	3	145	81	8	79	69	8	5
1人	大学	38	3	0	1	0	0	1	0	1	32	0	6	0	1	31	14	0	13	12	1	0
	短期大学	24	0	0	0	0	0	0	0	0	23	1	5	0	0	18	13	2	13	11	1	1
	高等専門学校	5	1	0	0	0	0	1	1	0	4	1	0	0	0	3	3	1	2	2	0	0
	小計	67	4	0	1	0	0	2	1	1	59	2	11	0	1	52	30	3	28	25	2	1
0人	大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学		584	122	47	22	5	9	68	40	17	550	60	244	115	19	491	289	35	298	253	49	20
短期大学		127	9	3	3	1	1	4	1	1	120	10	46	10	2	104	65	9	64	58	5	4
高等専門学校		48	5	1	1	0	0	4	2	0	46	11	4	1	0	41	37	1	37	37	2	1
計		759	136	51	26	6	10	76	43	18	716	81	294	126	21	636	391	45	399	348	56	25

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 複数回答あり

(6) 施設・設備の整備状況

< 概要 >

○大学、短期大学、高等専門学校すべてにおいて下記の整備率が高い。

- ・屋外については「道路の舗装、段差の解消等」、「手すり、スロープ、階段昇降機等」。
- ・屋内については「障害者用トイレ」、「エレベーター」。
- ・支援機器については「車椅子、簡易ベッド等」。

表44 施設・設備の整備状況

区分		学内全体 に整備 (校)	現在必要 な箇所に 整備 (校)	部分的に 整備して いるが不 十分 (校)	整備中ま たは年度 内に整備 予定 (校)	未整備 (校)	整備率 (%)	
大学	屋外	道路の舗装、段差の解消等	168	302	242	1	69	60.1
		手すり、スロープ、階段昇降機等	102	347	261	0	72	57.4
		点字ブロック、標識シール等	59	154	222	3	344	27.2
		専用駐車場	168	339	113	0	162	64.8
	屋内	自動扉等出入り口の整備	134	282	249	3	114	53.2
		エレベーター	219	308	224	1	30	67.4
		手すり、スロープ、階段昇降機等	97	338	288	0	59	55.6
		車椅子移動等に必要なスペース確保	159	292	241	2	88	57.7
		点字プレート等教室表示	26	68	103	7	578	12.0
		聴覚障害者用屋内信号装置	1	11	11	1	758	1.5
		障害者用トイレ	199	355	187	3	38	70.8
		自習室、独習室	52	176	151	5	398	29.2
	支援機器	磁気誘導ループ	1	7	7	0	767	1.0
		点字プリンタ	—	76	31	0	675	9.7
		立体コピー機	—	26	8	1	747	3.3
拡大読書機		—	71	33	2	676	9.1	
点字携帯端末		—	23	7	0	752	2.9	
筆談器等		—	69	40	2	671	8.8	
その他	—	432	261	3	86	55.2		
短期大学	屋外	道路の舗装、段差の解消等	44	103	118	1	77	42.9
		手すり、スロープ、階段昇降機等	21	115	131	0	76	39.7
		点字ブロック、標識シール等	13	38	56	1	235	14.9
		専用駐車場	44	122	37	0	140	48.4
	屋内	自動扉等出入り口の整備	28	91	107	1	116	34.7
		エレベーター	53	108	103	2	77	46.9
		手すり、スロープ、階段昇降機等	25	106	144	1	67	38.2
		車椅子移動等に必要なスペース確保	44	92	117	0	90	39.7
		点字プレート等教室表示	4	19	29	0	291	6.7
		聴覚障害者用屋内信号装置	0	1	8	0	334	0.3
		障害者用トイレ	44	147	100	0	52	55.7
		自習室、独習室	10	57	45	1	230	19.5
	支援機器	磁気誘導ループ	1	0	2	0	340	0.3
		点字プリンタ	—	8	11	0	324	2.3
		立体コピー機	—	4	1	0	338	1.2
拡大読書機		—	10	4	0	329	2.9	
点字携帯端末		—	2	3	0	338	0.6	
筆談器等		—	12	8	0	323	3.5	
その他	—	166	122	2	53	48.4		
高等専門学校	屋外	道路の舗装、段差の解消等	9	24	23	0	1	57.9
		手すり、スロープ、階段昇降機等	5	28	23	0	1	57.9
		点字ブロック、標識シール等	0	6	9	0	42	10.5
		専用駐車場	8	28	12	1	8	63.2
	屋内	自動扉等出入り口の整備	10	23	22	0	2	57.9
		エレベーター	10	24	19	1	3	59.6
		手すり、スロープ、階段昇降機等	5	30	19	0	3	61.4
		車椅子移動等に必要なスペース確保	7	25	20	0	5	56.1
		点字プレート等教室表示	0	1	1	0	55	1.8
		聴覚障害者用屋内信号装置	0	0	0	0	57	0.0
		障害者用トイレ	11	27	17	0	2	66.7
		自習室、独習室	3	11	8	0	35	24.6
	支援機器	磁気誘導ループ	0	0	0	0	57	0.0
		点字プリンタ	—	0	0	0	57	0.0
		立体コピー機	—	3	1	0	53	5.3
拡大読書機		—	0	0	0	57	0.0	
点字携帯端末		—	0	0	0	57	0.0	
筆談器等		—	0	3	0	54	0.0	
その他	—	32	18	1	6	56.1		
その他	0	2	1	0	—	3.5		

※ 整備率：（「学校全体に整備」＋「現在必要な個所に整備」）÷全学校数（大学782校、短期大学343校、高等専門学校57校）×100（%）

※ 複数回答あり ※未回答校あり

## 8. 障害学生支援に関わる研修・啓発活動実施状況

### (1) 学校種別・障害学生在籍者数別

#### < 概要 >

○障害学生支援に関わる研修・啓発活動を実施している学校は930校で、前年度（775校）より155校の増。

○実施率が多い順に並べると次のとおり。

- ・「6～10人」95.0%（同83.1%）、「21人以上」94.8%（前年度91.9%）、「11～20人」91.0%（同85.4%）、「2～5人」86.5%（同77.0%）「1人」74.5%（同58.6%）となっている。

表45 研修・啓発活動実施状況〔学校種別〕

学校種別	学校数 (校)	研修・啓発活動実施校数 (校)	実施率(※) (%)
大学	782 (780)	648 (547)	82.9 (70.1)
短期大学	343 (348)	231 (180)	67.3 (51.7)
高等専門学校	57 (57)	51 (48)	89.5 (84.2)
計	1,182 (1,185)	930 (775)	78.7 (65.4)

※ 実施率: 研修・啓発活動実施校数 ÷ 学校数 × 100(%)

表46 研修・啓発活動実施状況〔障害学生数別〕

障害学生在籍校					
区分	学校種別	学校数 (校)	研修・啓発活動実施校数		実施率(※) (%)
			(校)	支援障害学生在籍校 (校)	
21人以上	大学	267 (166)	255 (153)	249 (—)	95.5 (92.2)
	短期大学	11 (2)	9 (2)	7 (—)	81.8 (100.0)
	高等専門学校	10 (5)	9 (4)	9 (—)	90.0 (80.0)
	小計	288 (173)	273 (159)	265 (—)	94.8 (91.9)
11～20人	大学	111 (116)	103 (98)	99 (—)	92.8 (84.5)
	短期大学	18 (9)	15 (6)	13 (—)	83.3 (66.7)
	高等専門学校	16 (19)	14 (19)	13 (—)	87.5 (100.0)
	小計	145 (144)	132 (123)	125 (—)	91.0 (85.4)
6～10人	大学	81 (116)	77 (99)	75 (—)	95.1 (85.3)
	短期大学	29 (16)	27 (11)	26 (—)	93.1 (68.8)
	高等専門学校	9 (10)	9 (8)	8 (—)	100.0 (80.0)
	小計	119 (142)	113 (118)	109 (—)	95.0 (83.1)
2～5人	大学	136 (148)	119 (111)	95 (—)	87.5 (75.0)
	短期大学	76 (58)	63 (47)	48 (—)	82.9 (81.0)
	高等専門学校	10 (16)	10 (13)	10 (—)	100.0 (81.3)
	小計	222 (222)	192 (171)	153 (—)	86.5 (77.0)
1人	大学	55 (73)	38 (39)	28 (—)	69.1 (53.4)
	短期大学	43 (75)	34 (47)	19 (—)	79.1 (62.7)
	高等専門学校	8 (4)	7 (3)	4 (—)	87.5 (75.0)
	小計	106 (152)	79 (89)	51 (—)	74.5 (58.6)
0人	大学	132 (161)	56 (47)	0 (—)	42.4 (29.2)
	短期大学	166 (188)	83 (67)	0 (—)	50.0 (35.6)
	高等専門学校	4 (3)	2 (1)	0 (—)	50.0 (33.3)
	小計	302 (352)	141 (115)	0 (—)	46.7 (32.7)

※ 実施率: 研修・啓発活動実施校数 ÷ 学校数 × 100(%)

## (2) 学校種別・内容別

### < 概要 >

○研修・啓発活動を内容別に見ると次のとおり。

- ・最も多いのが「障害学生と支援スタッフ（支援を行なう学生など）に対する相談対応、懇談会等の実施」611校（前年度543校）で、次いで「学外における各種研修等への教職員の派遣」577校（同283校）、「障害学生に対する就職支援、キャリア教育支援の実施」567校（同404校）の順。

表47 研修・啓発活動実施状況[学校種別・内容別]

区分		大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門学校 (校)	実施校数 (校)	実施校数 (930校) 中の実施率 (※1) (%)	全学校 (1,182校) 中の実施率 (※2) (%)
1	関連する講義（ボランティア論など）の開講	246 (150)	56 (35)	0 (0)	302 (185)	32.5 (23.9)	25.5 (15.6)
2	学生向け各種研修（ノートテイク 養成研修など）の実施	154 (112)	21 (15)	3 (2)	178 (129)	19.1 (16.6)	15.1 (10.9)
3	各種イベント（障害体験講座、講演 など）の実施	111 (53)	22 (7)	4 (4)	137 (64)	14.7 (8.3)	11.6 (5.4)
4	学内における教職員向け各種研修 (FD、SD研修など）の実施	220 (119)	54 (30)	25 (11)	299 (160)	32.2 (20.6)	25.3 (13.5)
	教員向け各種研修(FD研修)の 実施	195 (100)	44 (28)	23 (10)	262 (138)	28.2 (17.8)	22.2 (11.6)
	職員向け各種研修(SD研修)の 実施	160 (91)	44 (21)	12 (5)	216 (117)	23.2 (15.1)	18.3 (9.9)
5	学外における各種研修等への教職員の 派遣	419 (203)	114 (54)	44 (26)	577 (283)	62.0 (36.5)	48.8 (23.9)
6	障害学生と支援スタッフ（支援を行 なう学生など）に対する相談対応、 懇談会等の実施	441 (386)	128 (115)	42 (42)	611 (543)	65.7 (70.1)	51.7 (45.8)
7	支援マニュアル、パンフレット等の 作成配布	183 (171)	26 (25)	9 (11)	218 (207)	23.4 (26.7)	18.4 (17.5)
8	ホームページで障害学生修学支援情 報の公開	247 (182)	50 (30)	11 (6)	308 (218)	33.1 (28.1)	26.1 (18.4)
9	入学式等の学内イベントでの障害学 生修学支援についての情報提供	208 (173)	51 (40)	23 (17)	282 (230)	30.3 (29.7)	23.9 (19.4)
10	障害学生に対する就職支援、キャリ ア教育支援の実施	422 (293)	129 (98)	16 (13)	567 (404)	61.0 (52.1)	48.0 (34.1)
11	学外機関との連携	250 (—)	61 (—)	18 (—)	329 (—)	35.4 (—)	27.8 (—)

※1 平成26年度の実実施校数は775校

※2 平成26年度の全学校数は1,185校

※ 複数回答あり

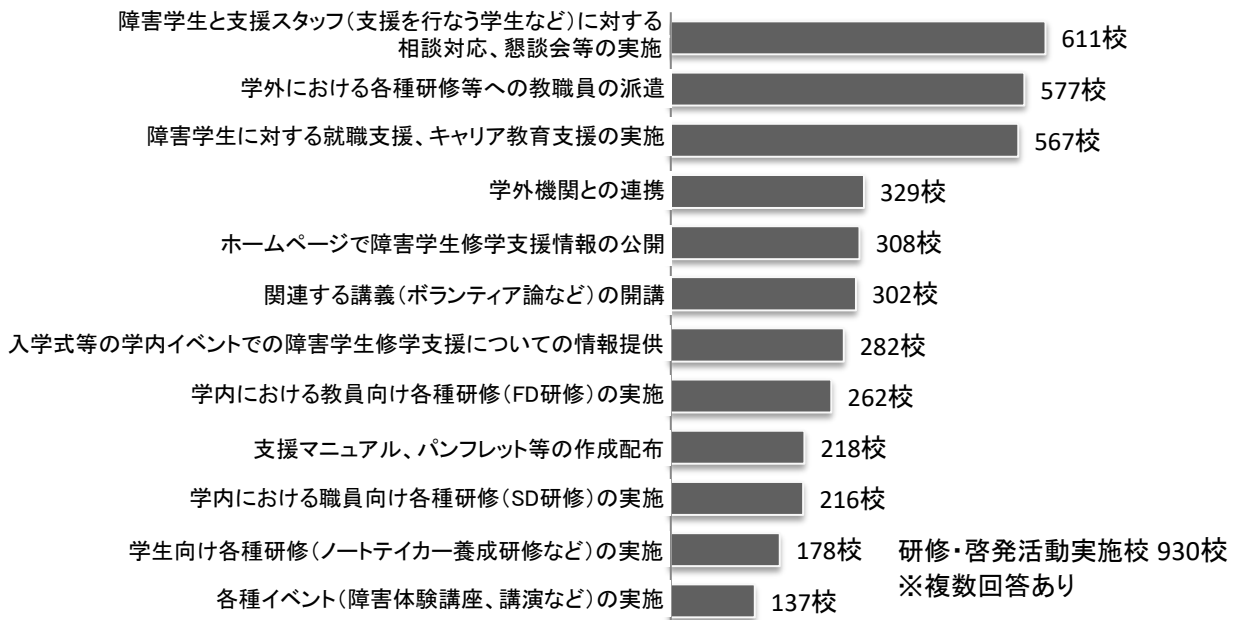


図18 研修・啓発活動実施状況(内容別)

- ア.関連する講義(ボランティア論など)の開講
- イ.学生向け各種研修(ノートテイク養成研修など)の実施
- ウ.各種イベント(障害体験講座、講演など)の実施
- エ.学内における教員向け各種研修(FD研修)の実施
- オ.学内における職員向け各種研修(SD研修)の実施
- カ.学外における各種研修等への教職員の派遣
- キ.障害学生と支援スタッフ(支援を行なう学生など)に対する相談対応、懇談会等の実施
- ク.支援マニュアル、パンフレット等の作成配布
- ケ.ホームページで障害学生修学支援情報の公開
- コ.入学式等の学内イベントでの障害学生修学支援についての情報提供
- サ.障害学生に対する就職支援、キャリア教育支援の実施
- シ.学外機関との連携

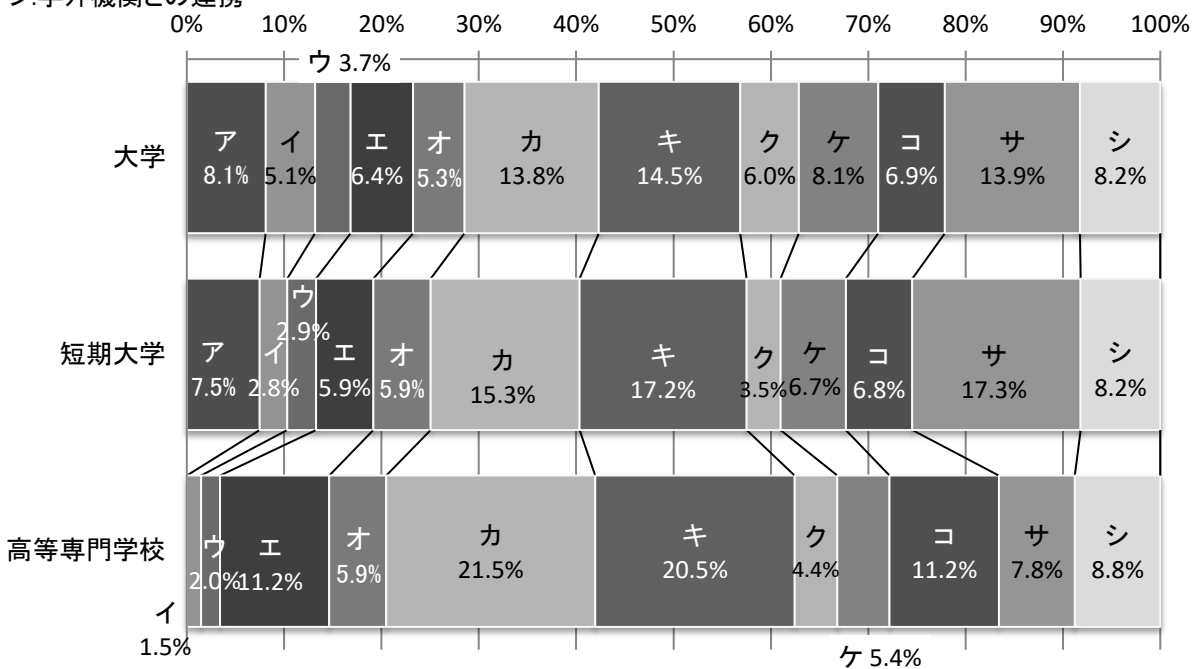


図19 研修・啓発活動実施状況(構成比)

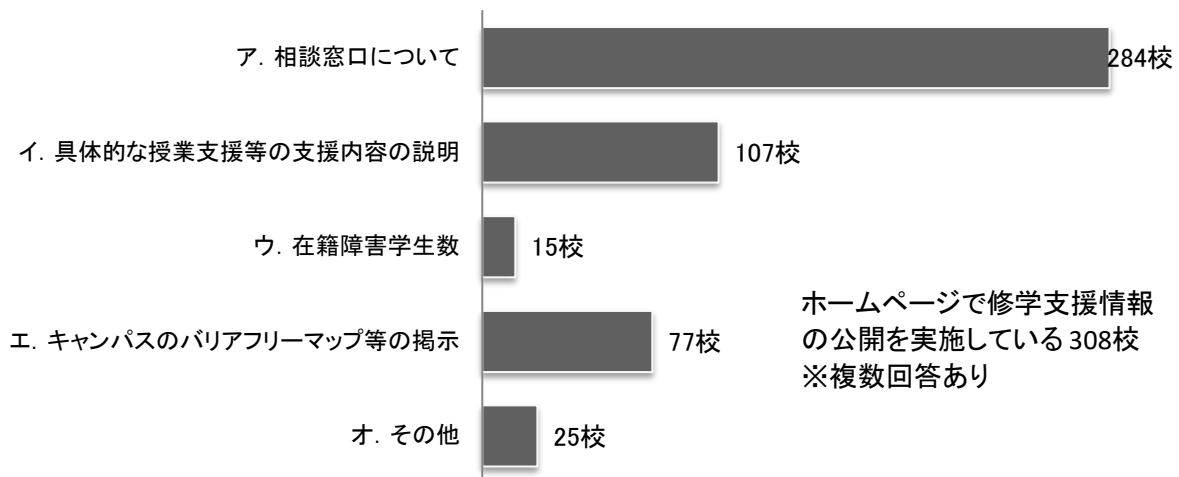


図20 修学支援情報の公開（ホームページ）

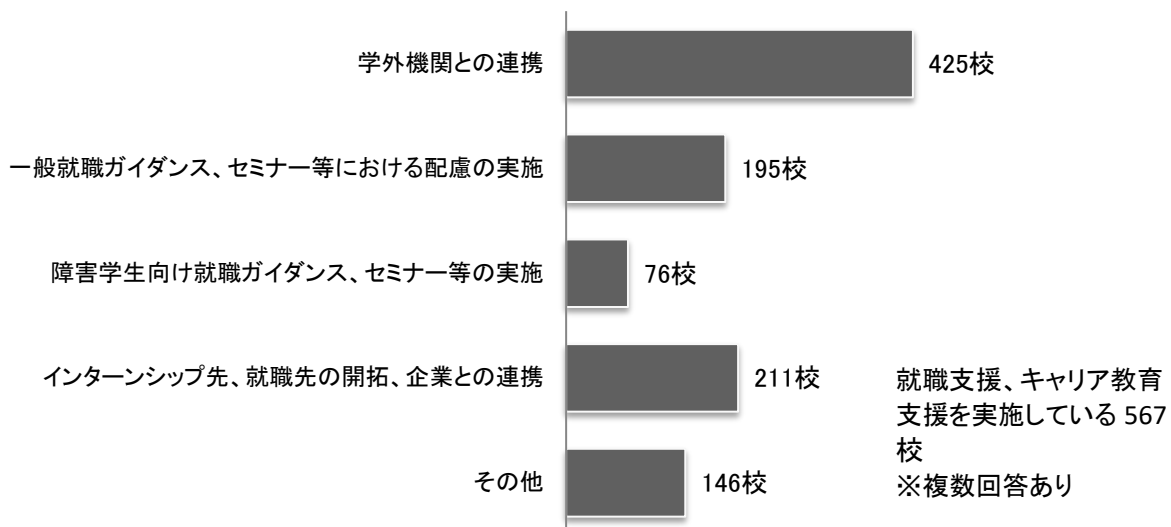


図21 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

〔学外機関との連携における、連携先として挙げられている主な機関〕

ハローワーク

就業・生活支援センター

職業訓練センター

発達障害者支援センター

障害者職業センター



## 9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等

### (1) 入学者選抜における配慮に関する体制

#### < 概要 >

- 平成27年度入学者選抜において、入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況については、「入試要項（紙）及びホームページに記載」している学校が639校（前年度581校）より58校の増。全学校（1,182校）に対する実施率は54.1%で前年度（49.0%）と前年度より5.1ポイントの増。なお、「入試要項（紙）のみに記載」している学校は274校（同294校）より20校の減。
- 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法については、「全学共通のルールで期間を設けている」学校が466校（同470校）と前年度より4校の減。全学校（1,182校）に対する比率は39.4%。

表48 入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,182校) 中の実施率 (%)
入試要項（紙）及びホームページに記載	476 (429)	118 (102)	45 (50)	639 (581)	54.1 (49.0)
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載 <sup>(1)</sup>	465 (424)	112 (101)	45 (48)	622 (573)	52.6 (48.4)
個々の困難に応じた配慮内容を記載 <sup>(2)</sup>	9 (11)	4 (1)	1 (2)	14 (14)	1.2 (1.2)
その他 <sup>(3)</sup> ※(1)(2)(3)は、複数回答あり	9 (6)	2 (0)	0 (1)	11 (7)	0.9 (0.6)
入試要項（紙）のみに記載	188 (213)	79 (80)	7 (1)	274 (294)	23.2 (24.8)
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載 <sup>(1)</sup>	185 (210)	76 (77)	6 (1)	267 (288)	22.6 (24.3)
個々の困難に応じた配慮内容を記載 <sup>(2)</sup>	6 (4)	2 (2)	0 (0)	8 (6)	0.7 (0.5)
その他 <sup>(3)</sup> ※(1)(2)(3)は、複数回答あり	4 (3)	4 (4)	1 (0)	9 (7)	0.8 (0.6)
入試要項（紙）にもホームページにも記載していない	107 (131)	135 (157)	5 (6)	247 (294)	20.9 (24.8)

表49 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,182校) 中の比率 (%)
随時受け付けている	236 (223)	108 (92)	14 (14)	358 (329)	30.3 (27.8)
全学共通のルールで期間を設けている	352 (347)	79 (87)	35 (36)	466 (470)	39.4 (39.7)
出願受付締め切りまで	57 (67)	17 (20)	5 (3)	79 (90)	6.7 (7.6)
試験前日まで	3 (2)	2 (1)	1 (1)	6 (4)	0.5 (0.3)
その他	292 (280)	60 (66)	29 (32)	381 (378)	32.2 (31.9)
学部、学科等や入試形態によって違う	56 (55)	6 (1)	2 (2)	64 (58)	5.4 (4.9)
特に告知はしていないが、相談があれば対応する	138 (156)	150 (163)	6 (5)	294 (324)	24.9 (27.3)

## (2) 入学者選抜において実施可能な配慮

### < 概要 >

○平成27年度入学者選抜において、実施可能な配慮について、全学校中の比率が70%を超えているものは下記のとおり。

比率が高いものから順に「車椅子の持参使用」(79.6%)、「松葉杖の持参使用」(79.6%)、「別室を設定」(76.4%)、「試験場への車での入構許可」(75.5%)、「トイレに近接する試験室に指定」(72.8%)、「窓側の明るい席の指定」(72.0%)、「補聴器の持参使用」(71.5%)。

表50 入学者選抜において実施可能な配慮

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,182校) 中の比率 (%)
点字問題を点字で解答	117	16	0	133	11.3
拡大文字問題の準備	390	121	14	525	44.4
拡大解答用紙の準備	381	120	12	513	43.4
音声で出題し音声で解答	38	7	0	45	3.8
マークシートに替えて文字で解答	103	21	0	124	10.5
チェック解答	133	21	0	154	13.0
試験時間の延長	446	128	14	588	49.7
照明器具の準備	298	97	22	417	35.3
特製機の使用	285	65	20	370	31.3
拡大鏡等の持参使用	518	163	34	715	60.5
補聴器の持参使用	606	200	39	845	71.5
車椅子等の持参使用	661	234	46	941	79.6
松葉杖の持参使用	657	239	45	941	79.6
パソコン等の持参使用	135	32	1	168	14.2
手話通訳者の付与	109	20	1	130	11.0
文書による伝達	449	126	16	591	50.0
窓側の明るい席の指定	598	216	37	851	72.0
トイレに近接する試験室に指定	613	208	39	860	72.8
別室を設定	635	221	47	903	76.4
試験室を一階に設定	452	157	34	643	54.4
介助者の付与	247	67	7	321	27.2
試験場への車での入構許可	633	221	38	892	75.5
その他	169	25	7	201	17.0

※ 実施率：実施校数÷全学校数×100 (%)

※ 複数回答あり

※ 過去に実施した実績がなく、実施可否の検討も行っていない項目については、実施可能と回答していない場合がある。

(3) 障害のある入学者数等（障害種別・学校種別）

< 概要 >

○平成27年度入学者選抜における障害のある入学者についてみると、大学においては「聴覚・言語障害」が、短期大学では「病弱・虚弱」が最も多い。高等専門学校においては「発達障害」が最も多く入学者の50%以上を占める。

表51 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（総表）

区 分		相談者 (人)	志願者 (人)	受験者 (人)	配慮実施 (人)	合格者 (人)	配慮実施 (人)	入学者 (人)	配慮実施 (人)	
総表	視覚障害	盲	54	54	62	47	35	26	29	20
		弱視	208	221	249	197	126	83	107	64
		小計	262	275	311	244	161	109	136	84
	聴覚・言語障害	聾	153	202	212	209	124	121	106	104
		難聴	679	636	743	648	318	235	245	167
		言語障害のみ	16	15	17	12	12	9	12	9
	小計	848	853	972	869	454	365	363	280	
	肢体不自由	上肢機能障害	54	57	60	40	32	13	31	12
		下肢機能障害	273	278	316	260	156	103	132	81
		上下肢機能障害	215	198	224	197	105	81	89	65
		他の機能障害	109	113	127	103	44	31	36	23
		小計	651	646	727	600	337	228	288	181
	病弱・虚弱	内部障害等	234	248	347	203	192	59	169	38
		他の慢性疾患	173	188	243	131	157	53	129	28
	小計	407	436	590	334	349	112	298	66	
	重複		47	55	62	45	29	19	26	17
	発達障害	S L D	21	19	37	17	25	5	25	5
		A D H D	47	52	66	37	48	19	35	6
		A S D	130	164	214	89	143	29	131	22
		発達障害の重複	57	69	84	48	51	17	40	6
小計		255	304	401	191	267	70	231	39	
精神障害	統合失調症等	25	27	56	21	40	7	36	4	
	気分障害	15	20	40	9	35	4	32	2	
	神経症性障害等	271	262	331	284	131	88	83	43	
	摂食障害・睡眠障害等	5	8	17	6	14	3	14	3	
	他の精神障害	86	88	98	75	51	28	42	19	
小計	402	405	542	395	271	130	207	71		
その他の障害		362	350	385	343	151	118	89	65	
計		3,234	3,324	3,990	3,021	2,019	1,151	1,638	803	

表52 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（大学）

区 分		相談者 (人)	志願者 (人)	受験者 (人)	配慮実施 (人)	合格者 (人)	配慮実施 (人)	入学者 (人)	配慮実施 (人)	
大学	視覚障害	盲	54	53	61	47	34	26	28	20
		弱視	205	215	242	194	120	81	101	62
		小計	259	268	303	241	154	107	129	82
	聴覚・言語障害	聾	150	200	210	207	122	119	104	102
		難聴	661	611	711	633	289	223	216	155
		言語障害のみ	16	15	17	12	12	9	12	9
	小計	827	826	938	852	423	351	332	266	
	肢体不自由	上肢機能障害	51	51	54	39	26	12	25	11
		下肢機能障害	264	268	305	254	145	97	122	75
		上下肢機能障害	210	192	217	193	99	78	83	62
		他の機能障害	109	113	126	103	43	31	35	23
		小計	634	624	702	589	313	218	265	171
	病弱・虚弱	内部障害等	228	231	306	198	156	59	133	38
		他の慢性疾患	169	171	212	128	129	52	101	27
	小計	397	402	518	326	285	111	234	65	
	重複		47	54	61	45	28	19	25	17
	発達障害	S L D	18	16	32	14	20	2	20	2
		A D H D	43	45	55	37	37	19	24	6
		A S D	123	146	185	86	115	27	103	20
		発達障害の重複	52	59	71	48	39	17	28	6
小計		236	266	343	185	211	65	175	34	
精神障害	統合失調症等	25	25	52	21	36	7	32	4	
	気分障害	15	17	35	9	30	4	28	2	
	神経症性障害等	269	258	322	281	122	85	74	40	
	摂食障害・睡眠障害等	5	8	15	6	12	3	12	3	
	他の精神障害	81	77	84	68	41	25	32	16	
小計	395	385	508	385	241	124	178	65		
その他の障害		351	338	370	333	141	113	81	62	
計		3,146	3,163	3,743	2,956	1,796	1,108	1,419	762	

※ 相談者と志願者は学校が記入した数をそのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

表53 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（短期大学）

区分		相談者	志願者	受験者	配慮実施	合格者	配慮実施	入学者	配慮実施
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
視覚障害	盲	0	1	1	0	1	0	1	0
	弱視	1	4	5	1	4	0	4	0
	小計	1	5	6	1	5	0	5	0
聴覚・言語障害	聾	2	1	1	1	1	1	1	1
	難聴	13	18	23	11	21	9	21	9
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	15	19	24	12	22	10	22	10
肢体不自由	上肢機能障害	3	5	5	1	5	1	5	1
	下肢機能障害	8	9	10	6	10	6	9	6
	上下肢機能障害	5	6	7	4	6	3	6	3
	他の機能障害	0	0	1	0	1	0	1	0
	小計	16	20	23	11	22	10	21	10
病弱・虚弱	内部障害等	4	14	38	3	35	0	35	0
	他の慢性疾患	4	15	26	3	24	1	24	1
	小計	8	29	64	6	59	1	59	1
重複		0	1	1	0	1	0	1	0
発達障害	S L D	3	3	5	3	5	3	5	3
	A D H D	2	4	5	0	5	0	5	0
	A S D	5	11	15	2	14	1	14	1
	発達障害の重複	1	1	1	0	1	0	1	0
	小計	11	19	26	5	25	4	25	4
精神障害	統合失調症等	0	2	4	0	4	0	4	0
	気分障害	0	3	5	0	5	0	4	0
	神経症性障害等	2	4	9	3	9	3	9	3
	摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	0
	他の精神障害	3	9	12	5	8	1	8	1
	小計	5	18	30	8	26	4	25	4
その他の障害		7	8	7	6	3	2	3	2
	計	63	119	181	49	163	31	161	31

表54 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（高等専門学校）

区分		相談者	志願者	受験者	配慮実施	合格者	配慮実施	入学者	配慮実施
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0
	弱視	2	2	2	2	2	2	2	2
	小計	2	2	2	2	2	2	2	2
聴覚・言語障害	聾	1	1	1	1	1	1	1	1
	難聴	5	7	9	4	8	3	8	3
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6	8	10	5	9	4	9	4
肢体不自由	上肢機能障害	0	1	1	0	1	0	1	0
	下肢機能障害	1	1	1	0	1	0	1	0
	上下肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0
	他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1	2	2	0	2	0	2	0
病弱・虚弱	内部障害等	2	3	3	2	1	0	1	0
	他の慢性疾患	0	2	5	0	4	0	4	0
	小計	2	5	8	2	5	0	5	0
重複		0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	S L D	0	0	0	0	0	0	0	0
	A D H D	2	3	6	0	6	0	6	0
	A S D	2	7	14	1	14	1	14	1
	発達障害の重複	4	9	12	0	11	0	11	0
	小計	8	19	32	1	31	1	31	1
精神障害	統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	0
	気分障害	0	0	0	0	0	0	0	0
	神経症性障害等	0	0	0	0	0	0	0	0
	摂食障害・睡眠障害等	0	0	2	0	2	0	2	0
	他の精神障害	2	2	2	2	2	2	2	2
	小計	2	2	4	2	4	2	4	2
その他の障害		4	4	8	4	7	3	5	1
	計	25	42	66	16	60	12	58	10

※ 相談者と志願者は学校が記入した数をそのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

(4) 受験上の配慮を行なった受験者数 (障害種別・学校種別)

< 概要 >

○平成27年度入学者選抜における受験上の配慮については次のとおり。

- ・A O入試、推薦入試、障害者特別入試の「特別入試」を受験した障害学生は561人（前年度585人）と前年度より24人の減。「特別入試以外の入試」を受験した障害学生は2,272人（同2,180人）より92人の増。

表55 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (総表)

区分	学部・学科(通学)											専攻科	計
	特別入試				外特 の別 入試 以 下	小計	(学 部・ 学 科 )(人)	(大 学 院 )(人)	(大 学 信 院 )(人)	専攻科 (人)	計 (人)		
	A O 入 試 (人)	推 薦 入 試 (人)	別 障 害 者 特 別 入 試 (人)	小 計 (人)									
視覚障害	盲	9 (3)	12 (8)	2 (1)	23 (12)	16 (15)	39 (27)	2 (0)	6 (7)	0 (0)	0 (1)	47 (35)	
	弱視	9 (13)	36 (39)	1 (1)	46 (53)	132 (64)	178 (117)	4 (1)	13 (15)	2 (3)	0 (0)	197 (136)	
	小計	18 (16)	48 (47)	3 (2)	69 (65)	148 (79)	217 (144)	6 (1)	19 (22)	2 (3)	0 (1)	244 (171)	
聴覚・言語障害	聾	21 (19)	56 (90)	4 (9)	81 (118)	114 (109)	195 (227)	4 (5)	7 (21)	0 (1)	3 (6)	209 (260)	
	難聴	27 (34)	105 (96)	8 (2)	140 (132)	477 (445)	617 (577)	9 (2)	19 (6)	1 (2)	2 (1)	648 (588)	
	言語障害のみ	1 (0)	5 (0)	0 (0)	6 (0)	2 (0)	8 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	
	小計	49 (53)	166 (186)	12 (11)	227 (250)	593 (554)	820 (804)	14 (7)	29 (27)	1 (3)	5 (7)	869 (848)	
肢体不自由	上肢機能障害	5 (6)	7 (9)	0 (0)	12 (15)	25 (38)	37 (53)	0 (1)	2 (4)	1 (0)	0 (0)	40 (58)	
	下肢機能障害	32 (13)	30 (37)	3 (1)	65 (51)	170 (153)	235 (204)	7 (2)	13 (8)	5 (3)	0 (0)	260 (217)	
	上下肢機能障害	19 (29)	30 (33)	0 (1)	49 (63)	126 (139)	175 (202)	9 (2)	12 (15)	1 (1)	0 (0)	197 (220)	
	他の機能障害	10 (8)	7 (23)	1 (2)	18 (33)	74 (62)	92 (95)	7 (0)	3 (6)	1 (0)	0 (0)	103 (101)	
	小計	66 (56)	74 (102)	4 (4)	144 (162)	395 (392)	539 (554)	23 (5)	30 (33)	8 (4)	0 (0)	600 (596)	
病弱・虚弱	内部障害等	3 (-)	15 (-)	0 (-)	18 (-)	167 (-)	185 (-)	12 (-)	6 (-)	0 (-)	0 (-)	203 (-)	
	他の慢性疾患	3 (-)	13 (-)	0 (-)	16 (-)	115 (-)	131 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	131 (-)	
	小計	6 (6)	28 (19)	0 (0)	34 (25)	282 (387)	316 (412)	12 (0)	6 (2)	0 (0)	0 (0)	334 (414)	
重複	6 (6)	6 (6)	0 (1)	12 (13)	31 (29)	43 (42)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	45 (42)		
発達障害	S L D	1 (1)	3 (3)	0 (0)	4 (4)	13 (18)	17 (22)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	17 (23)	
	A D H D	0 (0)	8 (3)	0 (0)	8 (3)	28 (20)	36 (23)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	37 (24)	
	A S D	4 (6)	8 (11)	0 (2)	12 (19)	75 (84)	87 (103)	0 (3)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	89 (108)	
	発達障害の重複	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	45 (12)	46 (13)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	48 (14)	
	小計	5 (7)	20 (18)	0 (2)	25 (27)	161 (134)	186 (161)	1 (3)	3 (4)	1 (1)	0 (0)	191 (169)	
精神障害	統合失調症等	1 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	16 (-)	17 (-)	2 (-)	2 (-)	0 (-)	0 (-)	21 (-)	
	気分障害	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	9 (-)	9 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	9 (-)	
	神経症性障害等	3 (-)	7 (-)	0 (-)	10 (-)	269 (-)	279 (-)	0 (-)	3 (-)	2 (-)	0 (-)	284 (-)	
	摂食障害・睡眠障害等	0 (-)	1 (-)	0 (-)	1 (-)	5 (-)	6 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	6 (-)	
	他の精神障害	2 (-)	13 (-)	0 (-)	15 (-)	59 (-)	74 (-)	1 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	75 (-)	
	小計	6 (-)	21 (-)	0 (-)	27 (-)	358 (-)	385 (-)	3 (-)	5 (-)	2 (-)	0 (-)	395 (-)	
その他の障害	7 (4)	16 (39)	0 (0)	23 (43)	304 (605)	327 (648)	6 (10)	10 (5)	0 (1)	0 (0)	343 (664)		
計	163 (148)	379 (417)	19 (20)	561 (585)	2,272 (2,180)	2,833 (2,765)	65 (26)	104 (93)	14 (12)	5 (8)	3,021 (2,904)		

表56 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (大学)

区分	学部・学科(通学)							小計 (人)	(学部・学科 (通信)) (人)	(大学院 (通学院)) (人)	(大学院 (通信)) (人)	専攻科 (人)	計 (人)
	特別入試				外特 別の 別入 入試 以 (人)	小計 (人)							
	A O 入 試 (人)	推 薦 入 試 (人)	別 障 害 者 特 別 入 試 (人)	小計 (人)									
視覚障害	盲	9 (3)	12 (7)	2 (1)	23 (11)	16 (15)	39 (26)	2 (0)	6 (7)	0 (0)	0 (1)	47 (34)	
	弱視	9 (13)	36 (35)	1 (1)	46 (49)	129 (61)	175 (110)	4 (1)	13 (15)	2 (3)	0 (0)	194 (129)	
	小計	18 (16)	48 (42)	3 (2)	69 (60)	145 (76)	214 (136)	6 (1)	19 (22)	2 (3)	0 (1)	241 (163)	
聴覚・言語障害	聾	21 (18)	56 (89)	4 (9)	81 (116)	112 (109)	193 (225)	4 (5)	7 (21)	0 (1)	3 (6)	207 (258)	
	難聴	25 (33)	98 (93)	8 (2)	131 (128)	472 (431)	603 (559)	9 (2)	19 (6)	1 (2)	1 (1)	633 (570)	
	言語障害のみ	1 (0)	5 (0)	0 (0)	6 (0)	2 (0)	8 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	
	小計	47 (51)	159 (182)	12 (11)	218 (244)	586 (540)	804 (784)	14 (7)	29 (27)	1 (3)	4 (7)	852 (828)	
肢体不自由	上肢機能障害	5 (5)	7 (9)	0 (0)	12 (14)	24 (38)	36 (52)	0 (1)	2 (4)	1 (0)	0 (0)	39 (57)	
	下肢機能障害	30 (11)	28 (31)	3 (1)	61 (43)	169 (149)	230 (192)	6 (2)	13 (8)	5 (3)	0 (0)	254 (205)	
	上下肢機能障害	18 (27)	28 (31)	0 (1)	46 (59)	125 (135)	171 (194)	9 (2)	12 (15)	1 (1)	0 (0)	193 (212)	
	他の機能障害	10 (7)	7 (22)	1 (2)	18 (31)	74 (61)	92 (92)	7 (0)	3 (6)	1 (0)	0 (0)	103 (98)	
	小計	63 (50)	70 (93)	4 (4)	137 (147)	392 (383)	529 (530)	22 (5)	30 (33)	8 (4)	0 (0)	589 (572)	
病弱・虚弱	内部障害等	2 (-)	14 (-)	0 (-)	16 (-)	164 (-)	180 (-)	12 (-)	6 (-)	0 (-)	0 (-)	198 (-)	
	他の慢性疾患	3 (-)	10 (-)	0 (-)	13 (-)	115 (-)	128 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	128 (-)	
	小計	5 (4)	24 (18)	0 (0)	29 (22)	279 (381)	308 (403)	12 (0)	6 (2)	0 (0)	0 (0)	326 (405)	
重複	6 (6)	6 (6)	0 (1)	12 (13)	31 (29)	43 (42)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	45 (42)		
発達障害	S L D	1 (1)	1 (3)	0 (0)	2 (4)	12 (18)	14 (22)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	14 (23)	
	A D H D	0 (0)	8 (3)	0 (0)	8 (3)	28 (20)	36 (23)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	37 (24)	
	A S D	2 (6)	8 (11)	0 (2)	10 (19)	74 (83)	84 (102)	0 (3)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	86 (107)	
	発達障害の重複	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	45 (12)	46 (13)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	48 (14)	
	小計	3 (7)	18 (18)	0 (2)	21 (27)	159 (133)	180 (160)	1 (3)	3 (4)	1 (1)	0 (0)	185 (168)	
精神障害	統合失調症等	1 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	16 (-)	17 (-)	2 (-)	2 (-)	0 (-)	0 (-)	21 (-)	
	気分障害	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	9 (-)	9 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	9 (-)	
	神経症性障害等	3 (-)	7 (-)	0 (-)	10 (-)	266 (-)	276 (-)	0 (-)	3 (-)	2 (-)	0 (-)	281 (-)	
	摂食障害・睡眠障害等	0 (-)	1 (-)	0 (-)	1 (-)	5 (-)	6 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	6 (-)	
	他の精神障害	1 (-)	12 (-)	0 (-)	13 (-)	54 (-)	67 (-)	1 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	68 (-)	
	小計	5 (-)	20 (-)	0 (-)	25 (-)	350 (-)	375 (-)	3 (-)	5 (-)	2 (-)	0 (-)	385 (-)	
その他の障害	7 (4)	15 (37)	0 (0)	22 (41)	295 (597)	317 (638)	6 (9)	10 (5)	0 (1)	0 (0)	333 (653)		
計	154 (138)	360 (396)	19 (20)	533 (554)	2,237 (2,139)	2,770 (2,693)	64 (25)	104 (93)	14 (12)	4 (8)	2,956 (2,831)		

表57 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (短期大学)

区分	学部・学科(通学)						小計	(学部・学科 (通信))	(大学院 (通学院))	(大学院 (通信))	専攻科	計
	特別入試				外特別 入試以							
	A O入試	推 薦入 試	別 障 害 者 特	小計								
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
視覚障害	盲	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (1)
	弱視	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	1 (0)	1 (2)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (2)
	小計	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (3)	1 (0)	1 (3)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (3)
聴覚・言語障害	聾	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	1 (0)	1 (2)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (2)
	難聴	2 (1)	7 (2)	0 (0)	9 (3)	2 (8)	11 (11)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	11 (11)
	言語障害のみ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	小計	2 (2)	7 (3)	0 (0)	9 (5)	3 (8)	12 (13)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	12 (13)
肢体不自由	上肢機能障害	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (1)
	下肢機能障害	2 (2)	2 (6)	0 (0)	4 (8)	1 (3)	5 (11)	1 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	6 (11)
	上下肢機能障害	1 (2)	2 (2)	0 (0)	3 (4)	1 (3)	4 (7)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	4 (7)
	他の機能障害	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (3)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (3)
	小計	3 (6)	4 (9)	0 (0)	7 (15)	3 (7)	10 (22)	1 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	11 (22)
病弱・虚弱	内部障害等	1 (-)	1 (-)	0 (-)	2 (-)	1 (-)	3 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	3 (-)
	他の慢性疾患	0 (-)	3 (-)	0 (-)	3 (-)	0 (-)	3 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	3 (-)
	小計	1 (2)	4 (1)	0 (0)	5 (3)	1 (6)	6 (9)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	6 (9)
重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)	
発達障害	S L D	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	3 (0)
	A D H D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	A S D	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	2 (1)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (1)
	発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	小計	2 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (0)	1 (1)	5 (1)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	5 (1)
精神障害	統合失調症等	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)
	気分障害	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)
	神経症性障害等	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (-)	3 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	3 (-)
	摂食障害・睡眠障害等	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)
	他の精神障害	1 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	4 (-)	5 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	5 (-)
	小計	1 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	7 (-)	8 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	8 (-)
その他の障害	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	6 (8)	6 (10)	0 (1)	- (-)	- (-)	0 (0)	6 (11)	
計	9 (10)	17 (18)	0 (0)	26 (28)	22 (30)	48 (58)	1 (1)	- (-)	- (-)	0 (0)	49 (59)	

表58 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

区分	学部・学科(通学)						小計 (人)	(学部・学科 (通信)) (人)	(大学院 (通学院)) (人)	(大学院 (通信)) (人)	専攻科 (人)	計 (人)	
	特別入試				外特別 入試以 上 (人)								
	A O入 試 (人)	推 薦入 試 (人)	別 障 害 者 特 別 入 試 (人)	小 計 (人)									
高等専門学校	視覚障害	盲	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)	
		弱視	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	2 (3)	2 (5)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (5)
		小計	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	2 (3)	2 (5)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (5)
	聴覚・言語障害	聾	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)
		難聴	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	3 (6)	3 (7)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	4 (7)
		言語障害のみ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	4 (6)	4 (7)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	5 (7)
	肢体不自由	上肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		下肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (1)
		上下肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (1)
		他の機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (2)
	病弱・虚弱	内部障害等	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	2 (-)
		他の慢性疾患	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (0)
	重複		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	発達障害	S L D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		A D H D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		A S D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)
		発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
小計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)	
精神障害	統合失調症等	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)	
	気分障害	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)	
	神経症性障害等	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)	
	摂食障害・睡眠障害等	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)	
	他の精神障害	0 (-)	1 (-)	0 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	2 (-)	
	小計	0 (-)	1 (-)	0 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	2 (-)	
その他の障害		0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	4 (0)	
計		0 (0)	2 (3)	0 (0)	2 (3)	13 (11)	15 (14)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	16 (14)	



(5) 入学者選抜において実施した配慮の内容（障害種別）

< 概要 >

○平成27年度入学者選抜において実施した配慮の内容については次のとおり。

- ・実施校数が多いのは「その他」を除けば「別室を設定」が最も多く（214校）。次いで「補聴器の持参使用」（168校）、「文書による伝達」（145校）、「トイレに近接する試験室に指定」（144校）。
- ・障害種別では「肢体不自由」についての実施が最も多い（275校）。

表59 入学者選抜において実施した配慮の内容〔障害種別〕

区分	点字問題を点字で解答	拡大文字問題の準備	拡大解答用紙の準備	音声で出題し音声で解答	マークシートに替えて文字で解答	チェック解答	試験時間の延長	照明器具の準備	特製机の使用	拡大鏡等の持参使用	補聴器の持参使用	車椅子等の持参使用	松葉杖の持参使用	パソコン等の持参使用	手話通訳者の付与	文書による伝達	窓側の明るい席の指定	トイレに近接する試験室に指定	別室を設定	試験室を一階に設定	介助者の付与	試験場への車での入構許可	その他	受験上の配慮を実施した学校数
	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)
視覚障害	盲	22	1	1	2	0	0	20	0	8	0	1	1	0	2	0	0	1	22	2	6	3	11	28
	弱視	1	53	36	0	5	9	38	7	3	58	0	2	0	1	0	1	10	1	45	2	4	3	32
	小計	23	54	37	2	5	9	58	7	11	58	1	3	0	3	0	1	10	2	67	4	10	6	43
聴覚・言語障害	聾	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	27	2	0	1	8	30	0	1	5	0	0	0	28
	難聴	0	0	0	0	0	0	6	0	0	2	152	1	0	1	15	104	1	0	24	3	0	0	122
	言語障害のみ	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	6
小計	0	1	0	0	1	0	12	0	0	2	179	3	0	5	23	135	1	1	30	3	0	0	156	
肢体不自由	上肢機能障害	0	2	5	0	0	10	14	0	3	1	0	4	0	4	0	0	0	2	18	3	0	4	16
	下肢機能障害	0	0	2	0	0	1	7	0	26	0	1	66	39	0	1	2	0	39	30	21	12	44	57
	上下肢機能障害	0	8	13	0	1	20	49	0	35	1	0	63	11	8	0	4	0	32	60	29	32	63	44
	他の機能障害	0	1	2	0	0	6	13	0	11	0	1	23	7	2	0	0	0	17	21	13	11	20	22
	小計	0	11	22	0	1	37	83	0	75	2	2	156	57	14	1	6	0	90	129	66	55	131	139
病弱・虚弱	内部障害等	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	4	0	1	0	0	0	36	44	9	3	10	54
	他の慢性疾患	0	1	2	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	14	30	4	4	1	37
	小計	0	1	2	0	0	1	3	0	4	0	0	5	1	1	0	0	0	50	74	13	7	11	91
重複	2	3	4	0	0	2	11	0	8	1	4	19	1	2	1	3	1	8	16	9	8	15	17	
発達障害（診断書有）	SLD	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	6
	ADHD	0	2	1	0	0	2	4	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	7	0	0	0	6
	ASD	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	2	0	0	0	0	15	0	6	35	2	4	2	28
	発達障害の重複	0	2	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1	15	1	0	0	9
	小計	0	4	1	0	0	4	22	0	0	2	1	0	0	1	25	0	8	58	3	4	2	49	
精神障害	統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	1	0	1	5
	気分障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	3
	神経症性障害等	0	1	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	19	61	3	0	4	44
	摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
	他の精神障害	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	19	12	1	2	0	25
小計	0	1	1	0	0	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	41	81	5	2	5	82	
その他の障害	0	3	2	0	0	2	5	1	1	1	0	1	5	0	0	0	4	39	39	8	2	8	83	
実施校数	22	70	63	2	6	40	124	8	72	62	168	132	57	22	23	145	16	144	214	70	65	123	265	409

※ 未回答校あり

## 10. 障害学生の卒業後の進路

### 進路状況（学校種別・障害種別）

#### < 概要 >

○通学制の最高年次(※)に在籍していた障害学生は(平成26年5月1日現在)3,856人(前年度2,885人)と前年度より971人の増。平成26年度卒業生は2,930人(同2,122人)と前年度より808人の増。

○卒業生の進路状況は、進学が349人(同270人)と前年度より79人の増、就職が1,470人(同1,061人)と前年度より409人の増。進学者のうち就職している者7人(同21人)を加えた全就職者数は1,477人(同1,082人)前年度より395人の増。

※ 最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表60 進路状況〔学校種別・障害種別〕(総表)

区分	現在(平成26年5月1日)	最高年次障害学生数(平成26年5月1日)	平成26年度卒業生数(平成27年3月31日)	平成26年度に卒業した障害学生の進路状況(平成27年5月1日まで)													計		
				進学						就職者(左記を除く)	うち就職している者	臨床研修医(予定を含む)	関係学校・教育訓練機関等	専修学校・外国の療養施設・医療機関等	社会福祉施設・医療機関等	一時的な職に就いた者		左記以外の者	死亡・不詳の者
				大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	その他										
視覚障害	盲	27	24	0	1	0	1	1	0	8	0	4	1	0	7	1	24		
	弱視	114	98	7	7	0	0	1	1	58	1	2	0	7	10	5	98		
聴覚・言語障害	聾	141	113	5	4	0	1	0	0	86	0	0	0	1	13	3	113		
	難聴	236	218	13	16	2	1	0	2	145	1	1	1	5	16	17	218		
肢体不自由	言語障害のみ	5	4	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4		
	上肢機能障害	66	61	2	1	0	0	0	0	42	0	1	1	3	7	4	61		
	下肢機能障害	182	153	10	3	1	0	0	1	93	1	7	2	5	21	10	153		
	上下肢機能障害	159	138	15	2	0	0	0	1	77	0	4	2	3	27	8	138		
	他の機能障害	63	54	7	1	0	1	0	1	29	1	3	0	1	9	2	54		
病弱・虚弱	内部障害等	457	387	32	5	3	3	2	0	230	0	2	0	15	46	49	387		
	他の慢性疾患	425	364	20	8	0	3	0	0	210	1	7	0	24	42	49	364		
	重複	61	46	2	2	0	1	0	0	21	0	3	0	1	11	5	46		
発達障害(診断書有)	S L D	32	27	1	3	0	0	0	0	11	0	3	0	4	4	1	27		
	A D H D	92	64	11	4	0	1	0	0	18	1	1	0	5	17	6	64		
	A S D	447	327	23	13	2	4	0	0	89	2	16	4	15	135	24	327		
	発達障害の重複	66	46	1	5	0	2	1	0	12	0	4	0	0	15	6	46		
精神障害	統合失調症等	176	98	5	2	0	0	0	0	37	2	4	2	9	29	8	98		
	気分障害	332	182	10	9	1	0	0	1	72	3	2	1	14	36	34	182		
	神経症性障害等	316	203	22	5	0	2	0	0	91	0	4	0	12	40	27	203		
	摂食障害・睡眠障害等	90	69	5	2	0	0	0	0	38	0	2	0	6	7	9	69		
	他の精神障害	199	129	7	9	0	1	1	0	46	1	2	0	13	34	15	129		
その他の障害	170	125	6	2	1	3	0	0	55	0	4	0	4	21	29	125			
計	3,856 (2,885)	2,930 (2,122)	205 (170)	104 (65)	10 (13)	24 (15)	6 (7)	7 (21)	1,470 (1,061)	14 (11)	76 (74)	14 (20)	147 (91)	548 (457)	312 (138)	2,930 (2,122)			

表61 進路状況〔学校種別・障害種別〕(大学)

区分	現在(平成26年5月1日)	最高年次障害学生数(平成26年5月1日)	平成26年度卒業生数(平成27年3月31日)	平成26年度に卒業した障害学生の進路状況(平成27年5月1日まで)													計		
				進学						就職者(左記を除く)	うち就職している者	臨床研修医(予定を含む)	関係学校・教育訓練機関等	専修学校・外国の療養施設・医療機関等	社会福祉施設・医療機関等	一時的な職に就いた者		左記以外の者	死亡・不詳の者
				大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	その他										
視覚障害	盲	27	24	0	1	0	1	1	0	8	0	4	1	0	7	1	24		
	弱視	103	87	7	5	0	0	1	1	52	1	2	0	7	9	3	87		
聴覚・言語障害	聾	139	112	5	4	0	1	0	0	86	0	0	0	1	12	3	112		
	難聴	203	187	13	12	0	0	0	1	125	1	1	0	5	16	14	187		
肢体不自由	言語障害のみ	5	4	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4		
	上肢機能障害	63	59	2	1	0	0	0	0	40	0	1	1	3	7	4	59		
	下肢機能障害	163	137	10	3	0	0	0	1	81	1	5	2	5	21	9	137		
	上下肢機能障害	149	128	15	2	0	0	0	1	69	0	4	2	2	27	7	128		
	他の機能障害	60	51	7	1	0	0	0	1	28	1	3	0	1	8	2	51		
病弱・虚弱	内部障害等	384	319	32	1	0	0	2	0	191	0	2	0	9	41	41	319		
	他の慢性疾患	349	290	20	3	0	0	0	0	175	1	7	0	21	40	23	290		
	重複	53	39	2	1	0	0	0	0	18	0	3	0	1	10	4	39		
発達障害(診断書有)	S L D	25	22	1	2	0	0	0	0	10	0	1	0	3	4	1	22		
	A D H D	80	53	11	3	0	0	0	0	13	1	1	0	5	13	6	53		
	A S D	402	286	21	7	1	1	0	0	78	2	12	4	13	125	22	286		
	発達障害の重複	57	38	1	3	0	1	1	0	10	0	3	0	0	14	5	38		
精神障害	統合失調症等	164	91	5	2	0	0	0	0	33	2	4	2	9	27	7	91		
	気分障害	306	164	10	8	0	0	0	0	63	3	1	1	12	34	32	164		
	神経症性障害等	289	180	22	3	0	0	0	0	78	0	4	0	11	37	25	180		
	摂食障害・睡眠障害等	74	56	5	1	0	0	0	0	31	0	0	0	6	5	8	56		
	他の精神障害	172	105	7	5	0	1	1	0	35	1	2	0	8	33	12	105		
その他の障害	155	112	6	1	0	0	0	0	51	0	3	0	3	19	29	112			
計	3,422 (2,611)	2,544 (1,878)	203 (170)	69 (38)	1 (1)	5 (2)	6 (3)	5 (19)	1,277 (944)	14 (11)	63 (69)	13 (19)	125 (81)	510 (405)	258 (135)	2,544 (1,878)			

表62 進路状況 [学校種別・障害種別] (短期大学)

区分	26 最高 年次 障害 学生 数 (平成 27年 5月1 日現 在)	平成 26 年度 卒業 の障 害学 生数 (平成 27年 3月 31日 まで)	平成26年度に卒業した障害学生の進路状況 (平成27年5月1日まで)													計 (人)		
			進学						就職者 (左記を 除く)	む 臨床 研修 医(予 定者 を含 む)	専 修学 校・ 外国 の学 校・ 教育 訓練 機関 等	社 会福 祉施 設・ 医療 機関 入 所者	一 時的 な職 に就 いた 者	左 記以 外の 者	死 亡・ 不詳 の者			
			大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	う ち 就 職 し て い る 者 (人)									(人)	(人)
視覚障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	7	7	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2	7
聴覚・ 言語障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
難聴	26	24	0	3	2	0	0	1	15	0	0	1	0	0	0	3	24	
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体 不自由	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	15	12	0	0	1	0	0	0	8	0	2	0	0	0	0	1	12	
上下肢機能障害	10	10	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	1	0	1	10		
他の機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
病弱・虚弱	67	63	0	2	3	2	0	0	37	0	0	0	6	5	8	63		
他の慢性疾患	60	58	0	2	0	0	0	0	25	0	0	0	3	2	26	58		
重複	4	4	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	4		
発達障害 (診断書有)	5	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3		
S L D	5	5	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	5			
A D H D	21	20	0	2	1	0	0	0	4	0	3	0	2	6	20			
A S D	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3			
発達障害の重複	10	6	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	6			
統合失調症等	25	18	0	1	1	0	0	1	9	0	1	0	2	2	18			
気分障害	25	21	0	2	0	1	0	0	12	0	0	0	1	3	21			
神経症性障害等	13	11	0	1	0	0	0	0	5	0	2	0	0	2	11			
摂食障害・睡眠障害等	24	21	0	2	0	0	0	0	10	0	0	0	5	1	21			
他の精神障害	11	9	0	0	1	1	0	0	3	0	1	0	1	2	9			
その他の障害	334	297	0	17	9	4	0	2	148	0	12	1	21	31	54	297		
計	(217)	(194)	(0)	(16)	(12)	(2)	(2)	(2)	(100)	(0)	(4)	(1)	(9)	(45)	(3)	(194)		

表63 進路状況 [学校種別・障害種別] (高等専門学校)

区分	26 最高 年次 障害 学生 数 (平成 27年 5月1 日現 在)	平成 26 年度 卒業 の障 害学 生数 (平成 27年 3月 31日 まで)	平成26年度に卒業した障害学生の進路状況 (平成27年5月1日まで)													計 (人)	
			進学						就職者 (左記を 除く)	む 臨床 研修 医(予 定者 を含 む)	専 修学 校・ 外国 の学 校・ 教育 訓練 機関 等	社 会福 祉施 設・ 医療 機関 入 所者	一 時的 な職 に就 いた 者	左 記以 外の 者	死 亡・ 不詳 の者		
			大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	う ち 就 職 し て い る 者 (人)									(人)
視覚障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	4	4	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4	
聴覚・ 言語障害	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
難聴	7	7	0	1	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	7		
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上肢機能障害	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2		
肢体 不自由	4	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4		
上下肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
他の機能障害	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2		
病弱・虚弱	6	5	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5		
内部障害等	16	16	0	3	0	3	0	0	10	0	0	0	0	0	16		
他の慢性疾患	4	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3		
重複	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2		
発達障害 (診断書有)	7	6	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	1	6		
S L D	24	21	2	4	0	3	0	0	7	0	1	0	0	4	21		
A D H D	6	5	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5		
A S D	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
発達障害の重複	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
統合失調症等	2	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2		
気分障害	3	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2		
神経症性障害等	3	3	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3		
摂食障害・睡眠障害等	4	4	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	4		
他の精神障害	100	89	2	18	0	15	0	0	45	0	1	0	1	7	89		
その他の障害	(57)	(50)	(0)	(11)	(0)	(11)	(2)	(0)	(17)	(0)	(1)	(0)	(1)	(7)	(0)	(50)	
計																	

## 11. 発達障害学生支援状況（一部再掲）

発達障害学生の支援状況に関しては、診断書のある発達障害学生に加え、診断書はないものの発達障害があることが推察され教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行っていない者は除く）についても調査した。

### (1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学校種別）

#### < 概要 >

○発達障害（診断書有）学生は3,436人（前年度2,722人）と前年度より714人の増。このうち支援障害学生は2,562人（同1,856人）と前年度より706人の増。

○発達障害（診断書無・配慮有）の支援障害学生は2,944人（同3,569人）より625人の減。発達障害（診断書有）の支援障害学生と合わせると5,506人（同5,425人）より81人の増。

表64 発達障害学生数及び支援発達障害学生数〔学校種別〕

区分		大学		短期大学		高等専門学校		計			
		障害学生	支援障害学生	障害学生	支援障害学生	障害学生	支援障害学生	障害学生	構成比	支援障害学生	構成比
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)
発達障害 (診断書有) 再掲	S L D	152 (96)	114 (62)	14 (9)	10 (5)	9 (9)	7 (5)	175 (114)	5.1 (4.2)	131 (72)	5.1 (3.9)
	A D H D	456 (278)	335 (179)	18 (14)	17 (6)	85 (71)	37 (33)	559 (363)	16.3 (13.3)	389 (218)	15.2 (11.7)
	A S D	2,017 (1,674)	1,566 (1,219)	66 (61)	56 (38)	215 (221)	105 (105)	2,298 (1,956)	66.9 (71.9)	1,727 (1,362)	67.4 (73.4)
	重複	331 (234)	261 (167)	17 (13)	11 (8)	56 (42)	43 (29)	404 (289)	11.8 (10.6)	315 (204)	12.3 (11.0)
	小計	2,956 (2,282)	2,276 (1,627)	115 (97)	94 (57)	365 (343)	192 (172)	3,436 (2,722)	100.0 (100.0)	2,562 (1,856)	100.0 (100.0)
発達障害 (診断書無 ・配慮有)	S L D	—	110 (113)	—	22 (29)	—	19 (6)	—	—	151 (148)	5.1 (4.1)
	A D H D	—	351 (359)	—	25 (17)	—	52 (28)	—	—	428 (404)	14.5 (11.3)
	A S D	—	1,578 (1,759)	—	43 (35)	—	92 (99)	—	—	1,713 (1,893)	58.2 (53.0)
	区分不明	—	530 (943)	—	71 (115)	—	51 (66)	—	—	652 (1,124)	22.1 (31.5)
	小計	—	2,569 (3,174)	—	161 (196)	—	214 (199)	—	—	2,944 (3,569)	100.0 (100.0)
計	2,956 (2,282)	4,845 (4,801)	115 (97)	255 (253)	365 (343)	406 (371)	3,436 (2,722)	100.0 (100.0)	5,506 (5,425)	100.0 (100.0)	

(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学科（専攻）別）

< 概要 >

○支援発達障害学生数（診断書有＋診断書無・配慮有）を学科（専攻）別に見ると、構成比が15%を超えているのは次のとおり。

- ・大学では、多い順に、「社会科学」1,161人（構成比24.0%）、「人文科学」1,122人（同23.2%）、「工学」1,036人（同21.4%）。
- ・短期大学では、多い順に、「人文」62人（構成比24.3%）、「家政」57人（同22.4%）、「教育」41人（同16.1%）。
- ・高等専門学校では、構成比98.0%を占めているのが「工業」398人。

表65 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学科（専攻）別]

区 分	発達障害（診断書有） 再掲										発達障害（診断書無・配慮有）学生数					計 (②+③)	構成比	
	障害学生数					支援障害学生数					S L D	A D H D	A S D	区 分 不 明	小計 ③			
	S L D	A D H D	A S D	発 達 障 害 の 重 複	小計 ①	S L D	A D H D	A S D	発 達 障 害 の 重 複	小計 ②								(人)
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	
大学	人文科学	17	112	490	71	690	10	80	385	56	531	31	73	349	138	591	1,122	23.2
	社会科学	25	105	487	87	704	19	77	369	73	538	21	78	374	150	623	1,161	24.0
	理学	5	16	141	17	179	2	12	121	16	151	4	32	105	15	156	307	6.3
	工学	35	72	460	61	628	28	52	370	47	497	17	66	393	63	539	1,036	21.4
	農学	8	16	80	7	111	7	9	51	5	72	3	18	58	19	98	170	3.5
	保健 (医・歯学)	0	5	18	1	24	0	4	13	1	18	3	8	44	14	69	87	1.8
	保健(医・ 歯学を除く)	5	17	67	30	119	2	12	40	14	68	12	15	80	27	134	202	4.2
	商船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家政	1	3	23	3	30	1	2	15	1	19	0	2	25	13	40	59	1.2
	教育	2	27	60	7	96	1	17	46	6	70	7	14	58	20	99	169	3.5
	芸術	10	31	72	14	127	4	24	49	9	86	6	25	43	38	112	198	4.1
	その他	44	52	119	33	248	40	46	107	33	226	6	20	49	33	108	334	6.9
	小計	152	456	2,017	331	2,956	114	335	1,566	261	2,276	110	351	1,578	530	2,569	4,845	100.0
短期大学	人文	4	3	15	3	25	1	3	15	3	22	3	4	17	16	40	62	24.3
	社会	1	0	7	2	10	1	0	3	1	5	1	1	3	8	13	18	7.1
	教養	1	1	1	1	4	1	1	1	0	3	0	0	0	0	0	3	1.2
	工業	0	3	6	1	10	0	2	6	1	9	0	1	1	0	2	11	4.3
	農業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	2	3	1.2
	保健	0	1	4	0	5	0	1	3	0	4	0	3	2	2	7	11	4.3
	家政	5	5	10	5	25	4	5	9	4	22	3	3	4	25	35	57	22.4
	教育	1	2	3	1	7	1	2	2	0	5	10	9	5	12	36	41	16.1
	芸術	1	2	7	3	13	1	2	6	2	11	0	0	3	1	4	15	5.9
	その他	0	1	13	1	15	0	1	11	0	12	4	4	8	6	22	34	13.3
小計	14	18	66	17	115	10	17	56	11	94	22	25	43	71	161	255	100.0	
高等専門学校	社会	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	2	1	1	4	5	1.2
	工業	9	83	210	56	358	7	35	103	43	188	19	50	91	50	210	398	98.0
	商船	0	2	4	0	6	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	3	0.7
	芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	9	85	215	56	365	7	37	105	43	192	19	52	92	51	214	406	100.0
計	175	559	2,298	404	3,436	131	389	1,727	315	2,562	151	428	1,713	652	2,944	5,506		

(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数（学校種別）

< 概要 >

- 「発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校」は670校（前年度625校）より45校の増。全学校（1,182校）の56.7%（同52.7%）と前年度より4.0ポイントの増。
- 「支援発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校」は603校（同560校）と前年度より43校の増。全学校の51.0%（同47.3%）と前年度より3.7ポイントの増。

表66 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 [学校種別]

区 分		大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門学校 (校)	計 (校)	
発達障害（診断書有） 再掲	障害学生	SLD	75 (59)	11 (6)	8 (8)	94 (73)
		ADHD	205 (149)	16 (12)	30 (27)	251 (188)
		ASD	383 (345)	43 (45)	40 (42)	466 (432)
		発達障害の重複	152 (119)	15 (11)	27 (21)	194 (151)
		発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	456 (393)	68 (57)	44 (45)	568 (495)
	支援障害学生	SLD	50 (38)	9 (3)	6 (5)	65 (46)
		ADHD	159 (97)	15 (6)	19 (18)	193 (121)
		ASD	326 (283)	36 (28)	34 (31)	396 (342)
		発達障害の重複	126 (94)	10 (7)	24 (16)	160 (117)
		支援発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	381 (326)	54 (35)	39 (36)	474 (397)
発達障害（診断書無・配慮有）	支援障害学生	SLD	59 (63)	13 (11)	7 (4)	79 (78)
		ADHD	147 (127)	18 (11)	12 (9)	177 (147)
		ASD	237 (251)	25 (25)	16 (22)	278 (298)
		区分不明	166 (183)	35 (36)	16 (12)	217 (231)
		発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	334 (348)	62 (60)	25 (29)	421 (437)
発達障害(診断書有)学生又は発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数		511 (478)	108 (96)	51 (51)	670 (625)	
全学校数に対する比率 (%)		65.3 (61.3)	31.5 (27.6)	89.5 (89.5)	56.7 (52.7)	
支援発達障害(診断書有)学生又は発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数		461 (438)	96 (77)	46 (45)	603 (560)	
全学校数に対する比率 (%)		59.0 (56.2)	28.0 (22.1)	80.7 (78.9)	51.0 (47.3)	
全学校数		782 (780)	343 (348)	57 (57)	1,182 (1,185)	

#### (4) 発達障害のある学生への支援（支援内容別）

##### < 概要 >

- 「支援発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校」603校で行なわれている支援内容は次のとおり。
- ・授業支援では、最も多いのが「配慮依頼文書の配付」247校（実施率41.0%）、次いで「学習指導」182校（同30.2%）、「履修支援」181校（同30.0%）、「出席に関する配慮」134校（同22.2%）の順。
  - ・授業以外の支援では、最も多いのが「専門家によるカウンセリング」393校（実施率65.2%）、次いで「対人関係配慮」269校（同44.6%）、「自己管理指導」232校（同38.5%）、「居場所の確保」199校（同33.0%）の順。

表67 支援発達障害学生支援内容〔授業支援及び授業以外の支援〕

区分	大学		短期大学		高等専門学校		実施校数 (校)	実施率 (%)	
	実施校数 (校)	(※)実施率 (%)	実施校数 (校)	(※)実施率 (%)	実施校数 (校)	(※)実施率 (%)			
授業支援	配慮依頼文書の配付	218	47.3	20	20.8	9	19.6	247	41.0
	学習指導	140	30.4	25	26.0	17	37.0	182	30.2
	履修支援	156	33.8	25	26.0	0	0.0	181	30.0
	出席に関する配慮	111	24.1	18	18.8	5	10.9	134	22.2
	授業内容の代替、提出期限延長等	90	19.5	11	11.5	8	17.4	109	18.1
	講義に関する配慮	94	20.4	6	6.3	3	6.5	103	17.1
	注意事項等文書伝達	90	19.5	5	5.2	7	15.2	102	16.9
	実技・実習配慮	77	16.7	18	18.8	6	13.0	101	16.7
	教室内座席配慮	80	17.4	8	8.3	11	23.9	99	16.4
	学外実習・フィールドワーク配慮	57	12.4	14	14.6	5	10.9	76	12.6
授業以外の支援	専門家によるカウンセリング	318	69.0	44	45.8	31	67.4	393	65.2
	対人関係配慮	218	47.3	27	28.1	24	52.2	269	44.6
	自己管理指導	188	40.8	24	25.0	20	43.5	232	38.5
	居場所の確保	161	34.9	18	18.8	20	43.5	199	33.0
	就職支援情報の提供、支援機関の紹介	161	34.9	18	18.8	6	13.0	185	30.7
	キャリア教育	144	31.2	14	14.6	11	23.9	169	28.0
	医療機関との連携	148	32.1	7	7.3	12	26.1	167	27.7
	休憩室・治療室の確保等	126	27.3	13	13.5	9	19.6	148	24.5
	個別支援情報の収集	86	18.7	20	20.8	16	34.8	122	20.2
	障害学生向け求人情報の提供	104	22.6	13	13.5	4	8.7	121	20.1

※ 実施率：各支援実施校数÷支援発達障害（診断有）学生又は発達障害（診断無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校数（学校種別、前頁表66参照）×100（%）

(5) 発達障害を理由とする受験上の配慮（学校種別）

< 概要 >

○平成27年度入学者選抜において、発達障害を理由とする受験上の配慮については次のとおり。

- ・発達障害（診断書有）学生は191人で、「（AO入試、推薦入試、障害者特別入試の）特別入試」の受験者は25人、「特別入試以外の入試」の受験者は161人。
- ・発達障害（診断書無・配慮有）学生は11人で、「特別入試」の受験者は9人、「特別入試以外の入試」の受験者は2人。

表68 受験上の配慮を行なった受験者数 [学校種別]

区分	学部・学科（通学）						小計 (人)	学部・学科 (通信) (人)	大学院 (通学) (人)	大学院 (通信) (人)	専攻科 (人)	計 (人)	
	特別入試				以特別 の入試 (人)								
	AO 入試 (人)	推薦 入試 (人)	特別 障害 者 入試 (人)	小計 (人)									
発達障害（診断書有）再掲	大学	SLD	1 (1)	1 (3)	0 (0)	2 (4)	12 (18)	14 (22)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	14 (23)
		ADHD	0 (0)	8 (3)	0 (0)	8 (3)	28 (20)	36 (23)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	37 (24)
		ASD	2 (6)	8 (11)	0 (2)	10 (19)	74 (83)	84 (102)	0 (3)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	86 (107)
		発達障害の重複	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	45 (12)	46 (13)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	48 (14)
		小計	3 (7)	18 (18)	0 (2)	21 (27)	159 (133)	180 (160)	1 (3)	3 (4)	1 (1)	0 (0)	185 (168)
	短期大学	SLD	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	3 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	2 (1)	0 (0)	—	—	0 (0)	2 (1)
		発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
		小計	2 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (0)	1 (1)	5 (1)	0 (0)	—	—	0 (0)	5 (1)
	高等専門学校	SLD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	—	—	—	0 (0)	1 (0)
		発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	—	—	—	0 (0)	1 (0)
	計	5 (7)	20 (18)	0 (2)	25 (27)	161 (134)	186 (161)	1 (3)	3 (4)	1 (1)	0 (0)	191 (169)	
発達障害（診断書無・配慮有）	大学	SLD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (2)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)
		ASD	0 (2)	2 (0)	0 (0)	2 (2)	1 (7)	3 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (9)
		区分不明	2 (1)	4 (1)	0 (0)	6 (2)	1 (9)	7 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (11)
		小計	2 (3)	7 (1)	0 (0)	9 (4)	2 (18)	11 (22)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (22)
	短期大学	SLD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
		区分不明	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
	高等専門学校	SLD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		区分不明	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
	計	2 (3)	7 (1)	0 (0)	9 (4)	2 (18)	11 (22)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (22)	



(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況（学校種別）

< 概要 >

○発達障害（診断書有）学生は次のとおり。

- ・通学制の最高年次（※）に在籍していた発達障害（診断書有）学生は、平成26年5月1日現在637人で前年度（519人）より118人の増で、平成26年度卒業生は464人で前年度（357人）より107人の増。
- ・卒業生の進路状況は、進学が71人で前年度（55人）より16人の増、就職が130人で前年度（105人）より25人の増で、進学者のうち就職している者0人（昨年度5人）を加えた全就職者数は130人で前年度（110人）より20人の増。

○発達障害（診断書無・配慮有）学生は次のとおり。

- ・通学制の最高年次（※）に在籍していた発達障害（診断書無・配慮有）学生は、平成26年5月1日現在889人で前年度（871人）より18人の増で、平成26年度卒業生は665人で前年度（615人）より50人の増。
- ・卒業生の進路状況は、進学が62人で前年度（77人）より15人の減、就職が283人で前年度（226人）より57人の増で、進学者のうち就職している者1人（昨年度4人）を加えた全就職者数は284人で前年度（230人）より54人の増。

※ 最高年次とは「大学：4年次及び6年次、短期大学：2年次（3年制の場合は3年次）、高等専門学校：5年次」をいう。

表69 発達障害学生進路状況〔学校種別〕

区分	（最高年次 平成26年 5月1日現在） （人）	（平成26 年度卒業 の障害学生 数 （平成27年 3月1日まで） （人）	平成26年度卒業した障害学生の進路状況 （平成27年5月1日まで）													計 （人）	
			進学						就職者 （左記を除く） （人）	臨床研修医 （予定者を含む） （人）	校専 ・教育訓 ・練習関 等 （人）	医療 ・福祉 ・施設 等 （人）	一時的な職に就いた者 （人）	左記以外の者 （人）	死亡・不詳の者 （人）		
			大学院 研究科 （人）	大学 学部 （人）	短期 大学 本科 （人）	専攻 科 （人）	別 科 （人）	うち 就職 している 者 （人）									
発達障害（診断書有）再掲	SLD	25	22	1	2	0	0	0	0	10	0	1	0	3	4	1	22
	ADHD	80	53	11	3	0	0	0	0	13	1	1	0	5	13	6	53
	ASD	402	286	21	7	1	1	0	0	78	2	12	4	13	125	22	286
	発達障害の重複	57	38	1	3	0	1	1	0	10	0	3	0	0	14	5	38
	小計	564 (459)	399 (307)	34 (27)	15 (9)	1 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	111 (89)	3 (3)	17 (22)	4 (6)	21 (17)	156 (108)	34 (25)	399 (307)
	SLD	5	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
	ADHD	5	5	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	5
	ASD	21	20	0	2	1	0	0	0	4	0	3	0	2	6	2	20
	発達障害の重複	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3
	小計	34 (26)	31 (22)	0 (0)	3 (3)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (9)	0 (0)	6 (2)	0 (0)	2 (0)	10 (8)	3 (0)	31 (22)
	SLD	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	ADHD	7	6	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	1	0	6
	ASD	24	21	2	4	0	3	0	0	7	0	1	0	0	4	0	21
	発達障害の重複	6	5	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
	小計	39 (34)	34 (28)	2 (0)	7 (5)	0 (0)	5 (9)	0 (1)	0 (0)	13 (7)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	5 (5)	0 (0)	34 (28)
	計	637 (519)	464 (357)	36 (27)	25 (17)	2 (1)	7 (9)	1 (1)	0 (5)	130 (105)	3 (3)	24 (25)	4 (6)	24 (17)	171 (121)	37 (25)	464 (357)
発達障害（診断書無・配慮有）	SLD	23	13	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0	4	1	13	
	ADHD	87	55	6	1	1	0	0	20	0	1	0	3	15	8	55	
	ASD	452	328	30	4	0	0	0	141	1	7	4	20	99	22	328	
	区分不明	211	169	4	0	0	0	0	70	0	10	1	22	51	11	169	
	小計	773 (738)	565 (503)	42 (54)	5 (8)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (3)	237 (175)	1 (2)	18 (12)	5 (9)	45 (23)	169 (167)	42 (52)	565 (503)
	SLD	19	17	0	1	0	0	0	10	0	2	0	1	3	0	17	
	ADHD	15	12	0	1	0	1	0	4	0	0	0	1	4	1	12	
	ASD	19	14	0	0	0	0	0	5	0	1	0	1	7	0	14	
	区分不明	29	28	0	1	0	1	0	12	0	1	2	4	7	0	28	
	小計	82 (114)	71 (94)	0 (0)	3 (3)	0 (6)	2 (1)	0 (0)	0 (1)	31 (41)	0 (0)	4 (5)	2 (2)	7 (16)	21 (20)	1 (0)	71 (94)
	SLD	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	ADHD	8	6	0	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	6	
	ASD	14	12	0	3	0	2	0	3	0	1	0	1	2	0	12	
	区分不明	11	10	0	1	0	1	0	7	0	0	0	0	1	0	10	
	小計	34 (19)	29 (18)	0 (2)	5 (1)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	15 (10)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (2)	3 (0)	0 (0)	29 (18)
	計	889 (871)	665 (615)	42 (56)	13 (12)	1 (6)	6 (3)	0 (0)	1 (4)	283 (226)	1 (2)	23 (19)	7 (11)	53 (41)	193 (187)	43 (52)	665 (615)

< **IV. 参考資料** >  
(調査の手引)

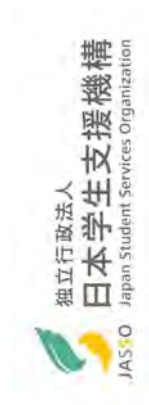
※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。  
[https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu\\_shien/chosa-kenkyu/chosa/2015.html](https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa-kenkyu/chosa/2015.html)



平成 27 年度 (2015 年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

## 調査の手引



## 1 調査の概要

本調査は、全国すべての大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、障害のある学生の状況および修学支援に関する基本的事項を明らかにし、修学支援のより一層の充実を図ることを目的とした実態統計調査であり、独立行政法人日本学生支援機構（以下JASSO）が毎年実施しています。

調査は、統計的に処理を行ない、個々の学校の状況は公表しません。学校単位の個別情報や個人情報保護・管理については十分な配慮を行ないます。収集した情報は、研究及び政策立案のために使用しますが、学校及び個人が特定できる分析は行ないません。

〔1〕 調査の期日 平成27年5月1日現在

〔2〕 調査の内容

1. 学校基本情報（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
  - (1) 学校名と主となる所在地
  - (2) 学校全体の学生数
  - (3) 本調査の担当部署（者）
  - (4) 障害学生支援の主たる担当部署（者）
2. 支援体制（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
  - (1) 障害学生支援に関する専門委員会等
  - (2) 障害学生支援担当部署（者）
    - 1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関について
    - 2) 障害学生支援業務を行なう担当者について
  - (3) 障害学生の相談受付窓口
  - (4) 障害学生支援に関する規程等
  - (5) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
3. 活動や取組（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
4. 受入に関する配慮（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
  - (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
  - (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
  - (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
5. 入学者数等（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
  - (1) 障害のある入学者数等
  - (2) 受験上の配慮の内容
6. 平成26年度卒業生（平成26年度の学部（通学課程）最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください）
  - (1) 学部（通学課程）最高年次及び卒業障害学生数

(2) 状況別卒業障害学生数（平成27年5月1日現在）

7. 障害学生数（平成27年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください）  
学校種別に以下の課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

■ 大学・大学院 (1) 学部（通学課程）、(2) 学部（通信教育課程）、(3) 大学院（通学課程）、(4) 大学院（通信教育課程）、(5) 専攻科

■ 短期大学 (1) 学部（通学課程）、(2) 学部（通信教育課程）、(3) 専攻科

■ 高等専門学校 (1) 学部（通学課程）、(2) 専攻科

8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳（「7. 障害学生数」の障害種別「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に学生数を計上した場合にご回答ください）

9. 精神障害（他の精神障害）の内訳（「7. 障害学生数」の障害種別「精神障害」の「他の精神障害」に学生数を計上した場合にご回答ください）

10. その他の障害の内訳（「7. 障害学生数」の障害種別「その他の障害」に学生数を計上した場合にご回答ください）

11. 授業支援と授業以外の支援（平成27年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください）

学校種別に全課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援（診断書はないが発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください）

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数  
支援している学生の数、実施している支援内容（授業支援及び授業以外の支援を記入してください）

13. 意見・要望（障害学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）

〔3〕 提出の期限 平成27年10月30日（金）

〔4〕 調査結果の公表

報告書：平成28年3月（予定）

調査結果はJASSOウェブサイト障害学生修学支援情報

([http://www.jasso.go.jp/tokubetsu\\_shien/index.html](http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/index.html)) で閲覧できます。

〔5〕 調査票の配付

調査票は、「大学・大学院用」「短期大学用」「高等専門学校用」の3種類を用意しています。JASSOウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

なお、この「調査の手引」(PDF)はウェブサイトにも掲載しています。

## Ⅱ 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点

### 〔1〕 調査票（回答）の取扱上の注意

情報保護のため、メールに添付する調査票（回答）ファイルには、読み取りパスワードを設定してください。パスワードは、JASSOよりお送りした調査依頼文書（平成27年9月1日付）に記載してあります。パスワードを設定したファイルは、再度開いて、パスワードでロックを解除できることを確認の上、メールに添付して送信してください。

読み取りパスワードの設定方法については、13ページをご参照ください。

### 〔2〕 調査票（回答）の作成上の留意点

#### ①セル、シート、ブックの編集はできません。

本調査票では、記入欄以外のところには記入できないようになっております。また、シートやセル、行、列の移動、削除、挿入等の編集もできません。ただし、自由記述欄の結合してあるセルを分割する等、一部編集できてしまう箇所もありますので、ご記入の際にはご注意ください。

記入欄が足りない場合は、回答を添付するメール本文に記載するか、別表を作成して調査票（回答）とともにメールに添付してください。

#### ②赤色や黄色のセル

本調査票には、記入すると赤色や黄色になるセルがあります。

<赤色のセル>記入した数や内容について、詳細や関連事項を記入する別表があるセルです。詳細や関連事項等の必要箇所を記入すると、白地に戻ります。

<黄色のセル>同じ表の中で不整合が起きていると、セルが黄色に表示されます。

（例：全学生数より入学者数の方が多い）不整合を修正すると、白地に戻ります。回答後のご確認の際に、各設問にある【記入上の注意】を参考に、赤や黄色のセルが残っていないかご確認ください。

#### ③記入内容の反映

各表の計の欄や、赤色、黄色のセル表示が再記入内容をすぐに反映しない場合があります。その場合は、ファイルのオプションにある「計算方法」が「手動」になっていきますので、「自動」に変更してください。

#### ④学校名の記入

「学校名」には法人名は不要です。法人名を加えて記入（例：国立大学法人〇〇大学）すると「機関コード」にエラー表示が出ます。大学名のみを、略さず「〇〇大学」と記入してください。「学校名」を記入すると、その右上の黒帯の欄に「機関コード」が表示されます。この「機関コード」は回答ファイルのファイル名に使用します。

#### ⑤「記入上の注意」

調査票各シートの記入欄の右側には、本手引の内容を含む、より具体的な「記

JASSOウェブサイト 障害のある学生の修学支援に関する実態調査  
[http://www.jasso.go.jp/tokubetsu\\_shien/chosa.html](http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/chosa.html)

○キャンパスが複数ある場合も1校1回答にまとめてください。

○大学内に短期大学部を有している場合は、大学（大学院を含む）と短期大学部の各1回答をお願いします。

○統合された学校で、旧校名での在籍学生がいる場合は、統合先の学校と合算せず、旧校名での回答をお願いします。

### 〔6〕 回答の提出

回答を記入した調査票データファイル（Excel）をメールに添付し、JASSOまで送信してください。

#### 【回答のファイル名】

機関コード（6桁の半角数字）\_（アンダーバー）\_ 学校名\_（アンダーバー）\_ 実態調査

（例：100999\_JASSO大学\_実態調査）

※機関コードとは、JASSO学生生活部障害学生支援課が各学校の識別用に割り当てている番号で、奨学金の「学校番号」とは違います。調査票の「1. 学校基本情報」シートの（1）に学校名を記入すると、上の黒帯の右端に白い文字で6桁の数字が表示されますのでご確認ください。

#### 【メールのタイトル】 学校名

【メールの送信先】 [kaitou@jasso.go.jp](mailto:kaitou@jasso.go.jp)

事情によりメールでデータファイルを送ることができない場合は、JASSO学生生活部障害学生支援課までご相談ください。

### 〔7〕 調査に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課障害学生調査・分析係

電話：03-5520-6176 E-Mail：tokubetsushien@jasso.go.jp

入上の注意」を掲載しています。回答を記入する際の参考にしてください。なお、調査票を印刷する際には、この「記入上の注意」は印刷されない設定となっております。

〔3〕昨年度調査との主な相違点

①障害種別の変更等

障害種別に「精神障害」を追加するとともに「発達障害」の下位区分の名称変更、「病弱・虚弱」の下位区分の設置、各障害種の定義の修正等、以下の通り見直しを行ないました（下線部分の変更箇所です）。定義の詳細については、14～16ページをご参照ください。

障害種別	下位区分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	内部障害等、他の慢性疾患
重複	重複
発達障害 (診断書有)	<u>S.L.D.</u> 、 <u>ADHD</u> 、 <u>ASD</u> 、発達障害の重複
精神障害	統合失調症等、気分障害、神経症性障害等、摂食障害・睡眠障害等、他の精神障害
その他の障害	上記に該当しない障害
発達障害（診断書無・配慮有）	<u>S.L.D.</u> 、 <u>ADHD</u> 、 <u>ASD</u> 、区分不明

②シート構成の変更、設問の移動、変更、追加等  
設問内容や回答の利便性を考慮し、以下の変更を行いました（下線部分が変わ箇所です）。

○シート構成の変更

1. 学校基本情報
2. 支援体制
3. 活動や取組 ] ※「支援体制、活動や取組」を分割しました。
4. 受入に関する配慮
5. 入学者数等
6. 平成26年度卒業生
7. 障害学生数 ※授業支援をシート11に切り分けました。
8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳 ※追加しました。

9. 精神障害（他の精神障害）の内訳 ※追加しました。
10. その他の障害の内訳
11. 授業支援と授業以外の支援 ※支援を1つのシートにまとめました。
12. 発達障害が疑われる学生への支援
13. 意見、要望

○設問や表の移動、変更、追加等

2. 支援体制

合理的配慮の提供について第三者的視点で調整する組織の有無を問う設問を追加しました。支援担当部署・機関と支援担当者に関する問いをまとめました。また、施設・設備の整備状況に関する問いを本シートに移動しました。

3. 活動や取組

就職支援やキャリア教育支援の内容について選択肢を設定しました。また、学外連携機関についての設問を追加しました。

5. 入学者数等

障害のある入学者数等と、受験上の配慮実施数を1つの表にまとめました。

11. 授業支援と授業以外の支援  
支援現場の実情を反映するため以下の項目を追加し、授業以外の支援については、カテゴリを設けました。

○授業支援○

配慮依頼文書の配付、出席に関する配慮、学習指導、授業内容の代替・提出期限延長等、履修支援、学外実習・フィールドワーク配慮

○授業以外の支援○

（学生生活支援）居場所の確保、通学支援、個別支援情報の収集、情報取得支援（社会的スキル指導）自己管理指導、対人関係支援、日常生活支援（保健管理・生活支援）専門家によるカウンセリング、医療機関との連携、医療機器、薬剤の保管等、休憩室・治療室の確保、生活介助、介助者の入構、入室許可（進路・就職指導）キャリア教育、障害学生向け求人情報の提供、就職支援情報の提供、支援機関の紹介、インターンシップ先の開拓、就職先の開拓、就職活動支援

12. 発達障害が疑われる学生への支援

授業支援内容に関する問いを追加し、発達障害が疑われる学生に対する支援について集約しました。

1. 学校基本情報  
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 学校名と主となる所在地  
 学校名の欄に学校の名称を記入してください。法人名は不要です。学校名にアルファベットを含む場合は全角で入力してください。  
 主となる所在地の欄に都道府県名を記入してください。なお、記入の際は末尾に「都」「道」「府」「県」を付けてください。(例：京都府、青森県)
- (2) 学校全体の学生数  
 平成27年5月1日現在の在籍学生数、入学者数及び平成26年度卒業生数を回答してください。対象となる学生の定義については、14ページをご参照ください。
- ・ 全学生数
  - ・ 学部……通学課程、通信教育課程 大学院……通学課程、通信教育課程 専攻科
  - ・ 全入学者数 (1年次のみ)
  - ・ 学部……通学課程、通信教育課程 大学院……通学課程、通信教育課程 専攻科
  - ・ 平成26年度全卒業者数
  - ・ 学部……通学課程
- (3) 本調査の担当部署 (者)  
 本調査の担当部署名、担当者 (記入者) の役職・氏名 (フリガナ)・連絡先 (郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-Mailアドレス) を記入してください。  
 ※回答内容に関する確認等で、連絡させていただく場合があります。
- (4) 障害学生支援の主たる担当部署 (者)  
 障害学生支援の担当部署と担当者について記入してください。担当部署が複数存在する場合には、いずれか1部署を代表で記入してください。  
 ※本機構の障害学生支援事業に関するご案内等をさせていただく場合があります。

2. 支援体制  
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害学生支援に関する専門委員会等  
 障害学生支援について協議・検討する委員会及び合理的配慮の内容の決定について第三者的視点に立ち調整を行なう組織の有無について回答してください。委員会はその名称及び代表者の役職等 (副学長、学部長等)、調整組織については名称及びその構成員についても記入してください。
- (2) 障害学生支援担当部署 (者)  
 1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関の有無、名称について回答してください。  
 2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数について回答してください。兼任スタッフについては、障害学生支援に関する決まった担当者なく関連部

- (3) 障害学生支援の相談受付窓口  
 部署・機関の全員が対応している場合は、人数は記入不要です。  
 支援の申し出等、障害のある学生からの相談に対応する窓口の有無及びその周知について回答してください。

- (4) 障害学生支援に関する規程等  
 入学者選抜、修学等において、障害学生支援に関わる委員会、部署、担当者等についての規程、規定等の有無について回答してください。障害学生支援に関する対応要領、対応指針、基本方針、ガイドライン等は含みません。  
 独立した規程等がない場合でも、学生全般に関する規程等に障害のある学生に関する具体的な記述があるときは、「①障害学生支援に関する規程等がある」を選択してください。

「対応手順の明記」とは、障害学生から支援の申し出を受けた際に、どのような手順で対応するか、業務の流れを記した文書の存在を指します。

対応手順の例：手順1. 関係部署・機関が対応を協議 手順2. 障害学生との面談実施 手順3. 障害学生とともに使用する施設・設備を視察……等

- (5) 障害のある学生が学生生活を受け入れるための施設・設備の整備状況  
 障害のある学生が学生生活を送る上で必要となる施設・設備 (屋外・屋内・支援機器) について、その整備状況を記入してください。キャンパスごとに整備状況が異なる場合も学校全体の状況にまとめて回答してください。

3. 活動や取組  
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

平成27年度に実施する (予定含む) 障害学生支援に関する活動や取組について回答してください。②、⑧は、教職員・在籍学生及び学外一般への理解啓発を目的とするものです。  
 ⑥～⑩については、その名称または内容、実施時期、参加人数についても記入してください。実施予定のものについては時期や参加人数も予定でかまいません。各項目の定義については、17ページをご参照ください。

- ① 相談対応・懇談会等 (障害学生・支援スタッフ向け)
- ② 支援マニュアル・パンフレットの配布
- ③ 修学支援情報の公開 (ホームページ) ア～オの該当欄にも記入してください。
- ④ 学内イベント (入学式等) での修学支援についての情報提供
- ⑤ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援 ア～オの該当欄にも記入してください。
- ⑥ 障害学生支援に関連する講義 (ボランティア論等)
- ⑦ 障害学生支援に関する学生向け研修 (ノートテイカー養成等)
- ⑧ 障害学生支援に関する講座・講演等イベント
- ⑨ 障害学生支援に関する (学内) 教員研修 (FD等)



の最髙年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください。最髙年次及び進路の定義については、17 ページをご参照ください。

(1) 学部 (通学課程) 最髙年次及び卒業障害学生数

① 昨年度調査時 (平成 26 年 5 月 1 日現在) に最髙年次に在籍していた障害学生数を記入してください。

② 平成 26 年 5 月 2 日から平成 27 年 3 月 31 日までに卒業した障害学生数を記入してください。

(2) 状況別卒業障害学生数 (平成 27 年 5 月 1 日現在)

(1) の②で回答した卒業生の、平成 27 年 5 月 1 日現在の状況を記入してください。

※ 診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行っていた卒業生の進路については、別表で回答してください。

#### 7. 障害学生数

(平成 27 年度に障害のある学生が在籍している場合にご回答ください)

学校種別に、それぞれ次のように表が分かれていゑます。障害のある学生が在籍するすべての課程の表に記入してください。

■ 大学・大学院 (1) 学部 (通学課程)、(2) 学部 (通信教育課程)、(3) 大学院 (通学課程)、(4) 大学院 (通信教育課程)、(5) 専攻科

■ 短期大学 (1) 学部 (通学課程)、(2) 学部 (通信教育課程)、(3) 専攻科

■ 高等専門学校 (1) 学部 (通学課程)、(2) 専攻科

○ 障害学生数について

A～L の学科 (専攻) 別の該当する障害種の欄に、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。障害学生、支援障害学生及び各障害種の定義については、14 ページをご参照ください。

※ 学科 (専攻) の分類は学校ごとに違ゑます。詳しくは文部科学省「学校基本調査」付属資料の「学科系統分類表」をご確認ください。

記入した学生数の障害種別の合計は、表の最上段の「全体の障害学生数」及び「支援障害学生数」の欄に反映されます。

平成 27 年度障害のある入学者数、休学者数、体学者数 (平成 27 年 5 月 1 日現在)、最低在学年限超過数についても回答してください。

身体障害と発達障害、精神障害が重複している場合は、身体障害の該当欄に数を記入し、最下段にある「発達障害との重複」「精神障害との重複」の該当欄にも記入してください。

発達障害と精神障害が重複している場合は、学校で把握している主たる障害の欄に学生数を記入し、副となる障害については、「発達障害との重複」または「精神障害との重複」の該当欄に記入してください。いづれが主たる障害かが明らかでない場合は「発達障害」にも「精神障害」にも記入せず、「その他の障害」に計上してください。

⑩ 障害学生支援に関する (学内) 職員研修 (S D 等)

⑪ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣

⑫ 学外機関との連携 (自治体、N P O、他大学等、特別支援学校、障害当事者団体、医療・福祉・労働関係機関等)

#### 4. 受入に関する配慮

(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知

入学者選抜における受験上の配慮を周知している方法とその内容について回答してください。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法

平成 27 年度入学者選抜において、実際に事前相談があったかどうかに関わらず、どのような受付方法をとっていたかを回答してください。

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮

平成 27 年度入学者選抜において準備していた、または受験者から申請があった場合に対応が可能であった配慮について回答してください(申請の有無は問わない)。

#### 5. 入学者数等

(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 障害のある入学者数等

平成 27 年度入学者選抜における、障害のある相談者数、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数について回答してください。相談者数、志願者数、受験者数、合格者数は延べ数を、入学者数は実数を記入してください。入学後に障害のあることがわかった学生は含みません。

また、障害のある入学希望者のうち、受験者数、合格者数、入学者数について、受験上の配慮を行なった数を、課程ごと (学部 (通学課程) は入試方式ごと) に回答してください。入試形態の定義については、17 ページをご参照ください。

(2) 受験上の配慮の内容

(1) で計上した受験上の配慮の内容について回答してください。配慮の内容で「W その他」を選択した場合は、下にある表に、障害種別に具体的な内容を記入してください。

#### 6. 平成 26 年度卒業生

(平成 26 年度学部 (通学課程) 最髙年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)

大学は学部 (通学課程)、短期大学は学科 (通学制)、高等専門学校は本科の平成 26 年度

8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳  
〔「7. 障害学生数」で「病弱・虚弱 他の慢性疾患」に計上した場合にご回答ください〕

課程別に表が分かれています。「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

9. 精神障害（他の精神障害）の内訳  
〔「7. 障害学生数」で「精神障害 他の精神障害」に計上した場合にご回答ください〕

課程別に表が分かれています。「精神障害」の「他の精神障害」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

10. その他の障害の内訳  
〔「7. 障害学生数」で「その他の障害」に計上した場合にご回答ください〕

課程別に表が分かれています。「その他の障害」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

11. 授業支援と授業以外の支援  
〔「7. 障害学生数」で支援障害学生数を計上した場合にご回答ください。〕

課程別に授業支援の表と授業以外の支援の表があります。「7. 障害学生数」に計上した支援障害学生への支援について、該当する支援内容を回答してください。

障害種別に、実施している支援の欄に「1」を記入してください。発達障害については、診断書のある学生に対する支援について回答してください。診断書のない学生への支援については「12. 発達障害が疑われる学生への支援」に回答欄があります。

実施している支援が各項目に当てはまらない場合には、「その他の授業支援」または「その他の授業以外の支援」に「1」を記入し、下にある表に障害種と具体的な内容を記入してください。支援内容の定義については、18ページをご参照ください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援  
〔発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください〕

(1) 発達障害のある学生への支援における課題  
発達障害のある学生への支援について、課題と感じていることがあれば該当欄に「1」を記入してください。

(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数  
課程ごとに、学生数と授業支援の表、授業以外の支援の表があります。なお、ペー

ジの都合上、学科（専攻）別の「人文科学」～「保健（医・歯学）」までと、「保健（医・歯学を除く）」～「その他」までの表に分かれています。

発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生の数を記入してください。「発達障害（診断書無・配慮有）」の定義については、16ページをご参照ください。

平成27年度入学人数、休学者数、休学者数（平成27年5月1日現在）、最低在学年限超過数についても記入してください。

なお、このシートで計上した学生数は、「7. 障害学生数」の障害学生数、支援障害学生数には含まれません。

○支援内容

実施している支援内容について、該当する区分の欄に「1」を記入してください。「その他の授業支援」「その他の授業以外の支援」を選択した場合は、学科（専攻）、障害種別（下位区分）、具体的な内容を下にある別表に記入してください。支援内容の定義については、19ページをご参照ください。

13. 意見・要望  
〔障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください〕

- (1) 障害学生支援の課題について
- (2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等の課題について
- (3) JASSOの障害学生支援の取組について

## Ⅲ本調査における用語の定義

対象となる学生について

- 【学生数】 研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含みません。
- 【入学者数】 1年次の入学者の数（2年次以上の編入者は含みません）。
- 【障害学生】 「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生（重複する場合は実数）
- ※平成27年5月1日現在、在籍していた全ての障害学生（障害があることについて）の申請が平成27年5月2日以降の場合を含む）を計上してください。
- ※各障害種の定義（14～16ページ）もご参照ください。
- 【支援障害学生】 学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている障害学生（今年度中の支援予定を含む）
- 支援については、18ページの各支援内容の定義をご参照ください。
- 【最低在学年限超過数】 各課程の最低在学年限（4年制ならば4年、6年制ならば6年）を超えて在学している障害学生数（休学者数は含みません）

障害について

- 【視覚障害】
- 盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用する教育が必要な程度
- 弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要なる程度（視野障害や、明るいと暗いところがまぶしく感じる羞明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む）
- ※色覚異常、片目の失明については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨（色覚異常、片目の失明）を記入する。
- 【聴覚・言語障害】
- 聾……両耳の聴力損失60デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能、又は著しく困難な程度
- 難聴……両耳の聴力損失60デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話し声を解することが可能な程度
- 言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂）

## 調査票記入後の確認事項

### 1. 全般的な確認事項

- (1) 学校名、機関コード、所在地の都道府県名とNo.は正しく表示されていますか。
- (2) 連絡先（電話・FAX番号）、担当者名、担当部署名、担当者名（フリガナ）・E-Mailアドレスに誤りはありませんか。
- (3) 前年度調査でご回答いただいた内容と比較して、各項目の数値に著しい差はありませんか。
- (4) 記入漏れシートはありませんか。

### 2. 項目別の確認事項

各項目の記入欄に、赤色や黄色のセルは残っていませんか。セルが黄で表示される場合は、同じ表内の別の数値と不整合がないかご確認ください。セルが赤で表示される場合は、同じ数値の詳細、内容等を記入している別表と不整合がないかご確認ください。

読み取りパスワードの設定について

まず、回答を記入した調査票ファイルのコピーを作成し、ファイル名（3ページ〔6〕参照）をつけます。パスワードの設定方法は使用するMicrosoft Excelのバージョンによって異なります。

#### ■Excel2007

① ファイルを開き、[Microsoft Office] ボタンをクリックし、[配布準備] の [ドキュメントの暗号化] を選択します。② [ドキュメントの暗号化] 画面でパスワードを設定してください。

#### ■Excel2010

① [ファイル] タブをクリックします。② ファイルを開き、[Backstage] ビューで [情報] を選択し、[アクセス許可] で [文書の保護] を選択します。③ [パスワードを使用して暗号化] を選択し、パスワードを設定してください。

#### ■Excel2013

調査票ファイルのコピーを作成する過程で、パスワードを設定します。① [ファイル] タブをクリックしてバックステージを開きます。② [名前を付けて保存] を選択して、右下の [参照ボタン] をクリックします。③ 名前を付けて保存 ダイアログボックスの下のほうにある [ツール] → [全般オプション] を選択し、パスワードを設定してください。④ ファイル名（3ページ〔6〕参照）をつけて、ファイルを保存してください。

障害、持続性気分（感情）障害等（ICD-10 F30-F39 に該当する疾患）  
神経症性障害等……不安障害、強迫性障害（強迫神経症）、重度ストレスへの反応及び  
適応障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48  
に該当する疾患）

摂食障害、睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10  
F50-F59 に該当する疾患）

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。  
他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人  
格障害、トゥレット症候群、性別違和（性同一性障害）、緘黙症、知的障害、診  
断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害  
及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者 又は、健康診断等に  
おいて上記の障害があることが明らかにになった者

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。  
【発達障害（診断書無・配慮有）】発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害が  
あることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっ  
ている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっ  
ているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

S L D ……限局性学習症/限局性学習障害（旧 L D；学習障害）

A D H D ……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥/多動性障害）

A S D ……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等；高機  
能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

※ICD は世界保健機関による疾病及び関連保健問題の国際統計分類で、国際的に広く用い  
られている統計分類基準です。平成 27 年 9 月 1 日時点での最新版が ICD-10 となります。

【肢体不自由】  
上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害  
下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害  
上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害  
他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下  
肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】  
内部障害等……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸  
の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機  
能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規  
制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

他の慢性疾患……身体虚弱的状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医  
師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らか  
になった者

※てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等はここ  
に計上する。

※上記は、「学校教育法施行令 障害の程度」及び「身体障害者障害程度等級表」また  
は「小児慢性特定疾患」に該当する者を指す。これに当てはまらない疾患等につい  
ては、「その他の障害」に計上する。

【重複】以下の通り、障害が重複している者  
○2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴  
覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・  
虚弱

○3つ以上の身体障害の重複  
視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚  
弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・  
虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

【発達障害（診断書有）】発達障害に関する医師の診断書がある者

S L D ……限局性学習症/限局性学習障害（旧 L D；学習障害）

A D H D ……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥/多動性障害）

A S D ……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等；高機  
能自閉症及びアスペルガー症候群）

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（ICD-10 F20-F29 に該  
当する疾患）

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性

活動や取組について

【障害学生支援に関する講義】カリキュラムに含まれる講義（資格取得等に要するものを除く）、単位付との有無は問わない。

【障害学生支援に関する学生向け研修】支援方法、支援技術等の習得を目的として実施するもの。

【障害学生支援に関する講座・講演等イベント】支援についての意識啓発、情報提供等を目的として実施するもの。

入学者選抜及び受験上の配慮について

【受験上の配慮】入学者選抜において行なった、障害を理由とする合理的配慮（別室受験、時間延長等）

※急性の疾病（インフルエンザ等）やけが（骨折、捻挫等）等、一過性のもので、その後に回復の見込みのある者に対して行なった配慮は含みません。

【特別入試】以下の3つに分類される入試方式

AO入試……学校独自の選抜基準（アドミッション・ポリシー）による入試

推薦入試……出身学校長の推薦に基づく、公募制、指定校対象、付属高等学校対象等の推薦入試

障害者特別入試……障害者を対象とする一般入試とは異なる選抜方式による入試（入試形式がAO入試、推薦入試であった場合を含む）

【特別入試以外の入試】上記に当てはまらない入試、一般入試、社会人入試、海外からの帰国生等を対象とする入試、外国人を対象とする入試等

卒業生及び卒業後の進路について

【最髙年次】

大学……4年次または6年次（4年制、6年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

短期大学……2年次または3年次（2年制、3年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

高等専門学校……5年次

【就職者】給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者（正社員または雇用期間が一年以上で、勤務形態が正社員に準ずるものであれば「イ．就職者」、それ以外または雇用期間、勤務形態等が不明の場合は「カ．一時的な仕事に従事」に

計上してください。自家・自営業に就いた者（継続的に本業として家業に従事する場合）も、「イ．就職者」の欄に計上してください。家事の手伝いに就いた者は「ア〜カ以外」の欄に計上してください。夜間部の学生のうち在学中すでに職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「イ．就職者」の欄に計上してください。「ア．進学者」のうちで職に就いている者については、「イ．就職者」に含めず、「②就職教

【臨床研修医】医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づく臨床研修を受ける者 また5月1日現在、臨床研修医となることが予定される者も含まれます。

【専修学校、外国の学校、教育訓練機関等入学者】「ア．進学者」以外で、学校等に入学（在籍）している者 専修学校、外国の学校、職業能力開発校等への入学者、研究生として入学した者等

【社会福祉施設、医療機関入所者】社会福祉施設に入所、又は医療機関に入院した者 社会福祉施設、医療機関に就職した者は「イ．就職者」に計上してください。

【一時的な仕事に従事】一時的な収入を目的とする仕事に就いた者 例えばアルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を計上してください。

【ア〜カ以外】進学でも就職でもないことが明らかなる 家事手伝いなどがここに含まれます。学校で具体的な状況を把握していない者であつても、進学でも就職でもないことが明らかであれば計上してください。

【不詳・死亡の者】不詳は、各欄のいずれに該当するかを学校で把握していない者 死亡は、平成27年5月1日までに死亡した者

支援について

【点訳・墨訳】

点訳……教材、配布資料などを点字に訳すこと。

墨訳（すみやく）……試験の点字解答を出題者が採点する際等、点字を墨字、活字に訳すこと。

【教材のテキストデータ化】教材、配付資料等をテキストデータにすること。音声認識ソフトや点訳ソフトを利用するために行ないます。

【教材の拡大】教材、配付資料等を拡大読書器でモニターに拡大表示したり、大きな文字で印刷したりすること。

【ガイドヘルプ】移動の際に、歩行介助及び誘導を行なうこと。主として講義と講義の間の教室移動のサポートをいいます。

【リーディングサービス】教材や配布資料などを音声で読み上げる（文字を音声に訳すこと。主として、講義中に板書されたものをその場で口頭で伝える「代読」と、利用者と支援者が対面して資料等を読み上げる「対面朗読」があります。

【手話通訳（触手話を含む）】講義内容や周りの様子等を手話で伝えること。盲聾者のため



- 【個別支援情報の収集】 出身校や保護者と連携し、必要な支援や入学以前に受けていた支援に関する情報を収集すること。
- 【情報取得支援】 学内行事の案内や休講情報等、学生生活に必要な情報を取得できるような支援すること。
- 【自己管理指導】 スケジュール管理に関する指導や、自主学習への支援を行なうこと。
- 【対人関係支援】 対人スキル指導や対人関係に関するトラブルへの対応を行なうこと。
- 【日常生活支援】 食事、洗濯、清掃、入浴、睡眠等、日常生活に関する指導を行なうこと。
- 【専門家によるカウンセリング】 臨床心理士等の専門家によるカウンセリング。
- 【医療機関との連携】 主治医や障害に関する専門医療機関等と連携すること。
- 【医療機器、薬剤の保管等】 透析用機器や人工呼吸器等の医療機器や、発作等の緊急用薬剤等を預かり、保管すること。
- 【休憩室・治療室の確保】 休み時間、空き時間に利用できる休憩室や透析等の医療行為を行なうための部屋を確保すること。
- 【生活介助】 体位変換、更衣、食事、トイレ等の介助を行なうこと。
- 【介助者の入構、入室許可】 生活介助等を行なう介助者が学内や教室に入ることを許可すること。
- 【キャリア教育】 学生が自身の障害についての理解を深め、必要な支援や職業適性を把握できるように指導すること。
- 【障害学生向け求人情報の提供】 障害学生を対象とする求人情報を収集し、学生に提供する。
- 【就職支援情報の提供、支援機関の紹介】 障害学生を対象とする就職ガイダンスやセミナー、就職支援サイト、就職支援機関等に関する情報を提供し、紹介すること。
- 【インターンシップ先の開拓】 受け入れ先となる企業等を開拓し、障害学生のインターンシップ体験を支援すること。
- 【就職先の開拓、就職活動支援】 障害学生の適性に合う就職先の開拓や、就職活動におけるエンタリシーの作成や面接を指導すること。

- の触手語を含みます。
- 【ノートテイク】 講義内容や周りの様子等を筆記し、文字で伝えること。
- 【パソコンテイク】 講義内容や周りの様子等をパソコンに入力し、文字で伝えること。
- 【ビデオ教材字幕付け・文字起こし】 教材等として使用される映像メディアの台詞やレーションをテキスト化し、字幕として挿入する、または紙面に記すこと。
- 【チューター又はティーチング・アシスタントの活用】 大学院の学生や担当教員等が学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演習等の補助や助言等を行なう学内制度を活用した支援のこと。
- 【試験時間延長・別室受験】 定期試験の際に、通常の実験時間を延長したり他の学生とは別室で試験を実施すること。点字の読み取りや筆記、代筆等で通常に比べて時間を要する場合は、他の学生と同室では支障がある場合等に実施します。
- 【解答方法配慮】 障害の状況に応じて、試験時の解答方法を変更すること。
- 【パソコンの貸付許可】 受講に利用するため、パソコンの持ち込みを許可すること。
- 【注意事項等文書伝達】 定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書にして配付あるいは板書すること。
- 【使用教室配慮】 授業で使用する教室を、移動しやすい教室や修学に適した広さ・設備のある教室にすること。
- 【実技・実習配慮】 いわゆる座学中心の講義以外の授業（体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等）において、障害の状況に応じて配慮すること。
- 【教室内座席配慮】 教室内での座席を障害学生が受講しやすい位置に配慮すること。
- 【FM補聴器/マイク使用】 講義者の声を、専用のマイクを通じて補聴器を装着した学生に伝える支援技術の活用。またはその器材の貸し出し等を行なうこと。
- 【専用机・イス・スペース確保】 車いす用の机の配置やスペースの確保等、受講や学生生活を円滑にするために、障害の状況や特性に合わせた設備又はそれに関連する配慮を行なうこと。
- 【読み上げソフト・音声認識ソフト使用】 電子データを音声に変換して読み上げたり、音声データを電子データに変換するソフトの活用。またはその貸し出し等を行なうこと。
- 【講義に関する配慮】 講義内容の録音、板書の撮影等を許可すること。
- 【授業内容の代替、提出期限延長等】 実技やリスニング等、障害学生にとって困難のある授業を別の内容に代替する、レポートや課題の提出期限を延長する等、評価方法を配慮すること。ただし評価基準はダブルスタンダードを設けず、障害のない学生との公平性を保つことが必要です。
- 【履修支援】 履修登録の補助や支援、優先的な履修登録等の配慮をすること。
- 【学外実習・フィールドワーク配慮】 実習先での情報保障や移動支援、実習先機関との連携等を行なうこと。
- 【居場所の確保】 学内で1人になれるスペースを確保したり、孤立しないための仲間作り支援を行なうこと。
- 【通学支援】 スクールバスの乗降や自動車通学の許可、専用駐車場の確保等を行なうこと。

## F A Q よくある質問集

### ○ 全般的な質問

- Q** 障害学生が在籍していませんが、回答しなければいけませんか。
- A** 「1. 学校基本情報」「2. 支援体制」「3. 活動や取組」「4. 受入に関する配慮」「5. 入学者数等」「3. 意見・要望」シートにご回答ください。また、昨年度最年次に障害学生が在籍していた場合は「6. 平成26年度卒業生」シートに、診断書はないが発達障害が疑われる学生への支援を実施している場合は、「12. 発達障害が疑われる学生への支援」シートにもご回答ください。
- Q** 今年度から新入生の募集を停止しています。回答する必要がありますか。
- A** 学生が在籍している間は回答してください。まったく在籍学生がいらない場合はその旨ご連絡ください。
- Q** キャンパスが分かれているので、キャンパスごとに回答してもいいですか。
- A** お手数ですが1校1回答をお願いします。それぞれのキャンパスの情報を集約し、学校全体の回答としてまとめてください。
- Q** 記入欄が足りません。行を追加してもいいですか。
- A** 行や列、セルやシートの追加、削除等はできません。記入欄が足りない場合は、回答ファイルを送信する際にメールアドレスに内容を記載するか、追加分についての別表を作成してメールに添付してください。
- Q** 5月1日現在と、現時点では学生数が変わっていますが、どの時点の数値を記入したらいいですか。
- A** 平成27年5月1日時点の数値を記入してください。
- Q** 研修生は対象となりますか？
- A** 研修生、研究生、科目等履修生、聴講生、別科生は調査対象外です。
- Q** 2年生から3年生に進級する時点で留年し、2年生が2回目の学生がいます。この学生は「最低在学年限超過数」に計上しますか。
- A** 最低在学年限は、4年制であれば4年、6年制であれば6年となります。問いの2年生は3年次以降の課程のある学生で、最低在学年限には達していないため、計上の対象とはなりません。

- Q** 平成27年5月1日現在、学費未納の学生は、学生数に計上しますか。
- A** 学校に籍のある学生はすべて計上してください。除籍処分となった学生は計上の対象となりません。

### ○ 調査票の取得と回答方法について

- Q** 「調査票」「調査の手引」がダウンロードできません。どうしたらいいですか。
- A** ご担当者のメールアドレス宛にファイルを送信しますので、日本学生支援機構障害学生支援課 (E-Mail: tokubetsushien@jasso.go.jp または電話: 03-5520-6176) までご連絡ください。
- Q** メールで回答を送りましたが、間違いない届くかどうか不安です。
- A** メール送信時に開封確認をつけてください。受信時に開封確認を返信します。
- Q** 先に送った回答に誤りがありました。どうしたらいいですか。
- A** 修正後、回答ファイル名の学校名の後に (再提出) と追記したファイルをメールに添付し、「学校名 (再提出)」というメールアドレスで再送付してください。
- Q** 具体的な内容欄を記入したところ、欄の大きさに対して文字数が多すぎて全文が表示されません。どうしたらいいですか。
- A** 本調査票は集計上の都合によりセルの大きさの変更はできません。該当セルを選択し、次にExcelの上部にある「fx」欄を選択してください。ここに全文が表示されることを確認し、そのままご送付ください。回答内容を印刷保存する場合等にご不便をおかけしますが、あしからずご了承ください。
- 障害についての質問**
- Q** 学校では障害があることを把握していますが、本人の希望で障害者手帳を取得していない学生がいます。障害学生に計上しますか。
- A** 実態調査では学校や個人を特定できるような結果は公表しません。学校として障害があることを把握している場合には、障害学生数に計上してください。
- Q** 障害があるらしいが、手帳や診断書があるかどうかを把握していない学生がいます。学生に確認しなければいけませんか。
- A** 本調査の回答のために学生に確認する必要はありません。「障害があるらしい」と推察されるが把握していない学生については障害学生数に計上しません。ただし推察される障害が発達障害で何らかの支援を行なっている場合は、この後のFAQもご参照ください。

- Q 視覚障害の盲、弱視、聴覚障害の聾、難聴を区別して把握していません。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A 14 ページの各障害の定義を参考に、いずれかを判断して該当する欄に計上してください。
- Q 発達障害（診断書有）で、SLD、ADHD、ASDDの重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A 発達障害の中に重複の欄があります。この欄に記入してください。
- Q 発達障害らしい学生がいて、対応に気をつけています。この場合「12. 発達障害が疑われる学生への支援」の学生数に計上しますか。
- A 「発達障害らしい」という推察が、複数の教職員によって共有されていて、組織的な配慮、対応が行なわれている場合は計上してください。ただし、教職員個人が「発達障害らしい」と思い、個人的に配慮している場合は含みません。
- Q 身体障害と発達障害の両方のある学生がいます。障害学生数は両方に計上しますか。
- A 身体障害と発達障害の重複する学生については、「7. 障害学生数」の該当する身体障害の欄に計上し、同じ表の下段にある「発達障害との重複」の該当欄に計上してください。
- Q 最近、障害があることがわかった学生がいて、5月1日現在にはそのことを把握していなかったのですが、この学生は障害学生数に含めますか？
- A 5月2日以降に障害のあることを把握した学生が、5月1日現在に在籍していた場合には、障害学生数に含めてください。
- 活動や取組、支援について
- Q 障害学生支援に関する活動や取組において「演習」は⑥の「講義」、⑦の「研修」のどちらに当てはまりますか？
- A カリキュラムに含まれている「演習」ならば⑥の「講義」、カリキュラム外で支援方法、支援技術等の習得を目的とする内容であれば⑦の「研修」、カリキュラム外で意識啓発、情報提供を目的とする内容であれば⑧の「講座・講演等イベント」となります。
- Q 学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- A 学校が学生組織に依頼している等、学校が関与している場合には、支援障害学生に計上してください。学校が関与していない場合は、支援障害学生には該当しません。

- Q 一般学生が自主的に障害学生を支援しています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- A 学校に申し出がなく、学校が支援していない場合は、支援障害学生には該当しません。
- Q 自主的に障害学生を支援している学生から、ノートテイクのための入室許可の申し出があり、許可しました。この場合は、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- A 支援入室の許可は、学校の支援として支援障害学生に計上してください。ただし、この場合のノートテイクは学校が実施している支援としての計上には含まれません。
- Q 学内にスロープ等のバリアフリー設備を設けます。これは支援として計上しますか。
- A 「2. 支援体制」の(5)「障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況」に、該当の設問がありますので、そちらに記入してください。「11. 授業支援と授業以外の支援」には計上しません。



## ( 調査票 )

### 大学・大学院用

※課程別の調査票については学部（通学課程）のみを掲載しています。

※短期大学用、高等専門学校用は、以下の2点を除き同様です。

#### 1. 課程数

短期大学：学部（通学課程）、学部（通信教育課程）、専攻科

高等専門学校：学部（通学課程）、専攻科

#### 2. 学科（専攻）数

短期大学：人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、  
芸術、その他

高等専門学校：社会、工業、商船、芸術

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

[https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu\\_shien/chosa-kenkyu/chosa/2015.html](https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa-kenkyu/chosa/2015.html)



1. 学校基本情報

<b>平成27年度(2015年度) 大学、短期大学及び高等専門学校における 障害のある学生の修学支援に関する実態調査 (大学・大学院用)</b>	
<b>1. 学校基本情報</b>	
<b>機関コード表示欄</b>	
(1) 学校名と主となる所在地	
学校名	主となる所在地の都道府県名
No.	

(2) 学校全体の学生数

課程	平成27年度 全学生数	平成27年度 全入学者数	平成26年度 全卒業者数
学部			
通学課程			
通信教育課程			
大学院			
通学課程			
通信教育課程			
専攻科			
計	0	0	0

(3) 本調査の担当部署(者)

部署名	担当者	
	氏名	フリガナ
役職		
郵便番号	所在地	
電話番号	FAX番号	E-Mail
連絡先		

(4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)

部署名	担当者	
	氏名	フリガナ
役職		
郵便番号	所在地	
電話番号	FAX番号	E-Mail
連絡先		

2. 支援体制

2. 支援体制

(1) 障害学生支援に関する専門委員会等  
障害学生支援について協議・検討する専門委員会について、該当する欄に「1」を記入し、下欄に代表者について記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 専門委員会がある(障害学生委員会、バリアフリー委員会、支援担当者会議等)
	委員会名 <input type="text"/>
	代表者(委員長等)の役職等 (副学長、学部長等) <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	② 専門委員会はないが、他の委員会で対応している(学生委員会等)
	委員会名 <input type="text"/>
	代表者(委員長等)の役職等 (副学長、学部長等) <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③ 障害学生支援に関して検討・協議する委員会はない
<input type="checkbox"/>	④ 合理的配慮の内容の決定が困難な場合に第三者的視点に立ち調整を行なう組織がある
	組織名 <input type="text"/>
	構成員 <input type="text"/>

(2) 障害学生支援担当部署(者)  
1) 障害学生支援業務を行なう部署・機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 専門部署・機関がある(障害学生支援センター、バリアフリー支援室等)
	部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	② 専門の部署・機関はないが他の部署・機関が対応している(学生課、保健室等)
	部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③ 障害学生支援業務を行なう部署・機関はない

2. 支援体制

2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数を記入してください。

①専任スタッフ (担当者がある場合、左の欄に1を記入し、右の欄に人数を記入してください)	人数
ア. 障害学生支援を専門に担当するコーディネーター	
イ. 障害学生を専門に担当するカウンセラー	
ウ. 障害学生を専門に担当する医師	
エ. 専門の支援技術(手話通訳、点訳等)を持つ教職員	
オ. 障害学生支援を専門に担当する職員	
カ. 障害学生支援を専門に担当する教員	
キ. その他	
②兼任スタッフ (障害学生支援担当者が決まっている場合のみ人数を計上してください。決まった担当者がなく、部署・機関の全員が随時対応する場合は左の欄のみ1を記入し、人数は記入不要です)	人数
ア. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当するコーディネーター	
イ. 他の業務と兼任で障害学生を担当するカウンセラー	
ウ. 他の業務と兼任で障害学生を担当する医師	
エ. 専門の支援技術(手話通訳、点訳等)を持ち他の業務と兼任で支援を行なう教職員	
オ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する職員	
カ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する教員	
キ. その他	
③外部スタッフ	人数
ア. 嘱託等の契約に基づき、外部から招いている医師、カウンセラー等	
イ. 必要に応じて定期的に業務を委託している専門技術者(手話通訳、ノートタイカー等)	
ウ. その他	

2. 支援体制

(3) 障害学生の相談受付窓口

障害学生が支援の申し出等をしたときに、学生にとってわかりやすい窓口がありますか。窓口の有無及びその周知について、該当する欄に1を記入してください。

①支援の申し出等の相談に対応する窓口がある。	
ア. 窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している。	
イ. 窓口は設けているが、特に周知していない。	
②支援の申し出等の相談に対応する窓口はない。	
ア. 特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している。	
イ. 窓口はなく、相談対応について特に周知していない。	

(4) 障害学生支援に関する規程等

障害学生支援に関する規程等(例)入学選抜、修学支援に関わる委員会、部署、担当者等に関する規程、規定等)について、該当する欄に1を記入してください。なお、学生全般に関する規程のうち、障害学生に関する具体的な表記がないものは、下記①に該当しません。

①障害学生支援に関する規程等がある。	
ア. 規程等に支援の申し出への対応手順が明記されている。	
イ. 規程等に支援の申し出への対応手順について特に記載はない。	
②障害学生支援に関する規程等はない。	
③規程等以外に、支援の申し出への対応手順を明記した文書がある。	

2. 支援体制

(5) 障害のある学生を受け入れるための施設、設備の整備状況  
 学生生活において必要となる施設、設備の整備状況について、該当する欄に「1」を記入してください。

	学内全体に整備	現在必要な箇所に整備	部分的に整備しているが不十分	整備中または年度内に整備予定	未整備						
①屋外											
ア. 道路の舗装、段差の解消等											
イ. 手すり、スロープ、階段昇降機等											
ウ. 点字ブロック、標識シール等											
エ. 専用駐車場											
②屋内											
ア. 自動扉等出入り口の整備											
イ. エレベーター											
ウ. 手すり、スロープ、階段昇降機等											
エ. 車椅子移動等に必要なスペース確保											
オ. 点字プレート等教室表示											
カ. 聴覚障害者用屋内信号装置											
キ. 障害者用トイレ											
ク. 自習室、独習室											
ケ. 磁気誘導ループ											
③支援機器											
ア. 点字プリンタ											
イ. 立体コピー機											
ウ. 拡大読書機											
エ. 点字携帯端末											
オ. 筆談器等											
カ. 車椅子、簡易ベッド等											
その他	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>										

※以下に、その他の具体的な内容を記入してください。

3. 活動や取組

3. 活動や取組

障害学生支援に関して、以下の活動や取組を実施している場合は、実施の欄に「1」を記入してください。また、⑥以降については、名称・内容、参加人数、実施時数も記入してください。(平成27年度の実施(予定含む)についてご回答ください)

①相談対応・懇談会等(障害学生・支援スタッフ向け)	
②支援マニュアル・パンフレットの配布	
③支援情報の公開(ホームページ)	
ア. 相談窓口について	
イ. 具体的な授業支援等の支援内容の説明	
ウ. 在籍障害学生数	
エ. キャンパスのバリアフリーマップ等の掲示	
オ. その他	
④学内イベント(入学式等)での支援についての情報提供	
⑤障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援	
ア. 学外機関との連携、支援情報の提供	
イ. 一般就職ガイダンス、セミナー等における配慮の実施	
ウ. 障害学生向け就職ガイダンス、セミナー等の実施	
エ. インターンシップ先、就職先の開拓、企業との連携	
オ. その他	

3. 活動や取組

⑥障害学生支援に関連する講義(ポランティア論等)		
名称/内容	実施時期	参加人数

⑦障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)		
名称/内容	実施時期	参加人数

⑧障害学生支援に関する講座・講演等イベント		
名称/内容	実施時期	参加人数

3. 活動や取組

⑨障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)		
名称/内容	実施時期	参加人数

⑩障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)		
名称/内容	実施時期	参加人数

⑪障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣		
名称/内容	実施時期	参加人数

3. 活動や取組

⑫学外機関との連携

⑤のアで回答した場合も含め、連携機関の名称を(名称のみではどのような団体かわからない場合は、業務内容についても)記入してください。

名称/内容	
名称/内容	
名称/内容	
名称/内容	
名称/内容	
名称/内容	
名称/内容	

4. 受入に関する配慮

**4. 受入に関する配慮**

**(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知**

入学者選抜における受験上の配慮の周知について、①～③のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、①②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を記載してください。

<input type="checkbox"/>	①入試要項(募集要項)に、受験上の配慮に関する記載がある。	<input type="checkbox"/>
	ア. 「障書のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している	<input type="checkbox"/>
	イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。	<input type="checkbox"/>
	ウ. その他	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	②ホームページに、受験上の配慮に関する記載がある。または、記載のある入試要項を掲載している	<input type="checkbox"/>
	ア. 「障書のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している	<input type="checkbox"/>
	イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。	<input type="checkbox"/>
	ウ. その他	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	③入試要項にも、ホームページにも記載していない。	<input type="checkbox"/>

**(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法**

入学者選抜における受験上の配慮については、事前相談の受付方法について、①～④のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合には、その具体的な内容を記載してください。

<input type="checkbox"/>	①随時、受け付けている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	②全学共通のルールで期間を設けている。	<input type="checkbox"/>
	※ルールは同じだが試験日が違うので受験の期日は違うという場合もこちらを選択してください。	
	ア. 出願受付締切まで	<input type="checkbox"/>
	イ. 試験前日まで	<input type="checkbox"/>
	ウ. その他	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	③学部、学科等や入試形態によって違う。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	④特に告知はしていないが、相談があれば対応する。	<input type="checkbox"/>





5. 入学者数等

(2) 受験上の配慮の内容  
 (1)で解答した受験上の配慮について、実施した具体的な内容を下記のA～Wから選択して、該当する欄に半角数字の1を記入してください。

区分	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	
視覚障害 弱視																								
聴覚障害 言語障害																								
言語障害のみ																								
肢体不自由																								
上肢機能障害																								
下肢機能障害																								
上下肢機能障害																								
他の機能障害																								
内部障害等																								
他の慢性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱																								
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
重複																								
発達障害 SLD ADHD ASD (診断書 有)																								
発達障害の重複																								
気分障害																								
神経症性障害等																								
摂食障害、睡眠障害等																								
他の精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
その他の障害・内訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								

※下欄には、診断書がないが発達障害が疑われるとの申し出等により、受験上の配慮を行なった場合、記入してください。

発達障害 SLD ADHD ASD (診断書 無・ 配慮有)																								
発達障害 SLD ADHD ASD (診断書 無・ 配慮有)																								
発達障害 SLD ADHD ASD (診断書 無・ 配慮有)																								
発達障害 SLD ADHD ASD (診断書 無・ 配慮有)																								

5. 入学者数等

※(2)で、「Wその他」を選択した場合、その具体的な内容を、障害種別に記入してください。

障害種別	実施した配慮の具体的な内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

6. 平成28年度卒業生  
 (1) 学級(通学課程)最高年次及び卒業障害学生数

障害種別	H28年度卒業生		H27年度卒業生	
	① H28年度 1月1日現在	② H27年度 3月31日現在	① H28年度 1月1日現在	② H27年度 3月31日現在
視覚障害				
聴覚・言語障害				
肢体不自由				
知的障害				
発達障害(診断書有)				
精神障害				
その他の障害				
計	0	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、支援を行っていた卒業生の数

発達障害(診断書有)	
ADHD	
ASD	
区分不明	
計	0

(2) 状況別卒業障害学生数(平成27年5月1日現在)

障害種別	進学先						計
	A 大学院研究科	B 大学学部	C 短期大学本科	D 専攻科	E 別科	① 進学者の計	
視覚障害						0	0
聴覚・言語障害						0	0
肢体不自由						0	0
知的障害						0	0
発達障害(診断書有)						0	0
精神障害						0	0
その他の障害						0	0
計	0	0	0	0	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行っていた卒業生の進路

障害種別	進学先						計
	A 大学院研究科	B 大学学部	C 短期大学本科	D 専攻科	E 別科	① 進学者の計	
視覚障害						0	0
聴覚・言語障害						0	0
肢体不自由						0	0
知的障害						0	0
発達障害(診断書有)						0	0
精神障害						0	0
その他の障害						0	0
計	0	0	0	0	0	0	0

**7. 障害学生数**  
**(1) 学部(専攻)別の障害学生数**

区分	障害の種類										計				
	知的障害	聴覚障害	視覚障害	身体障害	発達障害	精神障害	その他	知的障害	聴覚障害	視覚障害		身体障害	発達障害	精神障害	その他
学部(専攻)別の障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均(1)年間の平均入学者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体障害者(身体障害者手帳1日取得)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害者(知的障害者手帳)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害者(発達障害者手帳)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害者(精神障害者手帳)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(知的障害者手帳、聴覚障害者手帳、視覚障害者手帳、身体障害者手帳、発達障害者手帳、精神障害者手帳)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学部(専攻)															
A. 人文科学															
B. 社会科学															
C. 理学															
D. 工学															
E. 農学															
F. 農林(獣・林学)															
G. 農林(獣・林学)(獣学)															
H. 農林(獣・林学)(林学)															
I. 家政															
J. 教育															
K. 芸術															
L. その他															
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳**  
シート7. 障害学生数」で「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に学部(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。

**(1) 学部(通学課程)**

区分	障害の種類										計				
	知的障害	聴覚障害	視覚障害	身体障害	発達障害	精神障害	その他	知的障害	聴覚障害	視覚障害		身体障害	発達障害	精神障害	その他
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

シート「7. 障害学生数」で「精神障害」の「他の精神障害」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。

(1)学部(通学課程)

	学科(専攻)	内訳	ア		イ
			障害学生数	障害学生数	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
計			0	0	0

10. その他の障害の内訳

10. その他の障害の内訳

シート「7. 障害学生数」で「その他の障害」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。

(1)学部(通学課程)

	学科(専攻)	内訳	ア		イ
			障害学生数	障害学生数	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
計			0	0	0











平成 27 年度（2015 年度）  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書  
（訂正版）

平成 30 年 7 月

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課  
〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1  
TEL 03-5520-6176 FAX 03-5520-6051  
E-mail:tokubetsushien@jasso.go.jp